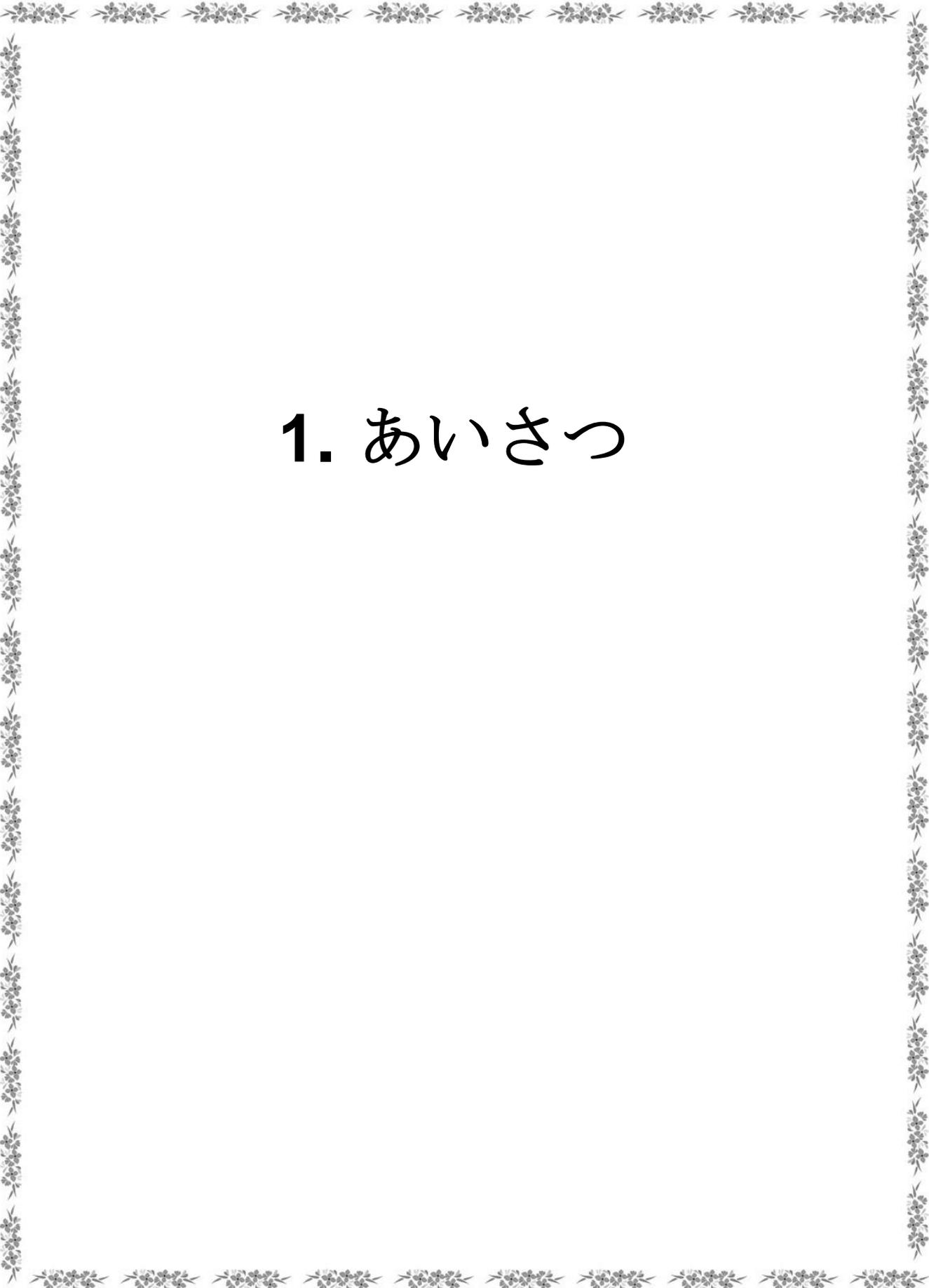


医療法人社団仁生会 甲南病院

# 2021 年度 病院年報



・ あいさつ	2	リハビリテーション部	66
・ 病院概要	5	臨床工学部	69
仁生会理念 甲南病院の理念と基本方針	6	栄養管理部	70
仁生会 甲南病院 沿革	7	臨床心理士室	72
施設概要	9	<b>7. 事務部門</b>	74
指定・認定施設一覧	10	事務部	75
仁生会 職員数	12	総務人事課	76
組織図	13	医事課	77
活動報告	14	秘書課	78
・ 統計	18	健診センター（事務）	79
・ 診療部	23	診療情報管理室	80
内科（総合内科）	24	管理情報課	81
消化器内科	25	<b>8. その他の部門</b>	82
循環器科	26	医療安全管理部	83
心臓血管外科	27	地域医療連携部	85
脳神経内科	28	<b>8. 併設施設</b>	87
もの忘れ外来	29	在宅医療支援センターこうなん	88
脳神経外科	30	居宅介護支援事業所	89
腎臓内科	31	訪問看護ステーションこうなん	91
糖尿病・代謝内科	32	訪問リハビリテーション事業所	93
泌尿器科	33	ひまわり保育園	94
呼吸器科	34	<b>9. 委員会</b>	95
外科	35	医療安全委員会	96
乳腺外科	37	医療ガス安全管理委員会	98
婦人科	38	医療情報システム委員会	99
整形外科	39	医療の質業務改善委員会	100
形成外科	41	衛生委員会	101
肥満外来	42	感染対策委員会	102
放射線科	44	研修委員会	105
麻酔科	45	広報委員会	106
血液浄化センター	46	褥瘡対策委員会	107
健診センター	47	診療記録管理委員会	108
訪問診療	48	パートナーシップ倫理委員会	109
・ 看護部・介護部	49	防災委員会	110
看護部	50	薬事委員会	111
介護部	54	輸血療法委員会	112
・ 診療技術部門	56	臨床検査適正化委員会	113
薬剤部	57	NST（栄養サポート）委員会	114
臨床検査部	60	認知症サポート委員会	115
放射線部	64		

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the central text.

# 1. あいさつ



## 2021年度 仁生会 甲南病院年報に寄せて

医療法人社団仁生会 理事長 古倉 みのり

平素より皆様には大変お世話になり誠にありがとうございます。

2021年度の年報発刊にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。

私達を不安と恐怖に陥れていた新型コロナウイルス感染症については、3回目のワクチン接種と効果的な治療薬の開発により、少し明るい未来が見えて来たと感じておりました。その矢先、2022年2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が開始され、世界情勢は一層不安定となっております。戦争の映像を見るたびに、平和的解決策がないものかと考えます。戦災に遭っているウクライナの人々はどんなに辛い思いで過ごしているのであろうかと胸が引き裂かれる思いでございます。その国にはその国の歴史があり、様々な過去からの土地や人やお金にまつわる因縁があるのですが、憎しみを生み出す戦争の早期終結を心より祈る毎日です。

法人運営に関しましては、各方面よりご助言、ご支援をいただき無事に2021年度を終えることができました。皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。今後も原油価格の高騰や物価上昇、人材確保など乗り越えなくてはならない課題が山積しておりますが、学習を怠らず、患者さんやご家族の人生にとって何が一番大切か、どうすれば少しでも幸せを感じていただけるかということをチームで考え、仁生会職員の気持ちを一つにして職務に励む所存でございます。人々の心に光を灯すことができますように、地域に光を灯すことができますように、私達は歩んで参ります。

皆様には、今後共ご指導、ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

感謝の思いを込めて2021年度年報をお届けします。



## 病院年報発刊に寄せて

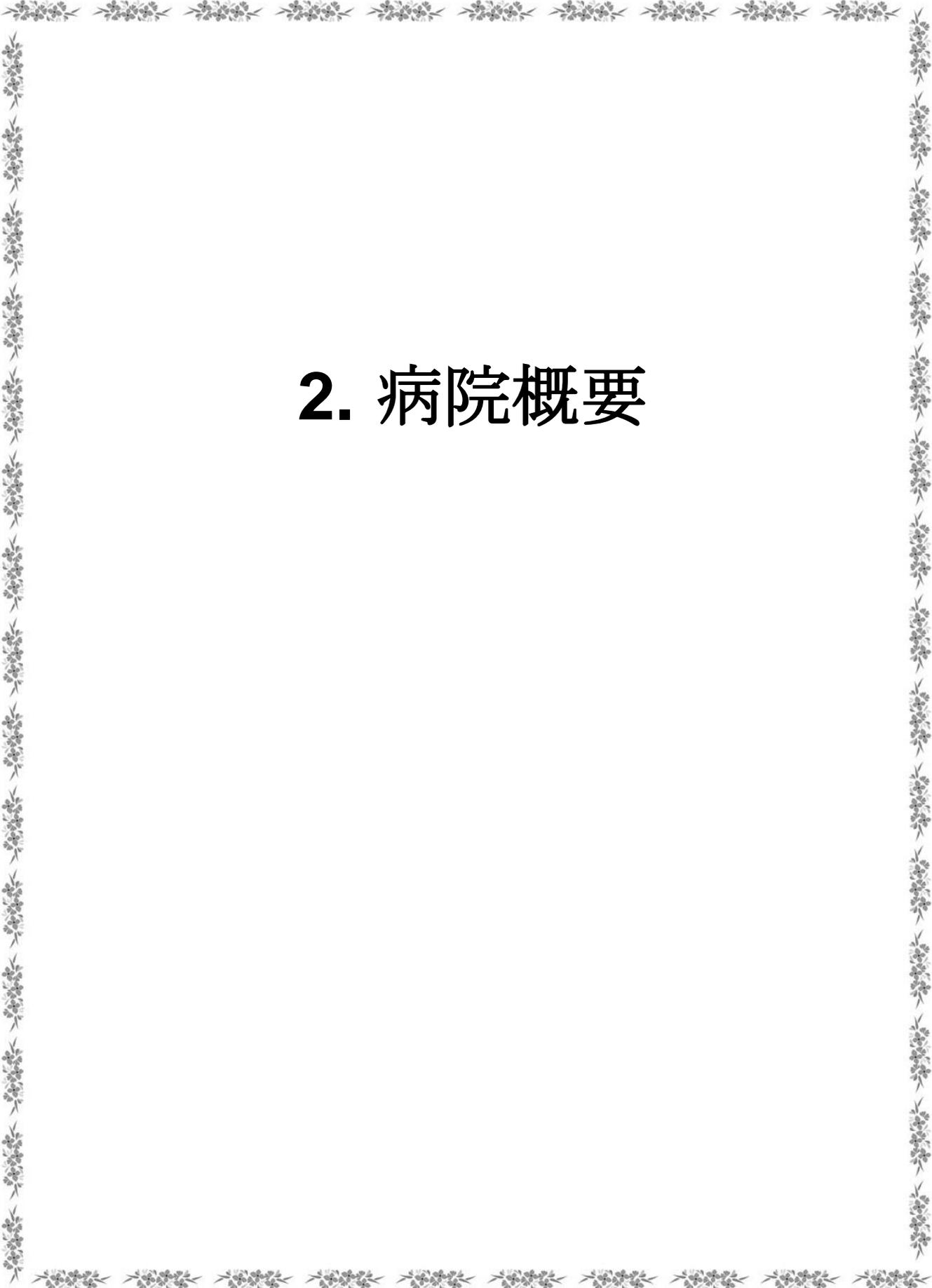
医療法人社団仁生会 甲南病院 院長 山本 寛

この度、2021年度の甲南病院の活動状況に関する年報を発刊させていただくことになりました。作成に当たり、ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がわが国に上陸してから、2年が経過しました。ワクチン接種に伴い、感染拡大が収まってくれるであろうと期待していましたが、オミクロン株やステルスオミクロン株などの出現により、第6波の収束は遠のいています。しかし、コロナ禍を経て、先進国の多くの国で平均寿命が短縮する中、わが国では平均寿命が延長しました。これは、国民の公衆衛生の意識の高さと、医療従事者の努力によるものであると言われています。当院でも、医療・看護・介護の通常業務に加え、発熱外来やコロナ回復後の後方支援、ワクチン接種事業に取り組んで参りました。さらに、コロナ禍での面会制限に対して、オンライン面会のシステムを立ち上げ、2020年8月から2022年3月までに、延べ3100件を超えるオンライン面会をさせていただきました。

2022年4月には、2021年度から準備して参りましたSDGs宣言を行います。SDGsは2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択され、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標からなります。すでに、地域や学校でもSDGsの啓発が進んでおり、医療機関でもSDGsに取り組む施設が増加しています。17のゴールのうちの1つである「すべての人に健康と福祉を」はすべての医療機関が目指すべき達成目標です。この目標だけではなく、高齢化社会から超高齢社会に突入したわが国では、だれ一人取り残さない優しい社会の実現が望まれます。そして病院はこのような社会をけん引していかなければなりません。国際的な目標に着実に取り組み、成長できる病院にしていきたいと考えております。

また、2021年末には、当院4度目の病院機能評価を受け、お陰様で高い評価を頂きました。法人の理念である“一隅を照らす”を心にとどめ、地道な職員の努力が評価されたものと喜んでおります。これからも、さらに高みを目指して病院の理念であります“地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します”をスローガンに、職員一同継続して参りますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

A decorative border consisting of a repeating floral pattern of small flowers and leaves, forming a rectangular frame around the page content.

## 2. 病院概要

# 医療法人社団仁生会 理念

「 一 隅 を 照 ら す 」

## 仁生会 甲南病院の理念と基本方針

### 理念

「地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します」

### 基本方針

1. 患者さん中心の医療に心がけ、プライバシーと権利を尊重します。
2. 医療の質の向上に努め、安全で高度な医療を提供します。
3. 急性期医療から、長期にわたる療養まで安心して受けていただける治療環境を充実します。
4. 地域の医療機関と連携をとり合理的で効率的な医療を目指します。
5. 職員の安心・信頼・満足を得られるよう努力します。

### 患者さんの権利

1. 平等で適切かつ安全な医療を受ける権利があります。
2. 個人情報やプライバシーは厳正に守られる権利があります。
3. 病気、治療、今後の見通し等について、分かり易く納得出来るまで十分な説明を受ける権利があります。
4. 提案された検査、治療に対して自らの意思で決定する権利があります。
5. 自らの診療記録を見る権利があります。
6. 自分の診療内容について別の医師に聞く権利があります。
7. 十分な医療サービスを人としてふさわしいやり方で受ける権利があります。

### 患者さんをお願いする事

1. 患者さんの健康状態や病状について、できるだけくわしくお聞かせ下さい。
2. 安全確保のためアレルギー歴などあればきちんとお伝え下さい。
3. 私たちは患者さんとのパートナーシップを重要と思っております。いろいろな形で診療に参加して下さいようお願い申し上げます。
4. 適切な治療を受けられるように病院内では、病院の規則と職員の指示をお守り下さい。

# 仁生会 甲南病院 沿革

令和4年3月31日現在

昭和 39 年	(1964 年)	8 月	甲南町立甲南病院廃止に伴い甲南病院を開設	院長 磯矢 良《病床数 50》
昭和 42 年	(1967 年)	10 月	医療法人社団仁生会を設立	理事長 磯矢 良
			本館増改築工事《病床数 65》	
昭和 54 年	(1979 年)	7 月	別館増改築工事《病床数 70》	
平成元年	(1989 年)	7 月	本館第一期増改築工事	
平成 2 年	(1990 年)	7 月	本館第二期増改築工事《病床数 80》	
			CT 装置導入	
		12 月	診療時間の変更（夜間診療を新設）	
平成 3 年	(1991 年)	3 月	医事コンピューター導入	
平成 4 年	(1992 年)	3 月	医事課・薬品庫の増築工事	
平成 6 年	(1994 年)	2 月	X 線室増改築工事（一般撮影用 X 線装置の増設）	
		12 月	新看護の施設基準届出	
			病院託児所新設	
平成 7 年	(1995 年)	7 月	X 線 CT 室拡幅、CT 装置入れ替え	
平成 8 年	(1996 年)	1 月	診療時間の変更（土曜日の夜間診療を追加）	
		11 月	診療科目の新設（循環器科・消化器科・呼吸器科）	
平成 9 年	(1997 年)	4 月	院長 相馬彰就任	
		7 月	診療科目の新設（整形外科）	
		11 月	新看護（3.5 対 1、看護料、看護（B）加算 13 対 1 看護補助料）の施設基準届出	
平成 10 年	(1998 年)	4 月	診療科目の新設（心臓血管外科・放射線科）	
平成 11 年	(1999 年)	8 月	新築移転《病床数一般病棟 50・療養型 100》	
			更生医療機関の指定（心臓血管外科に関する医療）	
平成 12 年	(2000 年)	1 月	甲南病院看護職員宿舎「エトワール甲南」完成	
		4 月	介護療養型医療施設の指定《療養 44 床》	
			看護補助加算（10 対 1）の施設基準届出	
平成 13 年	(2001 年)	11 月	一般病棟入院基本料 I 群 3（3 対 1）の施設基準届出	
			療養病棟入院基本料 2（5 対 1）の施設基準届出	
平成 15 年	(2003 年)	4 月	一般病棟 45 床増床《病床数一般病棟 95・療養病床 100》	
			介護療養型医療施設の指定変更《療養 62 床》	
			居宅支援事業者（短期入所）の指定	
			MRI の導入、ICR、第 2 手術室の設置、理学療法室の拡張	
		12 月	一般病棟 4 床増床《病床数一般病棟 99・療養病床 100》	
平成 16 年	(2004 年)	2 月	救急病院として告示	
		6 月	マンモグラフィの導入	
		8 月	一般病棟入院基準料 I 準群入院基本料 2（2.5 対 1）の施設基準届出	
平成 17 年	(2005 年)	4 月	会長 磯矢良就任	
			理事長 相馬彰就任	
			院長 田中久富就任	
		10 月	理事長 古倉みのり就任	
平成 19 年	(2007 年)	4 月	（財）日本医療機能評価機構による認定受審	
		7 月	一般病棟・療養病棟の再編成（2A ⇄ 2C）	
			《病床数一般 100 床・療養 99 床（医療型 50 介護型 49）》	
			入院基本料看護基準 10 対 1 の施設基準届出	
平成 20 年	(2008 年)	8 月	病院内に訪問リハビリテーション事業所を開設	
		7 月	透析室の開設（4 床）	
			療養病棟の再編成	
			《病床数一般 100 床・療養 95 床（医療型 50 床・介護型 45 床）》	

平成 21 年	(2009 年)	1 月	診療科目の変更 内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病・代謝内科、女性内科 外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、心臓血管外科、放射線科、麻酔科
		10 月	療養病棟の再編成（介護療養型病床の廃止） 《病床数一般 100 床・療養 95 床（医療型 95 床）》
平成 22 年	(2010 年)	4 月	在宅療養支援病院の施設基準届出、急性期看護補助体制加算の施設基準届出
		6 月	健診室を開設
平成 23 年	(2011 年)	4 月	診療科目の新設（婦人科）
		5 月	副理事長 磯矢英士就任
		6 月	人工透析センターを開設 療養病床 4 床増床《一般 100 床、療養 99 床》
		7 月	仁生会甲南診療所開設（甲賀市立甲南診療所を引き継ぐ）
平成 24 年	(2012 年)	10 月	（財）日本医療機能評価機構による更新認定受審
平成 25 年	(2013 年)	4 月	診療時間の変更（土曜日午後診療休診） 電子カルテ導入
		7 月	3.0 テスラ MRI 導入 リハビリ室拡張
平成 26 年	(2014 年)	4 月	院長 渡田正二就任 診療科目の新設（肛門外科）
		5 月	ひまわり保育園新築移転竣工
平成 27 年	(2015 年)	1 月	地域包括ケア病床 20 床届出
		4 月	診療科目の新設（形成外科）
		8 月	診療科目の新設（呼吸器内科、呼吸器外科）
		10 月	心臓リハビリ室開設
平成 28 年	(2016 年)	4 月	診療科目の新設（腎臓内科）
		8 月	在宅医療支援センターこうなんを開設 訪問看護ステーションこうなん、居宅介護支援事業所を移転配置
		10 月	急性期看護補助体制加算 50 : 1 の施設基準届出
		11 月	（財）日本医療機能評価機構による更新認定受審
平成 29 年	(2017 年)	8 月	マンモグラフィ装置、64 列 CT 装置更新
		9 月	一般撮影装置更新、生化学分析装置更新、甲南診療所閉院
平成 30 年	(2018 年)	3 月	電子カルテ更新
		6 月	院長 古倉みのり兼任
		7 月	乳房用自動超音波画像診断装置導入
平成 31 年	(2019 年)	4 月	（財）日本医療機能評価機構中間報告 診療科目の新設（脳神経外科）
令和元年	(2019 年)	7 月	会長 磯矢良退任
		8 月	地域包括ケア病棟 50 床へ変更届出
		12 月	ナビゲーションシステム Nav3i 導入
令和 2 年	(2020 年)	1 月	院長 山本寛就任
		4 月	全自動輸血検査装置導入
		8 月	循環器用透視撮影装置更新
		10 月	地域包括ケア病棟 80 床へ変更届出
		12 月	増築棟完成（診察室、リハビリ室等拡張）
令和 3 年	(2021 年)	4 月	仁生会理念「一隅を照らす」制定 診療科目の新設（泌尿器科）
		6 月	冷温水発生機更新
		6 月	外来化学療法室開設
		12 月	（財）日本医療機能評価機構による更新認定受審
令和 4 年	(2022 年)	2 月	甲賀広域行政組合より救急自動車譲受 調剤支援システム更新
		3 月	PACS 更新、DR 装置導入

# 施設概要

令和4年3月31日現在

名称	医療法人社団仁生会 甲南病院	
所在地	〒520-3321 滋賀県甲賀市甲南町葛木 958 番地 TEL : 0748-86-3131 (代表) FAX : 0748-86-4131	
開設	昭和42年10月24日 (移設 平成11年8月1日)	
開設者	医療法人社団仁生会	
代表者	理事長 古倉 みのり	
管理者	病院長 山本 寛	
建物	敷地面積 13,739 m <sup>2</sup> , 建築面積 5,607 m <sup>2</sup> , 延床面積 12,221 m <sup>2</sup> , 鉄骨耐火構造 3階建て	
標榜診療科	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液内科 腎臓内科 女性内科 外科 呼吸器外科 心臓血管外科 消化器外科 乳腺外科 肛門外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 泌尿器科 婦人科 放射線科 麻酔科 糖尿病・代謝内科 脳神経内科	
診察受付時間	平日 <午前診> 8:30~12:00 <午後診> 15:30~18:00 土曜日 <午前診> 8:30~12:00	
休診日	日祝日、土曜日午後、年末年始(12月30日~1月3日)、開院記念日(8月1日)	
病棟	許可病床数 199床 一般病床 100床 (地域包括ケア病棟 80床含)・療養病床 99床	
主な設備	3T MRI、マルチスライス CT (64列)、循環器用透視撮影装置、マンモグラフィ装置、乳房用自動超音波画像診断装置、一般撮影装置、DR装置、X線TV装置、ナビゲーションシステム Nav3i 装置、骨密度測定装置 (全身用、前腕用)、PACS、自動血球計数装置、生化学分析装置、免疫発光測定装置、血液ガス分析装置、超音波画像診断装置、血管内皮機能検査装置、血圧脈波検査装置、肺機能検査装置、トレッドミル負荷心電計、末梢神経伝導速度検査装置、脳波検査装置、全自動輸血検査装置、人工透析装置、手術室 2室 他	
併設施設	在宅医療支援センターこうなん ひまわり保育園 居宅介護支援事業所 訪問リハビリテーション事業所 訪問看護ステーションこうなん	

## 指定・認定施設一覧

### 【指定施設】

(財)日本医療機能評価機構認定病院  
在宅療養支援病院  
救急告示病院  
社会保険指定医療機関  
国民健康保険指定医療機関  
労災保険指定医療機関  
身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関  
自立支援医療機関（育成医療・更生医療）  
生活保護法指定医療機関  
結核予防指定医療機関  
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関  
難病医療費助成指定医療機関  
指定居宅介護支援事業所（滋賀県知事指定事業所）  
指定訪問リハビリテーション事業所（滋賀県知事指定事業所）  
滋賀県特定疾患治療研究事業委託医療機関

### 【研修・関連施設】

日本外科学会外科専門医制度関連施設  
日本腹部救急学会認定施設  
消化器外科学会指定修練施設  
日本消化器病学会関連施設  
日本整形外科学会専門医制度による研修施設  
滋賀県難病医療協力病院

### 【基本診療料】

機能強化加算  
一般病棟入院基本料 4  
療養病棟入院基本料 1  
救急医療管理加算  
診療録管理体制加算 1  
医師事務作業補助体制加算 1  
急性期看護補助体制加算 25 対 1（夜間急性期看護補助体制加算 50 対 1）  
療養環境加算 1  
重症者等療養環境特別加算  
療養病棟療養環境加算 1  
医療安全対策加算 1  
感染防止対策加算 2  
患者サポート体制充実加算  
後発医薬品使用体制加算 2  
病棟薬剤業務実施加算 1  
データ提出加算 1（急性期） データ提出加算 3（療養病棟）

入退院支援加算 1  
認知症ケア加算 3  
せん妄ハイリスク患者ケア加算  
地域包括ケア病棟入院料 1、地域包括ケア入院医療管理料 1

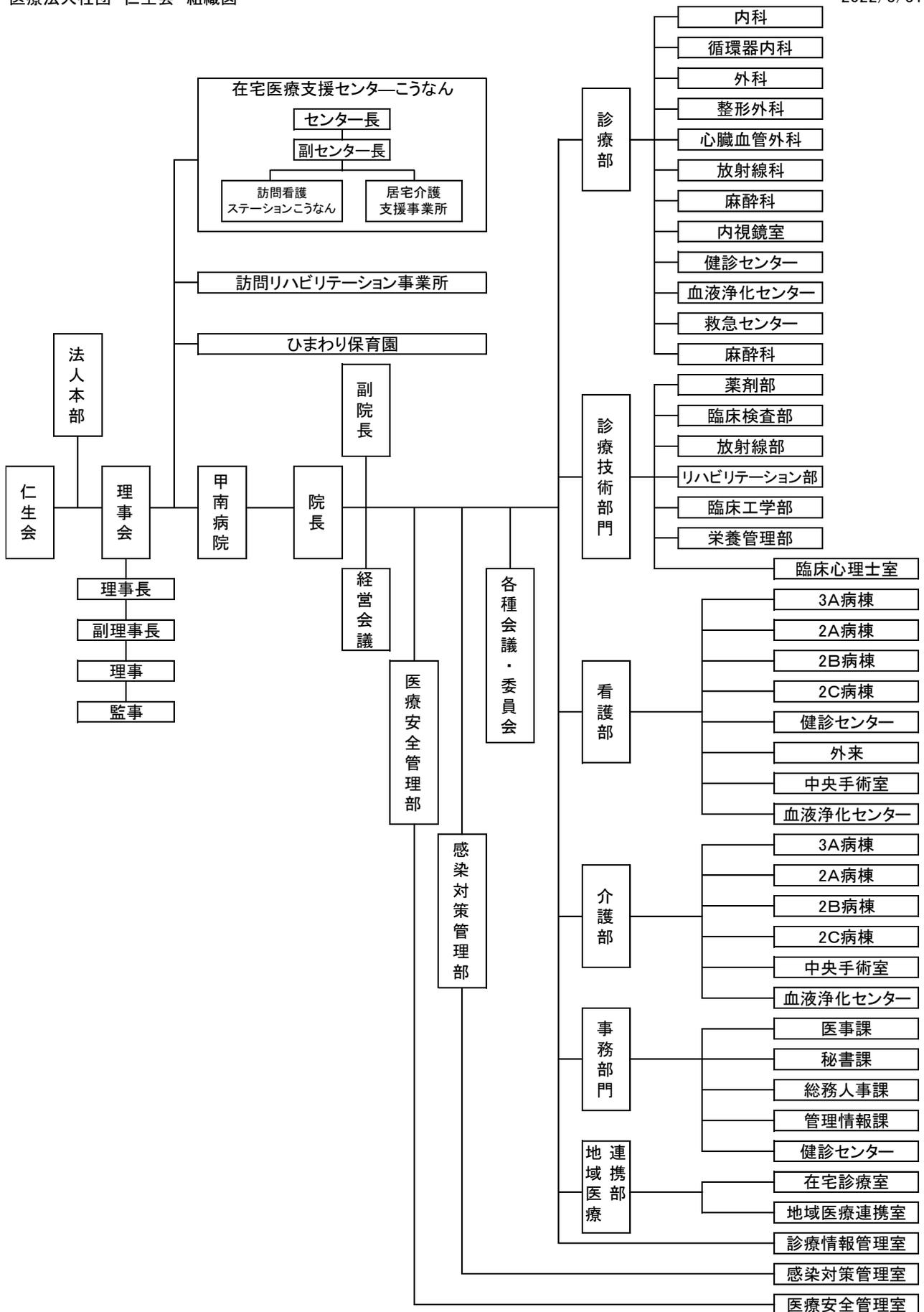
【特掲診療料】

心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に掲げる遠隔モニタリング加算  
糖尿病合併症管理料  
がん性疼痛緩和指導管理料  
糖尿病透析予防指導管理料  
ニコチン依存症管理料  
がん治療連携指導料  
薬剤管理指導料  
医療機器安全管理料 1  
別添 1 の「第 14 の 2」の 1 の (2) に規定する在宅療養支援病院  
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料  
在宅がん医療総合診療料  
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔モニタリング加算  
検体検査管理加算 (Ⅱ)  
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト  
神経学的検査  
画像診断管理加算 2  
C T 撮影 (64 列以上マルチスライス型機器) 及びMR I 撮影 (3 テスラ以上の機器)  
冠動脈C T 撮影加算  
外来化学療法加算 2  
心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)  
脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ)  
運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)  
がん患者リハビリテーション料  
集団コミュニケーション療法料  
人工腎臓 導入期加算 1  
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算  
下肢末梢動脈疾患指導管理加算  
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術  
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
大動脈バルーンパンピング法 (I A B P 法)  
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術 (胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。))  
輸血管理料 (Ⅱ) 輸血適正使用加算  
麻酔管理料(Ⅰ)  
酸素の購入単価  
入院時食事療養 (Ⅰ) 入院時生活療養 (Ⅰ)

## 医療法人社団 仁生会 職員数（令和4年3月31日時点）

単位：名

部署名	常勤	非常勤	合計
診療部	14	56	70
看護部	101	28	129
介護部	41	10	51
医療安全管理室	1	0	1
放射線部	7	1	8
薬剤部	6	7	13
臨床検査部	12	1	13
臨床工学部	10	0	10
リハビリテーション部	30	1	31
栄養管理部	3	0	3
臨床心理士室	2	0	2
地域医療連携部	7	1	8
健診センター	3	3	6
診療情報管理室	2	0	2
事務部	2	0	2
管理情報課	4	6	10
医事課	15	5	20
秘書課	17	0	17
総務人事課	4	0	4
法人本部	1	0	1
保育園	5	3	8
居宅介護支援事業所	4	0	4
訪問看護ステーション	7	4	11
総計	298	126	424



# 2021 年度活動報告

## 行事・イベント

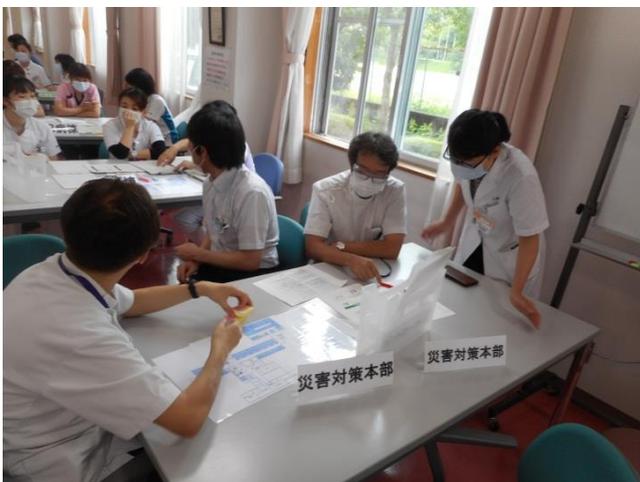
開催日	内容
4月 1日	入職式
7月 11日	大規模災害訓練（机上訓練）
8月 2日	永年勤続表彰式
11月 19日	院内研究発表会
12月 3日～4日	病院機能評価機構受審
1月 4日	年頭式
2月 4日	救急自動車譲渡式



入職式



永年勤続表彰式



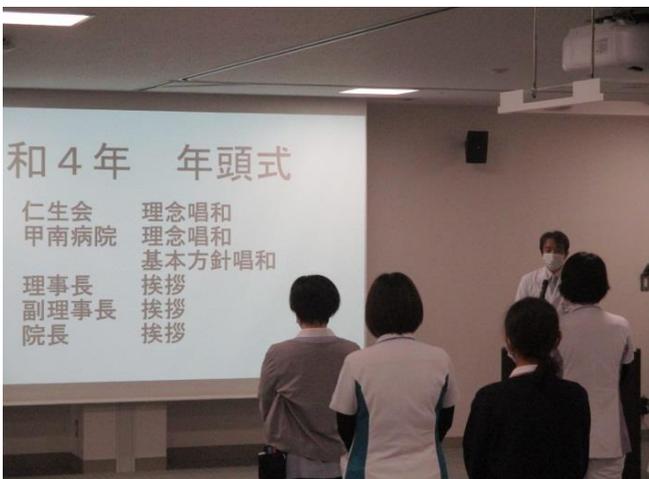
大規模災害訓練



院内研究発表会



病院機能評価受審



年頭式



救急自動車譲渡式

### 地域住民向けの教育、啓発活動

出前健康講座・あいコムこうか放映、院内で動画放映

開催日	テーマ	担当部署
12月23日	食事介助の仕方、形態、管理栄養士との連携	栄養管理部
2月25日	看とり期の食事介助	リハビリテーション部
8月より放映	コロナ禍が心身に及ぼす影響とその対策	臨床心理士室
	自宅でできる運動	リハビリテーション部
	コロナ禍の栄養について	栄養管理部
	フレイル-運動と栄養、口腔	リハビリテーション部
	コグニサイズ-脳トレ、認知症予防	リハビリテーション部
自分の望む人生を最期まで自分らしく歩むために	地域医療連携部	

## 糖尿病教室

開催日	テーマ	場所
5月10日	糖尿病について 等	甲南病院
6月14日	糖尿病の合併症について 等	甲南病院
7月12日	糖尿病の急性期合併症について 等	甲南病院
8月23日	低血糖について 等	甲南病院
9月13日	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
11月15日	糖尿病について 等	甲南病院
12月20日	糖尿病の合併症について 等	甲南病院
1月17日	糖尿病と歯周病～切っても切れない関係～ 等	甲南病院
2月14日	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院
3月14日	新型コロナウイルスの影響により中止	甲南病院

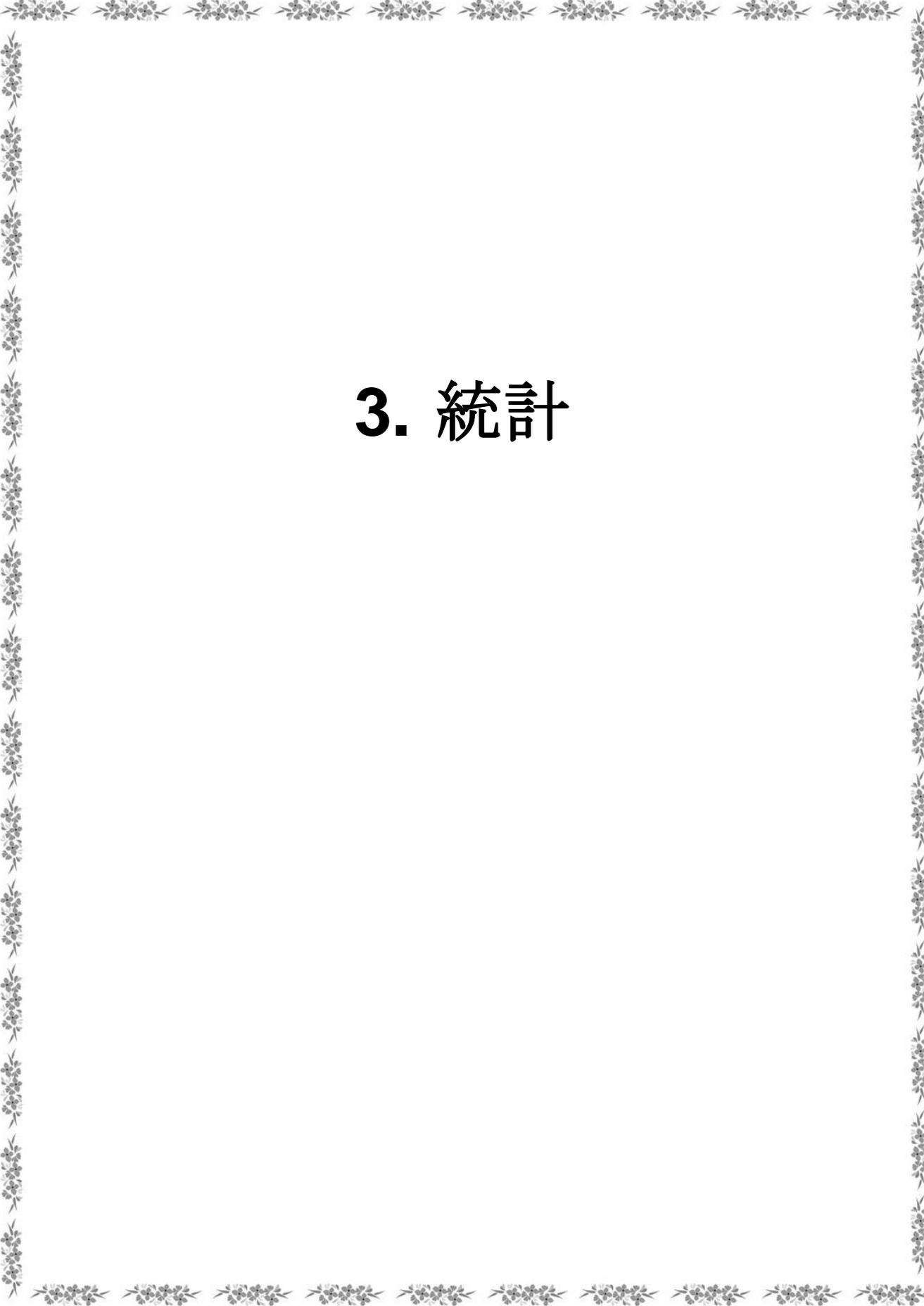
## 院内研究発表会

開催日 11月17日

発表者	職種	論題名
山本 なつみ	看護部	高次脳機能障害患者とのコミュニケーション ～コミュニケーション訓練により、コミュニケーション 能力は回復するのか～
矢野 圭介	看護部	手術室看護師による術前訪問 ～個別性に合わせた看護の実施と情報共有～
梅景 碧人	リハビリテーション部	膝蓋骨脱臼予防 ～不安のない学校生活を目的に～
安井 隆晴	リハビリテーション部	左肩腱板断裂術後症例の復職に向けた関わり ～頭より上の作業の不安感をなくすために～

## 院内研修

開催日	内容	主催
5月26日	ビデオ咽頭鏡研修会(ビデオ咽頭鏡はどんなもの?)	麻酔科 福島医師
6月14日～15日 16日、18日	多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止	医療安全委員会
6月24日	整形外科手術後の循環障害について ～観察のポイント～	看護部
7月19日～21日	人権研修 知りたいあなたのこと～外見からわからない障害について～	事務部 総務人事課
7月29日	Dr 勉強会(呼吸管理とCO <sub>2</sub> ナルコーシス・アシドーシス)	看護部
9月2日～3日 7日～8日	感染経路別予防策 ～院内全体で取り組む感染対策の基礎～	感染対策委員会
10月4日～5日 6日～7日 8日～9日	交通安全DVD研修	管理情報課
11月9日～10日 11日～13日	メンタルヘルス研修 (医療職のメンタルヘルスをケアするストレスマネジメント術)	衛生委員会
12月13日～14日 15日～16日	チーム医療とは何ですか?何ができるとよいですか?	医療安全委員会
12月14日～22日	認知症サポーター養成講座	研修委員会
1月21日～22日 26日～27日	スタンダードプリコーション(標準予防策) ～スタッフみんなでもう一度見直そう～	感染対策委員会
11月～3月	医療現場の個人情報保護と情報リテラシー	個人情報プライバシー委員会
2月28日 3月1日 3日～4日	情報セキュリティー研修	事務部

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the central text.

# 3. 統計

# 統計

## 1. 外来患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	5,279	4,956	5,511	5,556	5,145	5,499	5,734	5,594	5,719	5,406	4,813	5,724	64,936
新患者数	139	170	147	138	144	110	122	124	109	152	139	146	1,640
1日平均	211.2	215.5	212.0	222.6	205.8	229.1	221.0	233.1	228.8	235.0	218.8	220.2	220.9

## 2. 入院患者数

一般病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	476	539	523	501	508	513	544	518	551	538	469	546	6,226
在院日数	12.7	16.1	11.0	10.6	13.2	9.5	11.5	9.5	10.1	15.4	13.6	14.1	-
病床利用率	74.7	82.6	81.3	76.3	76.5	79.3	81.5	79.7	82.7	82.9	78.9	83.1	80.0
地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数 2A	1,319	1,363	1,423	1,438	1,383	1,452	1,509	1,465	1,376	1,323	1,180	1,334	16,565
延患者数 3A	846	853	866	853	846	905	974	901	894	925	861	917	10,641
在院日数 2A	23.6	23.4	21.1	24.6	18.2	20.2	23.9	27.5	23.9	25.0	26.6	21.7	-
在院日数 3A	19.9	18.6	19.1	14.0	20.9	21.5	21.2	19.2	16.1	25.9	19.0	21.1	-
病床利用率 2A	85.0	84.5	89.9	88.6	84.1	92.5	92.7	93.8	94.4	92.6	92.0	93.4	90.3
病床利用率 3A	89.7	87.5	92.1	85.8	87.1	97.9	100.4	96.0	91.8	96.1	98.5	94.4	93.1
医療療養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延患者数	2,710	2,943	2,962	2,915	2,930	2,914	3,071	2,930	3,022	3,030	2,772	3,072	35,271
在院日数	115	122	155	152	208	156	218	171	136	223	250	322	-
病床利用率	90.5	95.1	99.1	94.1	94.9	97.2	99.3	97.8	97.3	98.0	99.2	99.5	96.8

## 3. 科別患者数

### ◆ 内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合内科	510	478	500	519	457	536	488	511	514	491	403	496	5,903
新患外来	91	86	116	99	109	116	100	108	114	109	96	133	1,277
午後外来	232	240	234	247	234	268	260	264	243	214	194	238	2,868
入院	108	122	134	129	138	145	141	135	125	127	127	129	1,560

### ◆ 消化器内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	393	392	413	448	468	426	480	417	496	468	401	459	5,261

### ◆ 循環器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	582	513	608	568	542	539	553	546	595	508	506	584	6,644
入院	48	43	49	53	42	48	38	42	46	38	35	36	518

### ◆ 睡眠時無呼吸外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	4	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13

### ◆ 禁煙外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	0	1	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	10

## ◆ 心臓血管外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	12	12	8	10	10	7	12	10	9	6	5	4	105
入院	3	7	4	5	4	1	7	8	7	5	7	10	68

## ◆ 脳神経内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	23	17	27	20	21	27	23	19	28	22	16	25	268

## ◆ もの忘れ外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	97	72	100	78	84	97	79	77	81	89	84	108	1,046

## ◆ 脳神経外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	43	32	47	32	47	39	30	36	51	36	29	61	483

## ◆ 腎臓内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	67	96	72	105	83	96	89	102	100	100	72	82	1,064

## ◆ 糖尿病・代謝内科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	231	236	255	230	249	224	241	239	257	245	224	259	2,890

## ◆ 呼吸器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	39	25	33	31	34	26	39	28	33	30	23	31	372

## ◆ 外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
午前外来	334	253	280	338	298	260	286	276	251	233	209	253	3,271
午後外来	24	14	28	34	25	16	22	16	31	15	26	28	279
入院	45	54	55	58	58	49	51	46	44	46	42	40	588

## ◆ 肥満外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	18	19	26	27	24	23	35	28	26	25	26	32	309

## ◆ 麻酔科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	15	9	20	18	13	0	24	19	14	11	15	12	170

## ◆ 乳腺外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	41	27	35	23	33	26	35	41	30	30	38	30	389

## ◆ 婦人科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	39	51	110	118	112	144	162	141	166	98	88	121	1,350

◆ 整形外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	982	849	1,025	1,071	1,019	1,021	1,069	1,099	1,053	1,041	970	1,131	12,330
入院	72	64	64	67	59	67	77	77	81	68	71	81	848

◆ 膝外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	27	33	42	31	29	38	25	37	50	38	35	56	441

◆ 脊椎外来

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	35	24	28	28	30	31	34	20	28	23	17	25	323

◆ 形成外科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	34	39	45	43	29	40	34	31	26	34	29	30	414

◆ 泌尿器科

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	35	46	71	61	63	72	63	81	71	69	78	79	789

◆ 透析センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	820	809	810	833	831	838	854	825	875	867	765	871	9,998
入院	22	19	24	22	22	19	22	21	26	12	15	19	243

◆ 健診センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者	113	158	337	332	249	443	536	509	390	207	166	204	3,644

◆ 訪問診療

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数	114	105	94	95	144	97	106	107	101	105	99	97	1,264

4.紹介率

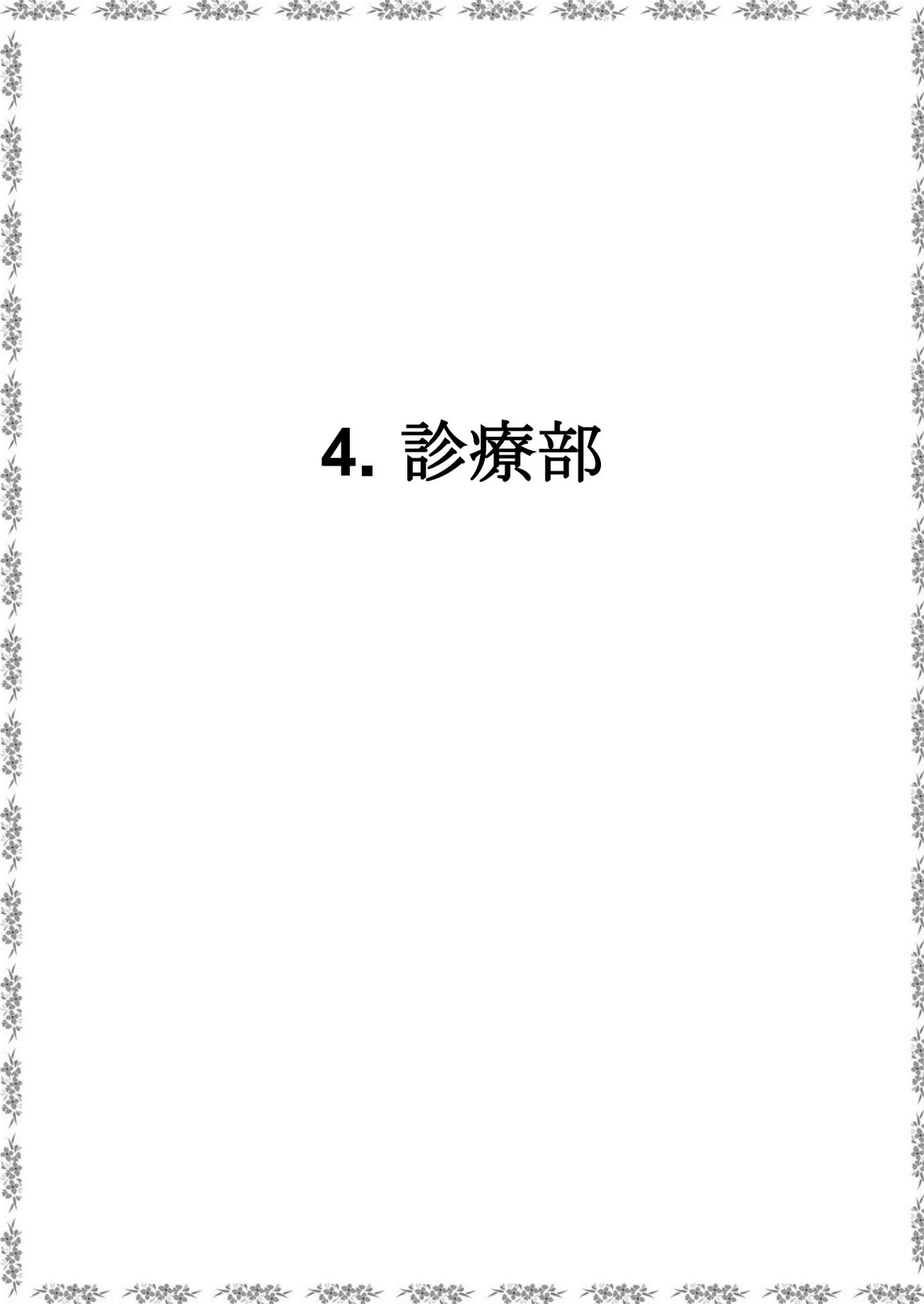
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
紹介率	46.1	45.3	46.6	46.0	41.8	44.7	42.5	46.5	42.6	36.2	29.5	39.5	42.3
逆紹介率	18.3	13.0	16.5	14.8	17.0	16.3	16.1	16.4	16.6	16.0	10.4	16.8	15.7

### 5.地域別入院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
甲南町	52	64	57	62	68	75	57	56	71	64	51	56	733
甲賀町	26	36	23	31	25	29	36	40	22	23	24	32	347
水口町	24	24	46	45	35	39	36	29	29	26	28	25	386
土山町	8	5	8	6	6	2	6	6	10	7	7	9	80
信楽町	15	11	10	11	12	14	17	10	14	11	9	19	153
日野町	2	2	3	3	0	0	1	1	1	1	0	1	15
湖南市	2	2	6	6	5	2	4	2	5	5	2	3	44
その他県内	2	0	3	2	2	5	1	5	8	1	1	5	35
伊賀市	7	5	5	9	7	7	4	8	4	4	2	8	70
その他県外	0	0	1	2	1	2	0	1	2	1	5	2	17
合計	138	149	162	177	161	175	162	158	166	143	129	160	1,880

### 6.地域別退院患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
甲南町	48	57	62	66	62	64	70	58	68	58	49	64	726
甲賀町	19	31	33	27	26	24	37	38	31	31	16	27	340
水口町	32	31	31	47	41	37	31	35	29	26	33	19	392
土山町	10	6	6	5	9	2	1	7	8	7	8	9	78
信楽町	14	10	13	10	17	9	19	11	18	7	8	15	151
日野町	2	1	2	3	3	0	1	1	1	1	0	0	15
湖南市	1	0	8	6	3	4	5	3	2	3	7	1	43
その他県内	4	1	3	1	1	4	2	3	9	0	2	4	34
伊賀市	2	5	6	9	6	7	7	5	5	4	3	6	65
その他県外	1	0	1	1	1	1	2	0	2	0	4	2	15
合計	133	142	165	175	169	152	175	161	173	137	130	147	1,859

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

## 4. 診療部

# 内科（総合内科）

## 1.概要

当院は地域性により高齢者が多いため、多疾患を合わせ持つ患者さんが多く、総合内科では感染症、生活習慣病をはじめ疾患は多岐にわたっています。循環器外来、消化器外来、糖尿病外来、膠原病、腎臓内科、呼吸器外来などがあり、必要に応じて院内で紹介しています。ほとんどの画像検査、生理検査は当日に施行できるため、適切に診断・治療を行い、入院の適応を判断するなどスムーズな診療が可能です。診察は月曜日～土曜日の午前診を行っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事長	古倉 みのり	日本医師会認定産業医 認知症サポート医
理事	片岡 慶正	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本膵臓学会指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本超音波医学会専門医・指導医
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医
医員	米村 岳尚	
非常勤医師	佐川 友哉	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会専門医 日本リウマチ学会専門医
非常勤医師	新谷 修平	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医
非常勤医師	堀口 淳矢	日本内科学会認定内科医

### ◆ 他スタッフ

非常勤医師 2名

## 3.診療実績

- ◆ 午前外来患者数 7,180名
- ◆ 午後外来患者数 2,868名
- ◆ 入院患者数 1,560名

# 消化器内科

## 1.概要

現在、消化器内科は常勤医師2名と非常勤医師5名により診療と検査を行っています。検査は、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を中心に行っています。内視鏡検査以外にも出血性潰瘍に対する止血術や食道静脈瘤に対する治療のほか、内視鏡的胃粘膜切除術や大腸ポリープ切除術も行っています。膵臓・胆管領域では、胆管結石に対する内視鏡的結石除去術を行い、閉塞性黄疸に対しては、内視鏡的減黄術や経皮的ドレナージ術を行い対応しています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
内視鏡室長	馬場 修	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本医師会認定産業医 日本ヘリコバクター学会認定医
医員	瀬川 秀和	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本血液学会専門医 日本医師会認定産業医
非常勤医師	古倉 聡	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本ハイパーサーミア学会指導医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本癌治療学会臨床試験登録医 日本がん治療医認定機構暫定教育医 日本消化管学会胃腸科認定医
非常勤医師	高橋 憲一郎	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤医師	土屋 さやか	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
非常勤医師	高田 智規	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医
非常勤医師	今井 隆行	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医

## 3.診療実績

◆ 外来患者数 5,261名

◆ 検査件数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
胃カメラ	124	135	169	174	143	199	204	206	212	201	130	124	2,021
大腸カメラ	46	43	62	44	54	56	53	53	45	48	34	39	577
ポリペク	12	15	15	9	6	13	18	17	6	16	9	6	142
ERCP	0	2	4	1	1	1	0	2	3	0	3	0	17
PEG 造設	3	1	1	0	2	0	1	0	0	1	0	2	11
胃ろうチューブ交換	5	1	0	1	6	1	4	4	1	1	0	2	26

\*ERCPにはERBD、ENBD、ESTなど含む

# 循環器科

## 1.概要

現在、循環器科は常勤医師 2 名、非常勤医師 1 名体制で心筋梗塞・狭心症・閉塞性動脈硬化症・内シヤント狭窄のカテーテル検査・治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術、心不全、不整脈の内服加療等を行っており、心臓リハビリテーションも積極的に行っております。2017 年 8 月に冠動脈 CT が導入され、より早期の虚血性心疾患の診断が可能となっております。

当科は何より患者さんのためになるよう考え、より安全に治療することを心がけて診療をさせていただいております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
循環器部長	川浪 二郎	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本医師会認定産業医
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	
非常勤医師	窪田 浩志	日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医

## 3.診療実績

- ◆ 外来患者数 6,644 名
- ◆ 入院患者数 518 名
- ◆ 睡眠時無呼吸外来患者数 13 名
- ◆ 禁煙外来患者数 10 名
- ◆ 検査件数・手術件数など
  - 心エコー 1,401 件
  - 心臓カテーテル検査 62 件
  - 経皮的冠動脈形成術 17 件
  - 恒久的ペースメーカー植え込み術 6 件
  - ペースメーカー電池交換術 3 件

# 心臓血管外科

## 1.概要

当科では動脈疾患は主に腹部大動脈領域以下の末梢血管外科を中心に、また下肢静脈疾患・リンパ疾患を診療しております。特に閉塞性動脈硬化症に対しては、血管内カテーテル治療または手術加療を行っておりますが、心臓血管外科医が担当することで、一度の治療で両者を同時に行うことが出来るという特長があります。また、手術加療の適応とならない患者さんに対しても、内服などの保存的加療および療養指導を行っております。

また、透析患者さんのシャント設置術および経皮的拡張術も行っております。

診察日は金曜日午後の「足の血管外来（完全予約制）」です。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	

## 3.診療実績

- ◆ 外来患者数 105名
- ◆ 入院患者数 68名
- ◆ 検査件数 下肢動脈造影 7件
- ◆ 手術件数

下肢静脈瘤手術	2件
バイパス移植術	1件
ペースメーカー移植術	1件
体外ペースメーカー移植術	1件
心膜切開術	1件
四肢の血管拡張術	14件
経皮的冠動脈ステント留置術	15件
経皮的冠動脈形成術	1件
末梢動静脈瘻造設術	3件
経皮的シャント拡張術・血栓除去術	45件

# 脳神経内科

## 1.概要

脳血管障害、認知症、パーキンソン病、てんかんの患者さんが多くおられます。

外来ではおよそ当日に、CT・MRI・レントゲンなど画像検査、エコー・採血含め生理検査を行うことが可能です。ただし、脳波や神経伝導検査、髄液検査は、当日に検査をすることは難しく、また補助検査としてのRI検査、神経筋疾患の補助検査である針筋電図は近隣施設へ依頼しています。脳梗塞急性期のt-PAは施設基準を満たさず、当院では施行していません。脊髄疾患は整形外科医師と連携をとっています。当院のリハビリは理学療法、作業療法、言語療法とレベルの高い常勤スタッフがおり、急性期・亜急性期、そして慢性期の患者さんも受け入れています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医

## 3.診療実績

- ◆ 外来患者数 268名
- ◆ 紹介件数 34件

# もの忘れ外来

## 1.概要

2018年1月に特殊外来として「もの忘れ外来」を開設しました。午前中は再診患者枠で予約制とし主に内服治療を行い、ご家族の日頃の不安や悩みについてアドバイスも行っております。午後は新患者枠で完全予約制としております。頭部CT、認知症採血、認知検査を行ったうえで、認知症サポート医が診察をして本人とご家族へ結果を説明しています。当院は、臨床心理士2名が認知検査、心理検査を担当し、詳細な結果報告と生活上のアドバイスを提案しているため患者さんの日常生活に役立っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医

## 3.診療実績

- ◆ 外来患者数 1,046名
- ◆ 紹介件数 32件

# 脳神経外科

## 1.概要

脳神経外科とは、脳神経系の疾患に対して外科治療を行う専門家です。普段は他の病院で、脳神経内科とともに脳卒中センターを運営し、滋賀県で最も多くの脳卒中患者さんの診療や手術を行っております。

当科では、脳血管障害（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞、頸部頸動脈狭窄など）、脳腫瘍、頭部外傷（慢性硬膜下血腫を含む）、さらには水頭症（2次性水頭症、正常圧水頭症）などを中心に診療を行っております。最新鋭の3T-MRIや64列CT、エコー機器を用いて高精細な画像、さらには3D画像を駆使して、詳細な診断を行い、治療方針を検討しております。内科的な治療が中心となる疾患に関しましては脳神経内科と連携して診療に当たっております。脊髄疾患に関しましては整形外科に診療を依頼しております。また最近ではヘリコプター等で搬送され、遠方の他院で急性期治療を受けられる方が増えております。地元に戻ってこられた際には、他院で行われた術後の経過観察も積極的に行っております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	岡 英輝	日本脳神経外科学会専門医・指導医 日本脳卒中学会指導医 日本脳卒中外科学会技術指導医 日本神経内視鏡学会技術認定医 日本脳神経外傷学会指導医

## 3.診療実績

◆ 外来患者数 483名

# 腎臓内科

## 1.概要

当科では、健診などで尿潜血やたんぱく尿など、尿に異常を指摘された方、高血圧や糖尿病などから腎臓が悪くなった方など、多くの腎疾患の診療を行っています。腎疾患は、いろいろな病態が組み合わさっています。その中でも、新たな国民病とも言われているCKD（慢性腎臓病）は、進行すると腎移植や透析療法が必要となるだけでなく、心筋梗塞や脳卒中等の発症リスクも高まります。早期治療が必要であるにも関わらず、初期には自覚症状が少ないため注意を必要とします。CKDの進行を予防するために、診療所からの紹介患者さんにも、病診連携にて継続的な治療・指導を行います。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	宇津 貴	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本高血圧学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 医学博士
非常勤医師	藤野 佳彦	日本内科学会認定内科医

## 3.診療実績

◆ 外来患者数 1,064 名

# 糖尿病・代謝内科

## 1.概要

当科では、主として生活習慣病（糖尿病、脂質異常症、高血圧症、高尿酸血症）の治療を行っています。当院は健診から生活習慣病に対する指導及び適切な診断・治療を行っています。

また、医師を含む他職種で糖尿病教室（月 1 回）を開催しています。患者さんやご家族はもとより、地域の皆様に対して、糖尿病に対する正しい知識の啓蒙を行うとともに、スタッフ一同患者さんへの指導を行っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	西村 公宏	日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医
非常勤医師	今井 暖	日本内科学会認定内科医
非常勤医師	松井 崇晃	
非常勤医師	吉村 尚	日本内科学会認定内科医 日本糖尿病学会専門医

## 3.診療実績

◆ 外来患者数 2,890 名

# 泌尿器科

## 1.概要

当科では排尿困難や頻尿、尿失禁などの排尿に関連する症状を訴える方、尿路結石や膀胱炎や腎盂腎炎などの尿路感染症の方など尿検査や腹部超音波検査、血中 PSA 測定などで異常を認める方など多くの患者さんの診療にあたっています。

2021年4月から当院で泌尿器科外来を毎週週1回火曜日に開設して以来、受診される患者さんは日に日に増加傾向にあり、甲南地域における泌尿器科の必要性を改めて認識しております。非常勤での対応のため全ての診療が当院で完結できるわけではありませんが、近隣の泌尿器科と連携し迅速に対応できる体制を構築しております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	吉田 哲也	日本泌尿器科学会（専門医・指導医） 日本内視鏡外科学会・日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会（腹腔鏡技術認定医） 日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会（泌尿器ロボット支援手術プロクター） 日本がん治療認定医機構（がん治療認定医）

## 3.診療実績

外来患者数 789名

# 呼吸器科

## 1.概要

当科は、咳、痰、息切れなどの呼吸器症状を有する患者さんや胸部画像検査で異常を認めた患者さんに対して診療を行っています。対象疾患は、主に肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、気胸、肺がんなどです。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	大塩 恭彦	日本外科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器外科学会評議員 日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会評議員 日本胸部外科学会評議員 関西胸部外科学会評議員 近畿外科学会評議員
非常勤医師	岡本 圭伍	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医・評議員 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 近畿外科学会評議員
非常勤医師	賀来 良輔	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 近畿外科学会評議員

## 3.診療実績

◆ 外来患者数 372名

# 外科

## 1.概要

2019年1月より山本寛医師が就任し、常勤医師は2人体制になりました。腹腔鏡下手術も積極的に行い、腹腔鏡下胃切除、結腸切除、直腸切除、鼠径ヘルニア修復術、胆嚢摘出術などを施行しています。

山本寛医師はこれまで滋賀医科大学、淡海医療センターで上部消化管外科、腹腔鏡外科、肥満外科を専門としておりましたので、当院でもその領域の診療(腹腔鏡下胃切除、腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術、肥満手術)を積極的に進めています。2021年度には高肥満患者 に対しての腹腔鏡下胃スリーブ切除を2例施行し、食道裂孔ヘルニア修復術を11例施行(全国11位)しています。

胃癌大腸癌を中心に再発、切除不能癌の化学療法を入院及び外来で施行しています。膵癌や胆道癌などについても滋賀医科大学消化器外科学講座の協力のもと化学療法を施行しています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事	谷 徹	日本外科学会認定医・指導医 日本消化器外科学会認定医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本大腸肛門病学会認定医・指導医 日本アフェシス学会認定専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
院長	山本 寛	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・近畿支部評議員 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員 日本臨床外科学会評議員 日本腹部救急学会 評議員、暫定教育医 日本肥満症治療学会評議員・メタボリックサージェリー検討委員会委員・データベース委員会委員・肥満外科治療 ガイドライン策定委員会委員・保険診療問題委員会委員・肥満外科手術認定制度準備委員会委員・教育委員会委員・プログラム委員会委員 日本食道学会認定医 日本肥満学会専門医・評議員・ガイドライン作成委員・カリキュラム作成医員・専門医試験作成委員 抗加齢学会専門医 Member of International Federation for the Surgery of Obesity and Metabolic Surgery Member of Asia Pacific Metabolic and Bariatric Surgery Society
副院長 外科部長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
非常勤医師	森川 茂廣	医学博士 日本消化器外科学会認定医・指導医 日本外科学会認定医

非常勤医師	小島 正継	日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本緩和医療学会緩和医療認定医 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 日本臨床栄養代謝学会認定医 マンモグラフィ検診制度管理中央委員会マンモグラフィ検診読影認定医 ICD 制度協議会インфекションコントロールドクター
非常勤医師	前平 博充	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医（胆道） 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本膵臓学会認定指導医 日本肝臓学会肝臓専門医 日本胆道学会認定指導医 インフェクションコントロールドクター

- ◆ 他スタッフ  
非常勤医師 2名

### 3.診療実績

- ◆ 外来患者数 3,271名
- ◆ 入院患者数 588名
- ◆ 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	12	9	11	14	12	15	17	14	16	11	11	11	153

### 4.論文

- ◆ 山本寛、廣瀬京子、前田輝子、松永洋祐、岡崎哲也、古倉みのり『コロナ禍の面会制限に対するオンライン面会の導入によるストレス緩和の検証の試み』全日本病院協会雑誌 第31巻2号第32巻1号合併号, 2021年.  
\*全日本病院協会最優秀論文賞
- ◆ 山本寛『肥満代謝外科手術と Precision Medicine / 個別化医療』実験医学 VOL39 NO5, P208-213, 2021.
- ◆ 山本寛『他施設共同研究：高度肥満症に対する肥満外科治療の費用対効果に関する研究とその現状報告』肥満症治療学展望 8(3):37, 2021.

# 乳腺外科

## 1.概要

---

当科では、乳腺疾患の診断、乳がんに対する薬物療法、治療後の経過観察を行っています。近年乳がんが話題となり、検診での早期発見例が増えています。

当院では、乳腺超音波検査、マンモグラフィ検査、乳腺 MRI 検査、超音波ガイド下にて細胞診や針生検などを行っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	寺村 康史	

### ◆ 他スタッフ

非常勤医師 1名

## 3.診療実績

---

◆ 外来患者数 389名

# 婦人科

## 1.概要

---

当科では、毎週月曜日と水曜日の午前に非常勤医師が婦人科疾患全般（子宮筋腫、月経不順、月経調整、不正出血、おりもの、かゆみ等）や、子宮がん検診の診察を行っています。ただし、婦人科疾患の大きな処置及び入院治療は行っていません。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	尾上 敏子	
非常勤医師	笠原 恭子	日本産婦人科学会専門医 日本女性医学学会認定ヘルスケア専門医

- ◆ 他スタッフ  
非常勤医師 1名

## 3.診療実績

---

- ◆ 外来患者数 1,350名

# 整形外科

## 1. 概要

患者さん、ご家族が安心して笑顔で過ごせることを目標に診療しています。

今年度はコロナ禍のなかにもありながらも、地域住民の皆様に対し例年と大きな遜色なく治療を提供できました。ひとえに近隣の甲賀病院をはじめ、コロナ対応に全力をあげ地域住民の安全を守っておられる医療者に深く感謝する次第です。

引き続き、一般整形から専門性の高い高度な治療まで受けて頂けるよう、骨粗鬆症チームや離床サポートチームを編成し微力ながら活動を継続しております。また滋賀医科大学から非常勤医師をお迎えし、最先端で高度な医療を提供させて頂いております。脊椎手術やナビゲーションシステムを用いた人工膝関節手術も症例数が増加してきております。

## 2. スタッフ構成

役職	名前	資格
副理事長	磯矢 英士	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リウマチ学会専門医
整形外科部長	宮本 浩次	日本整形外科学会専門医 日本骨粗鬆症学会認定医
非常勤医師	久保 充彦	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 医学博士 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本人工関節学会認定医
非常勤医師	松末 吉隆	日本リハビリテーション医学会専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本整形外科学会専門医
非常勤医師	森 幹士	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会指導医 日本リウマチ学会専門医 日本脊椎脊髄外科専門医 日本リウマチ財団登録医 日本整形外科学会リウマチ医・認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医 日本リハビリテーション医学会専門医
非常勤医師	児玉 成人	日本整形外科学会整形外科専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本手外科学会専門医
非常勤医師	彌山 峰史	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医・指導医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本脊椎脊髄病学会指導医 中部日本整形外科災害学会評議員
非常勤医師	高村 裕史	日本整形外科学会専門医

- ◆ 他スタッフ  
非常勤医師 1名

### 3.診療実績

---

- ◆ 外来患者数
  - 整形外科 12,330 名
  - 膝外来 441 名
  - 脊椎外来 323 名

- ◆ 入院患者数 848 名

- ◆ 手術件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	22	21	31	25	17	22	27	26	19	24	21	25	280

# 形成外科

## 1.概要

当科では、外傷（皮膚損傷）、皮膚皮下腫瘍（いぼ、ほくろ、おでき等）、傷あと、やけど、褥瘡、巻爪、眼瞼下垂、顔面の骨折等の整容的問題の形態回復を図る処置、手術を行っています。また、レーザー治療器を導入し、いぼ、ほくろ、しみなどに対して可能な限り治療を行っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
非常勤医師	吾妻 隆久	日本形成外科学会専門医

## 3.診療実績

◆外来患者数 414 名

◆手術件数

皮膚腫瘍摘出術	26 件
皮下腫瘍摘出術	25 件
眼瞼下垂症手術	8 件
全層植皮術	2 件
皮膚悪性腫瘍切除術	1 件
異物摘出術	1 件
創傷処理(長径 5 cm 未満・筋肉臓器に達する・真皮縫合)	1 件
デブリードマン(100 cm <sup>2</sup> 未満)	1 件
皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	1 件
副耳切除術	1 件
腹部余剰皮膚切除	1 件
睫毛内反症手術	1 件
合計	69 件

# 肥満外来

## 1.概要

BMI35以上の高度肥満症は、内科治療では改善が困難で、外科治療(腹腔鏡下スリーブ状胃切除術：保険適応あり)が推奨されています。さらに、この手術は、肥満にとどまらず、糖尿病を含む肥満関連疾患を劇的に改善する効果があり、糖尿病治療のガイドラインにも、高度肥満を伴う糖尿病患者さんに対して、手術が推奨されています。当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどの専門家からなる肥満外科治療チームが患者さんをサポートします。

2020年より、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を開始いたしました。コロナ禍ではありますが、状況を見ながら、手術を含めた肥満症治療を進めてまいります。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
院長	山本 寛	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・近畿支部評議員 日本内視鏡外科学会技術認定医・評議員 日本臨床外科学会評議員 日本腹部救急学会 評議員、暫定教育医 日本肥満症治療学会評議員・メタボリックサージェリー検討委員会委員・データベース委員会委員・肥満外科治療ガイドライン策定委員会委員・保険診療問題委員会委員・肥満外科手術認定制度準備委員会委員・教育委員会委員・プログラム委員会委員 日本食道学会認定医 日本肥満学会専門医・評議員・ガイドライン作成委員・カリキュラム作成医員・専門医試験作成委員 抗加齢学会専門医 Member of International Federation for the Surgery of Obesity and Metabolic Surgery Member of Asia Pacific Metabolic and Bariatric Surgery Society
副院長 外科部長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 がん治療認定医
診療部長	馬場 真奈美	日本内科学会認定内科医 日本神経内科学会専門医 日本医師会認定産業医 認知症サポート医
健診センター長	上田 浩史	日本医師会認定産業医

◆ 他スタッフ

管理栄養士 1名、理学療法士 3名、看護師 3名、臨床心理士 1名、社会福祉士 1名、  
薬剤師 1名、臨床検査技師 1名、事務職員 2名



### 3. 診療実績

---

◆ 外来患者数 309名

### 4. 業績（論文）

---

1. Prediction of long-term diabetes remission after metabolic surgery in obese east asian patients: a comparison between ABCD and IMS scores. Ohta M, Yosuke Seki, Tetsuji Ohyama, Rixing Bai, Sang Hyun Kim, Takashi Oshiro, Tao Jiang, Sasaki A, Naitoh T, Tsuyoshi Yamaguchi, Susumu Inamine, Yasuhiro Miyazaki, Soo Min Ahn, Yoonseok Heo, Hui Liang, Seung Ho Choi, Wah Yang, Qiyuan Yao, Kentaro Inoue, Hiroshi Yamamoto, Hyuk Joon Lee, Young Suk Park, Tae Kyung Ha, Seung Wan Ryu, Cunchuan Wang, Sungsoo Park, Kazunori Kasama; *Obes Surg.* 2021 April 31(4):1485-95.
2. Geometry of sleeve gastrectomy measured by 3D CT versus body weight loss: Preliminary analysis. Tsuyoshi Yamaguchi, Hiroshi Yamamoto, Yuki Tomozawa, Satoshi Ugi, Sachiko Kaida, Toru Miyake, Katsutaro Morino, Masaji Tani. *Endocr J.* 2019 Sep 28;66(9):817-826.

### 4. 業績（科学研究費獲得）

1. 令和2年度科学研究費助成金 基盤研究C（令和2~4年度）  
研究課題名「高度肥満症に対する外科治療の費用対効果に関する研究」

# 放射線科

## 1.概要

当科にて、2013年度に Philips 社製 3T MRI、2015年度に東芝社製 FPD X 線透視装置、2017年度に GE 社製 64 列 Dual Energy CT、GE 社製マンモグラフィ装置（トモシンセシス）、島津社製一般撮影装置、そして2018年度に ABUS（自動乳房超音波装置）が導入されました。最新の機器設置により最先端の医療に対応可能な画像環境が整えられました。

診療体制は、2018年度より非常勤の放射線診断医が1名加わり、計3名の体制で画像診断を行っています。当院で撮影される一般診療と健診におけるほぼ全ての画像において即時読影を行うことにより、他科からの依頼に対し質の高い画像診断の迅速な提供を可能にしています。また、近隣の医療機関からの撮影、読影依頼についても同様に対応することで地域医療にも貢献しています。

院内外からの画像診断におけるコンサルトに対応し、院内では、他科の医師を交えての合同画像カンファレンスを定期的に行うことにより画像診断の質のさらなる向上を図っています。今後も地域の皆様の期待に十分応えることができるよう、努力を続けていきたいと思っております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
顧問	坂本 力	日本消化器がん検診学会認定医 マンモグラフィ読影認定医
副院長 放射線科部長	田中 豊彦	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 腹部救急認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 乳腺超音波読影認定医
非常勤医師	玄正 祥代	日本医学放射線学会放射線科専門医・放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医（評価 AS） 乳がん検診超音波読影認定医（評価 A） 肺がん CT 検診認定医 産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医 医療経営士 2 級

## 3.診療実績

	撮影件数	（紹介件数）	読影件数
一般撮影	13,930	(0)	8,558
CT	5,446	(693)	5,432
MRI	3,305	(1,093)	3,305
透視検査	987	(0)	824
マンモグラフィ	1,463	(0)	1,315
骨密度検査	1,056	(4)	0
合計	26,187	(1,790)	19,434

# 麻酔科

## 1.概要

手術室2室での麻酔業務を中心に、周術期管理に携わっております。麻酔科術前外来も週3日午前中に特殊外来という形で予約を受けております。高齢者の多い地域の実状としましては、術前の体調管理や禁煙などの生活習慣改善の指導、歯牙の異状には歯科医院のご紹介なども行っております。

2022年度の診療報酬改定で、術後疼痛管理チーム加算が算定出来るようになりました。患者さんの術後早期回復の一助となれるよう、手術室関係スタッフ一同研鑽に努めてまいります。

これからも病院内外の皆様からの御協力を得て、より安全な手術治療に貢献できるよう設備・技術を高めてまいりたいと存じます。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
医員	篠原 奈緒	日本麻酔科学会指導医・専門医 麻酔科標榜医 緩和ケア研修会終了 臨床研修指導医講習会終了
非常勤医師	上林 昭景	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医・認定医・専門医
非常勤医師	高畑 一貴	麻酔科標榜医

### ◆ 他スタッフ

常勤医師 1名

## 3.診療実績

### ◆ 麻酔件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全身麻酔	28	20	33	29	17	28	35	32	23	26	23	25	319
脊椎麻酔	0	1	3	1	1	3	1	1	1	1	1	1	16
局所麻酔	9	12	16	14	15	9	18	19	13	17	13	15	170
合計	37	32	52	44	33	40	54	52	37	44	37	41	504

# 血液浄化センター

## 1.概要

2011年5月に、広々とした室内に透析装置を計24台完備した、血液浄化センターを開設いたしました。現在は、26台に増床しOnline-HDFにも対応しています。

通院透析の患者さんに対しては、車椅子対応の無料送迎を行っており、月に一度主治医による透析外来にてご家族とともに検査結果や病状の説明を受けていただいております。同時に管理栄養士による栄養指導も行っています。ADL低下や病状進行により通院透析が困難となった場合、長期入院透析にも対応しております。

内シャントの狭窄・閉塞に対しては、心臓血管外科医による経皮的拡張術・新規シャント作成を当院にて行っております。

透析患者さんには心血管合併症が高率に発症しますが、循環器内科医師・心臓血管外科医師が担当していることから、早期に適切な診断・加療が行えます。

また、腎臓内科医師と連携し、新規導入も行っております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
心臓血管外科部長 血液浄化センター長	西 崇男	
副院長 外科部長	神谷 純広	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

## 3.診療実績

- ◆ 外来透析回数 9,998回
- ◆ 入院透析回数 2,123回
- ◆ 透析回数・検査等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析 総回数	1,006	1,012	1,006	1,039	1,022	1,041	1,038	1,027	1,058	990	890	992	12,121
下肢末梢 動脈疾患 指導管理 加算	75	76	76	76	76	76	74	75	76	77	70	75	902

# 健診センター

## 1.概要

近年、少子高齢化が進み生産年齢層が減少しています。そのため高齢者や女性の働く機会が増え、健康寿命が重要になり生活習慣病の予防、疾病予防、介護予防、フレイル予防、認知症予防をしていく必要があります。当センターの健診内容としては人間ドック、脳ドック、心臓ドック、乳房MRIドック、生活習慣病健診、特定健診、基本健診、雇用時健診、個人健診があります。

癌検診として胃内視鏡、胃透視（胃癌）、便潜血、大腸内視鏡（大腸癌）、マンモグラフィ、乳房超音波、乳癌リスク検査（乳癌）、子宮頸部細胞診、経膈超音波（子宮癌）、腹部超音波、膵癌リスク検査（膵癌）等の検査を行っています。また、フレイルや認知症予防、アンチエイジングの観点からABI、頸動脈エコー（血管年齢）、骨密度（骨年齢）、MRI（VSRAD）や認知症リスク検査（脳年齢）なども行っています。

市町村の検診では胃透視、胃内視鏡、便潜血、マンモグラフィ、子宮頸部細胞診、胸部レントゲン、骨密度、肝炎ウイルス、ピロリ菌検査も行っています。

病気の早期発見、生活習慣病の改善や予防を目標に検診を行い、検診終了後医師により結果を説明し改善点のアドバイスや管理栄養士による保健指導も行っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
センター長	上田 浩史	日本医師会認定産業医

### ◆ 他スタッフ

臨床検査技師（兼任） 1名  
事務員 6名

## 3.診療実績

### 健診項目別受診者数

健診項目	2019年	2020年	2021年
企業健診	1,089	1,186	1,123
生活習慣病予防健診	938	1,006	1,093
企業ドック	114	127	151
個人ドック	84	82	90
個人健診	249	270	341
特定健診	745	706	825
協会子宮がん	143	143	155
協会乳がん	85	115	127
合計	3,447	3,635	3,905

### 市町村検診受診者数

検診項目	2019年	2020年	2021年
肝炎ウイルス	43	90	100
結核	436	388	439
大腸がん	289	301	444
乳がん	700	692	997
子宮がん	425	421	666
ピロリ菌検査	5	6	10
胃がん（胃透視）	175	184	209
肺がん	240	225	271
骨粗鬆症	85	53	68
合計	2,398	2,360	3,204

# 訪問診療

## 1.概要

超高齢社会が進む中で、加齢や病気のために、通院が難しくなっておられる方が年々増加しています。がんの終末期や、ALS、慢性心不全、慢性呼吸不全、腎不全の終末期の方なども積極的に診させていただいています。通院が難しい場合でも、医師による診療を在宅で安心して受けて頂けるために訪問診療があります。訪問診療では、ご自宅に定期的に訪問して体調管理や苦痛症状の緩和に努めています。また、急な発熱や体調変化時は往診での対応もしております。甲南病院からは、現在3名の医師が訪問診療を行っております。

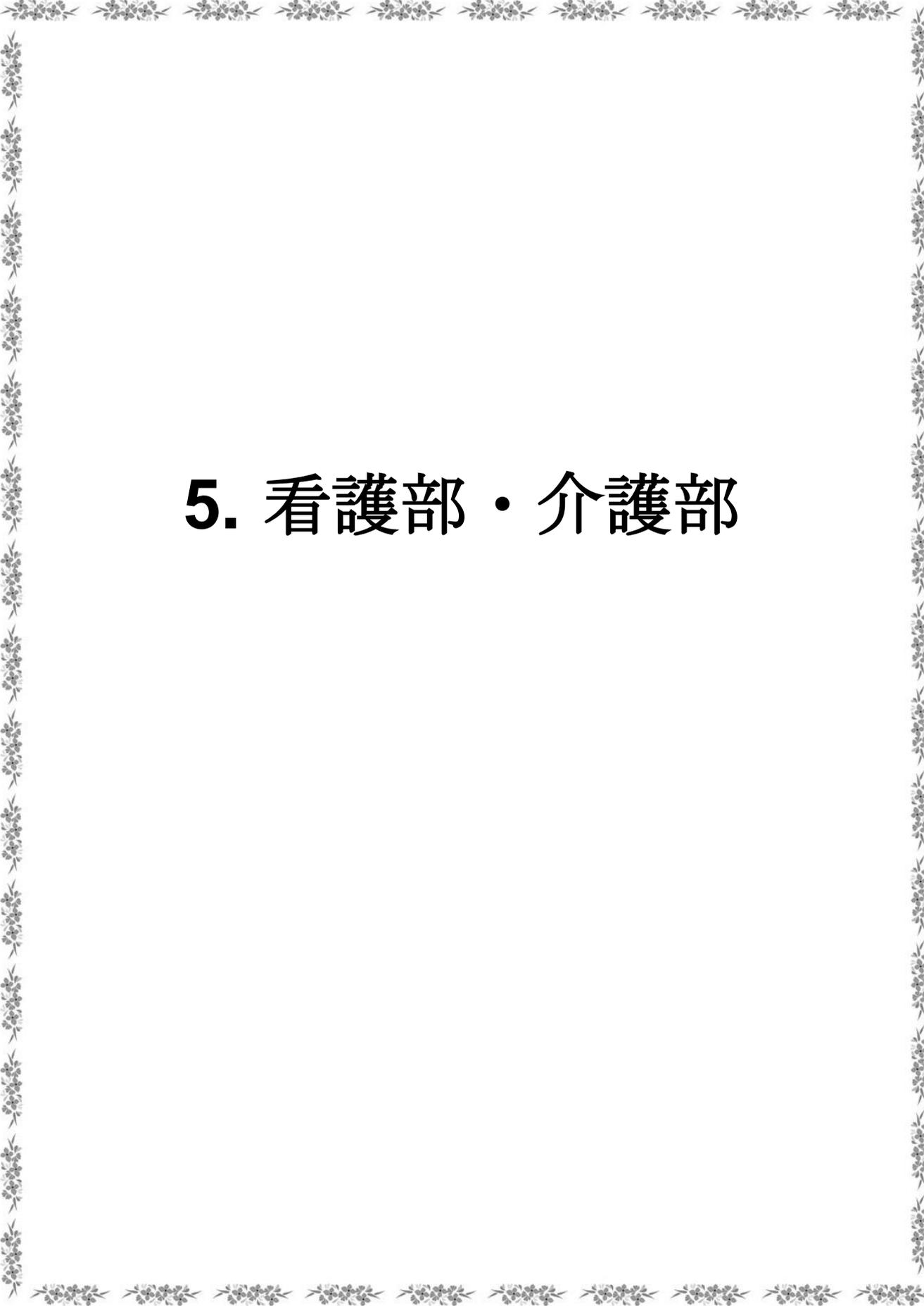
## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
理事長	古倉 みのり	日本医師会認定産業医 認知症サポート医
医員	米村 岳尚	
非常勤医師	後藤 裕文	日本泌尿器科学会専門医・指導医

- ◆ 他スタッフ  
看護師 1名  
事務員 1名

## 3.診療実績

- ◆ 患者数 1,264名
- ◆ 看とり件数 25名

A decorative border with a repeating floral pattern surrounds the page content.

## 5. 看護部・介護部

# 看護部

## 1.概要

2021年度の看護部は、「院内職員とチーム医療、院外施設との連携したチームケアの確立を目指し、地域医療を担う病院看護師として在宅での生活を見越した看護目標を立案する」ことを看護部目標とし活動してきました。

新型コロナウイルス感染症対策を含めた感染防御のしくみを確立しながら、看護師全員で団結し統一した手順を遵守しました。

新型コロナウイルス感染症が病院や地域の医療体制に与えた大きな影響は、患者さん・ご家族の療養環境をも大きく変化させていますが、患者さんの安心安全な看護を念頭におき、患者さんの不安を受け止めることに尽力しました。まだまだ続く不安定な情勢ではありますが、常に変化する情報を早期にキャッチして、看護の質にこだわり、寄り添う看護を目指しています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	役職	名前
看護部長	廣瀬 京子	主任	橘田 千幸
師長	澤 友美	主任	成美 由季子
師長	山中 曜子	主任	沢井 美由紀
師長	杉浦 和美	主任	川合 祥代
師長	佐藤 春加	主任	西岡 照美
師長	勝谷 真由美	主任	杉本 緑
師長	甲川 志津子	副主任	長野 亜美
副師長	久保 美穂子	副主任	久保 奈麻美
副師長	荒川 江美	副主任	辻 千尋
		副主任	鵜飼 洋平

### ◆資格

認定看護管理者 1名

感染管理認定看護師 1名

## 3.活動実績

### 【病院機能評価機構の4回目の再審】

機能評価受審をチャンスにし、外部機関に機能評価して頂いたことで、質改善活動を強化しました。患者中心の医療を推進し継続しています。

### 【新型コロナウイルス対策会議への積極的な関わり】

新型コロナウイルス対策本部のメンバーに看護師4人が参画し、敏感に感染制御について活動しました。患者の声や思いを大切にし、病棟内での実践可能な対策の視点で意見交換や協議に参加しました。変化に伴った手順の見直しや多職種への指導にも努めてきました。

### 【看護部公式ラインによる広報活動】

公式ラインを開設し1年以上が経過しました。院内行事・各部署紹介等を発信し、広報活動を行うことで、地域への情報提供を行いました。開かれた医療機関を目指しています。病院LINEとして更新しサポートしていきます。

### 【中高生への看護師体験開催】

県内の中高生72名を招集し看護師のやりがいアピールしました。看護体験を通して、将来看護師を目指す学生を増やしていきたいと思っています。

### 【オンライン面会の継続】

入院患者さんを感染症から守る対策での面会規制ですが、看護師は入院患者さんの療養環境整備としてご家族と繋ぐ役割を担っています。画面を通して、患者さんがご家族の顔を見ながら会話できるようサポートを行い、患者さんの心身の安定や意思決定支援に尽力しています。

### 【職員によるガーデニングチームの立ち上げ】

敷地内の花壇を利用し、職員によるガーデニングチーム発足の発案を行いました。有志が集まり、四季折々の花に彩ることが出来ました。院内の活動へバトンタッチし、患者さんの療養環境整備に発展できることを見守っております。

### 【関係機関へのWeb訪問推進】

コロナ禍による院外活動の縮小を受け、リクルート活動の一環として大学や看護師養成所にはWeb訪問とWeb見学会を積極的に開催しました。人材確保として先を見越した活動を継続しています。

### 【コロナワクチン接種での地域貢献】

地域住民へのコロナワクチン接種や企業への職域接種に参加し、地域のクラスター発生防止に努めました。

### 【講演活動】

第三地区看護ネットワーク推進会議での講演や看護師養成所2校への講演を行い地域活動に参加しました。

### 【看護部委員会活動】

看護記録委員会	月1回
看護教育委員会	月2回
看護手順委員会	月1回
薬剤管理	月1回（主任）
物品管理	月1回（副主任）

### 【実習生受入状況】

期間	学校名	人数
11月24日～12月8日	滋賀県堅田看護専門学校	2名

#### 4.学術・研修活動

##### 1) 研修活動

##### ◆ 院外研修

開催日	研修会	開催地	参加者
4月29日	卒業生・教員との交流会	甲賀看護専門学校	2名
5月17日	ポジティブマネジメント ～主体性を高めチームを活性化する～	滋賀県看護協会研修センター	2名
6月4日	感染症発症時の看護管理者の役割	滋賀県看護協会研修センター	3名
6月8日 14日～15日	プリセプター研修	滋賀県看護協会研修センター	6名
6月22日～24日	新人看護職員交流会	滋賀県看護協会研修センター	6名
6月25日	看護研究に取り組もう ～看護研究のプロセスを理解しよう～	滋賀県看護協会研修センター	3名
6月28日	卒業生・教員との交流会	堅田看護専門学校	3名
7月3日	医療安全とせん妄ケア ～予防的介入がインシデントを減らす～	Web開催	1名
7月3日	第3地区支部集会 研究発表会	公立甲賀病院	3名
7月6日、15日 8月5日 11月8日	入退院支援看護師育成研修会	滋賀県看護協会研修センター 訪問看護ステーション	1名
7月8日～9日	新人看護職員交流会	滋賀県看護協会研修センター	5名
7月13日～14日	災害支援ナースの第一歩 ～災害看護の基礎的知識～	滋賀県看護協会研修センター	2名
7月16日	看護職として成長するために ～社会人基礎力を学ぼう～	滋賀県看護協会研修センター	2名
7月29日	キャリアマネジメントのための基礎知識 ～スタッフのキャリア開発支援について考える～	滋賀県看護協会研修センター	1名
7月21日	コミュニケーションスキルを獲得しよう ～相手の思いを引き出し、大切な自分の思いを伝えるために～	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月1日～31日	重症度、医療・看護必要度 評価者および 院内指導者研修	Web開催	3名
8月10日	がん患者の看護 ～治療と社会生活への支援～	滋賀県看護協会研修センター	2名
8月13日	地域における自施設の機能を知り、自部署 の課題を発見しよう	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月17日	看護過程をもう一度学ぼう	滋賀県看護協会研修センター	1名
8月24日	看護倫理 ～意思決定支援における倫理的問題を解決するために～	Web開催	1名
9月10日	看護職員感染対策研修会	Web開催	5名
9月28日	安全なケアを提供するために ～ルールを守って患者の安全を守る実践者になろう～	Web開催	1名
10月4日～28日 (5日間)	新人看護職員研修教育担当者研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
10月9日	看護実践が見える看護記録 ～看護記録の質向上を目指す～	Web開催	2名

10月11日	みんなで考えよう災害 その時、あなたは指揮できますか	Web 開催	1名
10月14日～27日 (5日間)	新人看護職員研修責任者研修	Web 開催	1名
10月20日	地域包括ケア時代の継続看護 ～在宅療養を見据えた退院指導～	Web 開催	1名
10月26日	中心的立場で活躍するリーダーシップ	Web 開催	2名
10月28日	第3地区支部研修会 「心不全の理解」 「包括的心臓リハビリについて」	公立甲賀病院	10名
10月30日	今さら聞けない感染対策	Web 開催	1名
11月10日～11日	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	滋賀県看護協会研修センター	3名
11月26日	医療安全管理者研修	Web 開催	1名
11月30日	医療安全対策研修会	Web 開催	1名
11月22日	リハビリ看護学会	Web 開催	60名
11月30日	看護補助者活用促進のための看護管理者研修	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月3日	災害時の看護を考える	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月8日	医療安全に関するシンポジウム	Web 開催	1名
12月9日	滋賀県看護研究発表会 新型コロナウイルス感染症から学ぶ ～保険・医療・介護の連携を考える～	滋賀県看護協会研修センター	3名
12月10日	医療事故に関わった看護師に対してのサポート	滋賀県看護協会研修センター	1名
12月15日	糖尿病とともに生きる患者の生活の質 ～患者の意向を尊重した看護～	滋賀県看護協会研修センター	2名
12月7日 ～2月3日	実習指導者講習会	滋賀県看護協会研修センター	1名
2月4日	1人の力をチームのために ～チームメンバーとしての役割を發揮するために～	Web 開催	1名
2月7日	口腔機能を学ぼう ～安全に食べられる口づくり～	Web 開催	1名
2月10日	安全なケアを提供するために ～ルールを守って患者の安全を守る実践者になろう～	Web 開催	1名
2月14日	教えることは学ぶこと ～共に成長する看護職を育成する～	Web 開催	1名
2月21日	摂食機能の改善を目指して ～誤嚥を予防し安全に食べられるケアを学ぶ～	Web 開催	1名

# 介護部

## 1.概要

2021年度の介護部は「固定概念に捉われず、安心、安全な環境の中で質の高いケアを行い新型コロナウイルス感染予防に努める」を目標に活動をしました。新型コロナウイルスと向き合いながら今自分達に出来る事を考え、感染予防対策を徹底し患者さんが安心・安全に過ごして頂けるように取り組みました。昨年に続き、感染防止の観点から介護部主催の行事やボランティア活動を中止させて頂いていますが、各病棟で短時間で小さなイベントを企画しました。外出泊のできない患者さんに四季を感じて頂ける療養環境の整備に尽力しました。

患者さんに一番身近な職種として、安心、信頼、満足して頂けるように日々努めております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
係長	中森 辰徳	介護福祉士
主任	中村 幸代	介護福祉士
主任	渡邊 沙代	介護福祉士
主任	土山 健	
副主任	茶谷 五月	介護福祉士

## 3.活動実績

- 介護職初任者研修実習受入状況

期間	学校名	人数
11月18日～19日、22日、24日	ユウコム草津校	2名

- 介護体験開催

開催日	開催名	参加人数
11月6日	介護の日 介護体験	5名

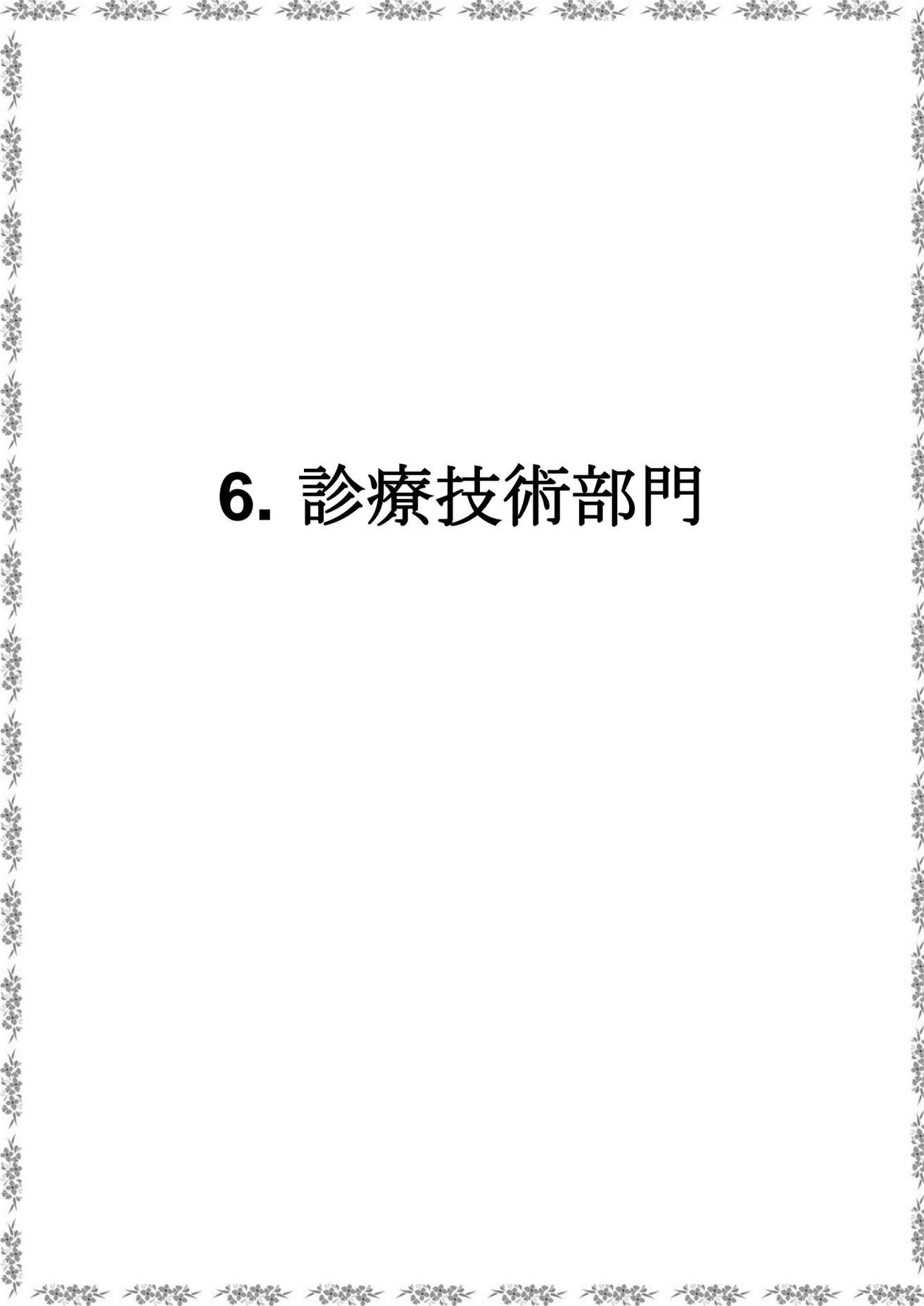
#### 4.学術・研修活動

##### ・研修活動（院内）

開催日	研修目標	研修内容	参加人数
4月11日	組織について学ぶ（新入職者のみ）	病院内での介護部の組織・役割について	12名
6月14日～16日 18日	医療安全について学ぶ	多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止	54名
9月2日～3日 7日～8日	感染対策について学ぶ	感染経路別予防策 院内全体で取り組む感染対策の基礎	54名
11月16日	接遇について学ぶ	ケア時(オムツ交換)の私語など 接遇体験 車いす体験	39名
9月24日～25日 27日	身体拘束について学ぶ	柵ベルト、車いす安全ベルト、 抑制帯の使用方法について	45名
7月9日、11日 16日、21日	業務の理解について学ぶ	チームの一員としての看護補助者 業務の理解（業務範囲と役割、夜勤業務、ほう、れん、そう）	52名
2月12日～13日 15日、18日	守秘義務についての学習	身につけておきたい医療現場の個人情報保護と情報リテラシー	39名

##### ・研修活動（院外）

開催日	研修内容	参加人数
11月18日	認知症対応力向上研修	2名

A decorative border consisting of repeating floral motifs in a light gray color, framing the central text.

## 6. 診療技術部門

# 薬剤部

## 1.概要

---

薬剤部は「地域の皆様が安心・信頼・満足を得られる医薬品情報を提供する」という理念を基に、薬のリスクマネージャーとして医薬品の適正使用に努め、安全で高度な医療を提供することで患者さんが安心して服薬できる環境作りを目指しています。

### ◆ 薬剤管理指導業務・病棟薬剤業務

「病棟薬剤業務実施加算」の算定をしており、入院患者さんへ安全に薬を届けるため、また看護師に対する負担軽減の一環として配薬カートへの配薬を行い、安全で明瞭な医薬品管理をしています。またポリファーマシー対策の一環として「薬剤総合評価調整加算」の算定もしており、多職種での病棟カンファレンスや病棟担当薬剤師での集中的なカンファレンス等で減薬が可能な患者さんについて話し合い、患者さんの服用薬剤を減らすことで、残薬調整や過剰服用防止による薬剤費・医療費の削減、多剤服用による有害事象の発現を抑制することに繋がっています。

入院患者さんへの積極的な関わりを進めるために各病棟に病棟担当薬剤師を配置しており、特に急性期病棟 1 病棟では薬剤師の病棟常駐を行っています。より身近な場所で患者さんと接することが出来、状態把握や服薬指導に力を入れることが出来ています。そのこともあり初回指導率は月平均 **98.8%** となっています。また医師の処方オーダーの代行依頼や、看護師の配薬業務サポートなど、業務のタスクシフト・タスクシェアをすることが出来ています。

病棟担当薬剤師と医薬品情報担当薬剤師とのカンファレンスを定期的に行い、また多職種ミーティングにも参加して情報を共有・発信することで、患者さんやご家族のご希望に出来る限り沿った薬剤管理を提案・実施することが出来ました。

### ◆ チーム医療への参加

ICTに参加し、抗菌薬の種類ごとの使用量の状況を検証して適正使用を推進し、TDM解析による抗菌薬の適正投与量の設計、院内ラウンド等も行っています。またNSTや褥瘡対策チームにも参加しており、TPN・PPN、経腸栄養などについて薬学的アドバイスをを行いました。

### ◆ 新型コロナ感染症への関わり

新型コロナワクチンの接種が開始となり、薬剤部でワクチンの保管管理及び調製を行いました。調製の手技を統一し、ワクチンを適正な量で、かつ衛生的に患者さんに接種していただくことを心がけて取り組みました。

### ◆ 学術活動

甲賀市及び湖南市を中心とした地域における漢方医薬の知識向上のために「甲賀湖南漢方医学研修会」を開催しています。各医療機関の医師や薬剤師などの医療従事者が集まり連携することで、地域医療の発展に寄与出来るものと考えています。

## 2. スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	渡邊 優輔	日病薬生涯研修認定薬剤師
主任	大原 久詞	日病薬病院薬学認定薬剤師

### ◆ 他スタッフ

薬剤師 7名

事務職員 6名

## 3. 診療実績

### ◆ 外来処方箋枚数

	2019年度	2020年度	2021年度
外来処方箋枚数	39,933	38,155	44,276
院外処方箋枚数	36,737	35,199	40,842
院内処方箋枚数	3,196	2,956	3,434
院外処方箋発行率 (%)	91.9	92.2	92.2
外来注射箋枚数	6,880	7,563	7,585

### ◆ 入院処方箋枚数

	2019年度	2020年度	2021年度
入院処方箋枚数	18,311	18,338	18,224
入院注射箋枚数	34,372	35,216	48,324

### ◆ 指導件数

	2019年度	2020年度	2021年度
外来指導件数	2,681	2,728	2,871
入院指導件数	4,068	4,412	3,699
薬剤管理指導料算定件数	1,867	1,869	1,388
退院時薬剤管理指導料算定件数	715	467	302

※2020年度中に地域包括ケア病床 30床の増床あり。

#### 4.学術・研修活動

##### 1) 院外研修、勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
通年	病薬病院薬学認定薬剤師研修 e-ラーニング受講	Web 開催	3名
6月22日	医療安全セミナー in 滋賀	Web 開催	1名
7月9日	第二回パーキンソン病診療を考える会	Web 開催	1名
7月20日	Miyarisan 腸内微生物叢研究の最前線	Web 開催	1名
8月26日	滋賀県薬業連携研修会	Web 開催	1名
9月8日	滋賀県病院薬剤師会湖北東・湖南西合同研修会	Web 開催	1名
9月11日	甲賀湖南漢方医学研修会（運営）	Web 開催	1名
9月14日	滋賀県病院薬剤師会湖北東・湖南西合同研修会	Web 開催	1名
9月21日	世界敗血症デー Asahi KASEI オンラインライブセミナー	Web 開催	1名
10月12日	甲賀湖南骨粗鬆症病診連携セミナー ～地域を照らす「骨折ゼロ」を目指して～	滋賀県	1名
10月22日	TAIHO Web Lecture for Pharmacists	Web 開催	1名
11月4日	滋賀県薬業連携研修会	Web 開催	1名
11月11日	滋賀県病院薬剤師会湖北東・湖南西合同研修会	Web 開催	1名
11月30日	令和3年度滋賀県病院協会医療安全対策研修会	Web 開催	1名
12月15日	骨粗鬆症 Web セミナー OLS の取り組みを考える	Web 開催	1名
12月23日	医療安全セミナー in 甲賀	滋賀県	3名
1月30日	“新型コロナウイルス感染症” ～最新の知見と「オミクロン株」について～	Web 開催	1名
2月1日	KOWA Web Conference 「極論で語る糖尿病診療」	Web 開催	1名
2月3日	2025年に向けた薬剤師業務研修会 in 京都	Web 開催	1名
2月16日	滋賀県薬業連携研修会	Web 開催	1名
2月22日	テルモ オピオイド Web セミナー	Web 開催	1名
3月5日	甲賀湖南漢方医学研修会（運営）	Web 開催	1名
3月31日	格致日新～Forxiga Kyoto Online Symposium～	Web 開催	1名

##### 2) 公開セミナー、その他

開催日	会名	開催地	発表者
6月14日	糖尿病教室「糖尿病治療薬～注射薬編～」	甲南病院	渡邊
8月23日	糖尿病教室「糖尿病の新しい内服薬について」	甲南病院	松尾
11月15日	糖尿病教室「薬と副作用」	甲南病院	福本
2月14日	糖尿病教室「災害と糖尿病について～災害に備えよう！ 自分の薬について把握しておこう♪～」	甲南病院	大原

# 臨床検査部

## 1.概要

2021年度、検体検査では4月にALP、LDHのグローバル試薬への切替えを行いました。9月に免疫検査装置を更新しました。これに伴いBNPの院内測定は廃止、NT-proBNP測定に替わりしました。12月より検体検査の基準値を共用基準範囲に変更しました。

また、今年度は大型試薬保冷庫の購入により、試薬を1か月毎に発注できるようになったため、試薬コストを大幅に抑えることができました。

日々の内部精度管理の継続により、常時精度の高い検査を提供できるよう努めました。外部精度管理では今年度も日本臨床衛生検査技師会精度管理調査、滋賀県臨床検査精度管理調査に参加し高評価を頂きました。

生理検査では、前年度末の超音波装置更新により膵嚢胞性腫瘍の検出が前年度の2倍に増え、膵癌の早期発見に貢献しました。

今年度は、外部研修や学会のWeb開催に多数参加し、知識や技術の向上に努めました。また、昨年コロナ禍でストップしていた部内勉強会も再開し、部内での知識の共有を図ることができました。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	中井 典子	超音波検査士（消化器） 日本糖尿病療養指導士
主任（健診センター課長兼任）	重田 美千代	抗酸菌エキスパート
主任	大原 麻美	
主任	森地 由美	

### ◆ 他スタッフ

臨床検査技師 常勤 8名  
非常勤 1名

### ◆ 他資格

医療情報技師  
認定心電検査技師  
診療情報管理士

## 3.診療実績

### 【生理検査】

	2019年度	2020年度	2021年度	
超音波検査	3,574件	3,628件	3,728件	(婦人科・泌尿器科を除く)
ABI検査	640件	657件	679件	
肺機能検査	767件	533件	502件	
心電図検査	5,803件	5,719件	5,858件	
神経伝導検査	173件	222件	159件	
脳波検査	14件	12件	19件	
眼底検査	620件	572件	636件	
眼圧検査	364件	380件	410件	

### 【検体検査】

	2019年度	2020年度	2021年度
生化学検査	491,267件	487,011件	495,743件
輸血検査	1,694件	1,500件	1,487件
血液検査	46,048件	45,726件	49,036件
尿検査	13,071件	12,540件	14,362件
免疫検査	20,051件	19,263件	22,172件
POCT	2,524件	1,089件	1,045件
凝固検査	9,202件	9,391件	10,585件

#### 4.学術・研修活動

##### 1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月16日	尿沈渣研究会 尿沈渣鏡検の基礎	Web 開催	4名
5月8日～ 6月13日	日超検第46回日本超音波検査学会	Web 開催	2名
5月14日	日臨技臨床一般検査部門研修会 尿定性検査	Web 開催	1名
5月15日～ 6月14日	日臨技第70回日本医学検査学会	Web 開催	2名
6月3日	日本超音波医学会 必須講習会 2021年度版	Web 開催	1名
6月5日	京滋心血管エコー図研究会プログラム	Web 開催	1名
6月12日	甲賀湖南糖尿病研究会	滋賀県	1名
6月24日	滋臨技臨床生理部門研修会 肺機能	Web 開催	1名
7月3日	滋臨技臨床免疫化学・検体総合部門研修会	Web 開催	1名
7月31日	滋臨技臨床免疫化学部門研修会 生化学分析法基礎	Web 開催	1名
8月21日	滋臨技新人研修 運営講師	Web 開催	1名
8月28日	滋臨技臨床生理部門研修会 レントゲンとCTの見方	Web 開催	1名
9月12日～ 9月13日	第22回日本検査血液学会	Web 開催	1名
9月16日	キャノン Echocardiography clinical seminar	Web 開催	3名
9月18日	滋臨技臨床血液部門研修会 症例で学ぶ貧血の見方	Web 開催	1名
9月25日	滋臨技臨床一般部門研修会 スライドカンファレンス	Web 開催	1名
10月3日	日臨技近畿支部 輸血・細胞治療部門研修会	Web 開催	1名
10月7日	第4回 BRIDGE Forum in 甲南 (脳神経外科)	Web 開催	2名
10月8日～ 10月9日	第28回日本輸血・細胞治療学会 秋季シンポジウム	Web 開催	1名
10月9日	滋賀県病院協会・感染制御ネットワーク COVID-19	Web 開催	2名
10月12日	甲賀湖南医師会 甲賀湖南骨粗鬆病診連携セミナー	滋賀県	1名
10月15日	尿沈渣研究会 基礎的症例	Web 開催	1名
10月29日	滋臨技臨床生理部門研修会 心電図症例検討	Web 開催	5名
11月4日	富士フィルム 生理検査室の業務改善と快適な超音波検査環境の実現を目指して	Web 開催	1名
11月6日	滋臨技臨床免疫化学部門研修会 脂質について	Web 開催	1名
11月12日	ロッシュ 血糖測定におけるリスクマネジメント	Web 開催	1名
11月17日	キャノン Dr.市原の白熱教室肝腫瘍性病変 (レア)	Web 開催	1名
11月20日	第12回近畿 BM セミナー	Web 開催	2名
11月21日	滋臨技 検査と健康展	滋賀県	1名
11月26日	京滋心血管エコー図研究会 京滋福 Web セミナー	Web 開催	4名
11月27日～ 12月10日	日臨技 第60回 近畿支部医学検査学会	Web 開催	1名
11月25日～ 12月26日	超音波検査フォーラム たかが脂肪肝、されど脂肪肝	Web 開催	1名
12月5日	滋臨技 令和3年度精度管理血液部会報告会	Web 開催	1名
12月10日	日臨技 e ラーニング 超音波検査の実際 腹部編	Web 開催	1名
12月11日	日臨技 令和3年度近畿支部臨床化学研究会	Web 開催	2名
12月12日	滋臨技 輸血細胞治療部門研究会	Web 開催	1名
12月13日	滋賀県病院協会 院内感染防止対策研修会	Web 開催	2名
12月15日	アステラス製薬 骨粗鬆症 Web セミナー	Web 開催	1名
12月15日	シスメックス 敗血症セミナー From osaka	Web 開催	1名
12月17日	京滋心血管エコー図研究会 京滋福 Web セミナー	Web 開催	3名

12月19日	キャノン 画論 29th The Best Image	Web 開催	2名
12月21日	糖尿病チーム医療 Web 後援会	Web 開催	1名
12月23日	エーザイ 医療安全セミナー in 甲賀	Web 開催	1名
12月23日～ 1月6日	滋臨技 令和3年度一般検査部会精度管理報告会	Web 開催	1名
1月10日	タスクシフトシェアに関する厚労大臣指定講習会	Web 開催	1名
1月13日	腎不全を防ぐために知っておきたいCKD診療のエッセンス	Web 開催	4名
1月13日	シスメックス カスタマートレーニングライブ講習会	Web 開催	1名
1月15日	滋臨技 臨床免疫化学検査部門研修会	Web 開催	1名
1月15日～ 3月12日	医療情報学会、医療情報技師育成部会研修会	Web 開催	1名
1月20日	シスメックス カスタマートレーニングライブ講習会	Web 開催	1名
1月21日	厚労省 令和3年度院内感染対策講習会	Web 開催	1名
1月22日	滋臨技 学術部研修会「腎疾患について」	Web 開催	1名
1月23日	滋臨技令和3年度化学・免疫検査部会精度管理報告会	Web 開催	1名
1月24日	タスクシフトシェアに関する厚労大臣指定講習会	Web 開催	1名
1月26日	滋臨技令和3年度輸血検査部会精度管理報告会	Web 開催	1名
1月28日	京滋心血管エコー図研究会 京滋福 Web セミナー	Web 開催	4名
1月30日	日臨技 近畿支部 血液研修会	Web 開催	1名
2月5日	日本赤十字社 血液シンポジウム(近畿ブロック)	Web 開催	1名
2月10日	シスメックス カスタマートレーニングライブ講習会	Web 開催	1名
2月11日	富士フィルム 関西乳腺エコーユーザー会	Web 開催	1名
2月12日	滋臨技 血液部門・遺伝子染色体部門合同研修会	Web 開催	1名
2月15日	シスメックス HISCL カスタマートレーニング講習会	Web 開催	1名
2月17日	滋臨技 臨床生理研修会	Web 開催	5名
2月22日	タスクシフトシェアに関する厚労大臣指定講習会	Web 開催	1名
2月24日	シスメックス カスタマートレーニングライブ講習会	Web 開催	2名
2月25日	京滋心血管エコー図研究会 京滋福 Web セミナー	Web 開催	3名
2月26日～ 3月12日	滋臨技 令和3年度滋賀県臨床検査精度管理報告会	Web 開催	1名
2月27日	滋臨技 第44回滋賀県医学検査学会	Web 開催	2名
3月2日	滋臨技 輸血細胞治療部門研修会	Web 開催	1名
3月12日	滋賀県輸血療法委員会 輸血製剤適正使用研修会	Web 開催	1名
3月12日	滋臨技 初心者向け心エコー	滋賀県	1名
3月13日	検査血液学会 第20回冬季セミナー	Web 開催	1名
3月15日	シスメックス カスタマートレーニングライブ講習会	Web 開催	1名
3月17日	キャノン 血管エコーの活用法	Web 開催	1名
3月20日	超音波検査法フォーラム 腹部超音波検診マニュアルとカテゴリー分類について	Web 開催	1名
3月21日	富士フィルムヘルスケア 日常診療に取り入れたいワンポイントエコーと精査テクニック	Web 開催	2名
3月25日	キャノン 関西 Aplio CLUB	Web 開催	2名
3月30日	アークレイ 尿検査から診る腎臓病治療のSDGs	Web 開催	1名
3月31日	京都循環器検査研究会 大人になった先天性心疾患の心エコー	Web 開催	2名

## 2) 糖尿病教室

開催日時	内容	開催地	発表者
7月12日	糖尿病と検査	甲南病院	加地
2月8日	糖尿病合併症の検査について	甲南病院	加地

## 3) 部内勉強会

開催月	内容	講師
5月	転移性肝癌	中村
6月	尿沈渣	三雲
7月	心電図の基礎	中島
8月	心電図検査手技	加地
9月	神経伝導検査について	河合
10月	今さら聞けない血液検査 血小板が変? 症例と一緒に見てみよう	森地
11月	レントゲンとCTの見方	青木
12月	抗菌薬の適正使用	中井
1月	骨粗鬆症について	重田
2月	症例検討 自己免疫性膵炎	大原
3月	電解質 (Na、K、Cl)	北野

## 4) 心エコー症例検討 (講師: 循環器医師)

開催日時	内容
4月16日	心尖部血栓疑い
6月18日	弁石灰化、弁に付着する構造物、房室ブロックなど
7月16日	肺高血圧・梗塞
7月29日	心嚢液
7月30日	TAVI など
8月6日	左室流出路狭窄
8月13日	大動脈弁逸脱
8月20日	左室壁運動異常
9月10日	心尖部瘤
11月5日	大動脈弁逆流、心筋症、ペースメーカー
11月26日	Post mitral crip、血栓疑い、冠状静脈洞
1月28日	心室中隔肥大疑い、左室壁運動異常、たこつぼ型心筋症

# 放射線部

## 1.概要

2021年度の放射線部は、前年度減少していた検査数が増加し、全てのモダリティで過去最高の件数を記録しました。多忙な日々が続きましたが、病院の重点目標になっていた「肺がん早期発見」を達成するために、当部ではCT・MRIの画質改善、被ばく線量低減、撮影時間短縮に取り組み、目標達成に向けて少しでも貢献出来たのではないかと思います。一般撮影に関しては今年度末にCRシステムからコニカミノルタ社製のDRシステムに更新を行いました。低線量で高画質な画像の提供が可能となると共に、患者さんの待ち時間も短縮させることが出来ました。

また、学術・研修活動においては院外研修に積極的に参加することを目標に掲げました。Web研修を積極的に活用することで、今まで参加出来なかった研修にも参加し、昨年度の実績を大幅に上回り、知識の習得に努めることが出来ました。

今後も導入した機器の性能を最大限に引き出せるように努力し、より高画質、低被ばく線量、撮影時間短縮に取り組み、地域医療に貢献していきたいと思っております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	大原 久弥	磁気共鳴専門技術者 医療情報技師 シニア放射線技師 放射線管理士 放射線機器管理士 医療画像情報精度管理士
係長	小崎 一雄	X線CT認定技師 肺がんCT検診認定技師 シニア放射線技師
主任	中嶋 高明	胃がん検診専門技師 胃がんX線検診 技術部門B資格 胃がんX線検診 読影部門B資格 シニア放射線技師

- ◆ 他スタッフ  
診療放射線技師 4名  
事務職員 1名

- ◆ 他資格  
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 2名  
日放技 基礎技術 X線CT検査  
日放技 基礎技術 MRI検査  
日放技 基礎技術 一般撮影

## 3.診療実績

検査項目	2019年度	2020年度	2021年度
一般撮影	13,678件	13,254件	13,930件
CT	5,408件	5,174件	5,446件
MRI	3,240件	3,088件	3,305件
透視検査	840件	825件	987件
マンモグラフィ	1,169件	1,134件	1,463件
骨密度検査	845件	1,028件	1,056件

#### 4.学術・研修活動

##### 1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月21日	GE Web クラスルーム	Web 開催	1名
4月22日	GE Web クラスルーム	Web 開催	1名
5月8日	2021年度第一回研修会	Web 開催	1名
5月13日	Cyber DECT 10th Meeting	Web 開催	1名
5月30日	滋賀県放射線技師会総会・学術大会	Web 開催	2名
6月18日	滋放技消化器画像研究会	Web 開催	1名
6月19日	第15回 Tokyo ER Meeting	Web 開催	1名
8月20日	バイエル薬品 Web カンファレンス	Web 開催	1名
8月21日	北勢消化器画像研究会	Web 開催	1名
8月27日	滋賀 MRI 研究会	Web 開催	1名
9月2日	Cyber DECT 11th Meeting	Web 開催	1名
9月10日～12日	第49回磁気共鳴医学会	Web 開催	1名
9月17日	滋放技放射線治療研究会	Web 開催	1名
9月30日	大腸 CT ネットフォーラム	Web 開催	1名
10月7日	第8回 GSI ワークショップ	Web 開催	1名
10月7日	BRIDGE Forum in 甲南	Web 開催	3名
10月8日	滋放技MR研究会	Web 開催	2名
10月12日	甲賀湖南骨粗鬆症病診セミナー	Web 開催	1名
10月16日	北勢消化器画像研究会	Web 開催	1名
11月11日	滋放技学術研修会	Web 開催	1名
11月18日	滋放技甲賀支部研修会	Web 開催	6名
11月19日	滋放技消化器画像研究会	Web 開催	1名
11月20日	京滋 Gyro	Web 開催	1名
12月11日	日本消化器がん検診学会精管構西日本合同研修会	Web 開催	1名
12月12日	X線 CT 認定技師更新 e-learning	Web 開催	1名
12月16日	骨粗鬆症 Web セミナー	Web 開催	1名
12月18日	放射線管理士更新 e-learning	Web 開催	1名
12月19日	放射線機器管理士更新 e-learning	Web 開催	1名
12月19日	医用画像情報管理士更新 e-learning	Web 開催	1名
12月23日	医療安全セミナー in 甲賀	Web 開催	1名
1月13日	滋放技CT研究会	Web 開催	1名
1月13日	Forxiga Onliny Symposium	Web 開催	1名
1月19日	滋放技学術研修会	Web 開催	1名
1月28日	滋放技 MR 研究会	Web 開催	1名
2月19日	消化器（胃）がん検診従事者講習会	Web 開催	1名
2月19日	北勢消化器画像研究会	Web 開催	1名
2月23日	Cyber DECT 12th Meeting	Web 開催	1名
2月24日	滋放技CT研究会	Web 開催	1名
2月26日	日本消化器がん検診学会近畿支部 放射線研修会	Web 開催	1名
3月11日	滋賀 MRI 研究会	Web 開催	1名
3月16日	甲賀 HD カンファレンス	Web 開催	1名
3月17日	Philips MR Virtual Summit	Web 開催	1名

# リハビリテーション部

## 1.概要

当院リハビリテーション部は、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、脳血管リハビリテーション料（Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料の基準を有しております。一般病棟、地域包括ケア病床、療養病棟入院患者さんをはじめ、外来リハビリテーション、外来心臓リハビリテーションも実施しており、急性期から維持期まで多岐に渡りリハビリテーションを実施しております。

当院リハビリテーション部では、安心、安全に自宅に退院していただけるよう関係者を含む多職種でのカンファレンスや退院前自宅訪問を積極的に実施しております。また退院後の生活に課題がある方や機能維持が必要な患者さんに対しては訪問リハビリテーションに引き継ぎ退院後の生活における不安を解決できるように尽力しております。リハビリテーションの質の向上のために定期的な勉強会や症例検討会を実施し、より患者さんに満足していただけるリハビリテーションを提供できるように努めております。

また、昨年度からの病棟ごとでのチーム制の導入を継続しています。今後は地域で活躍できるリハビリテーションスタッフの育成を目的として、一定の期間ごとに各チームのメンバー構成を変更し、各スタッフが様々なフィールドでの経験を経て幅広い知識を得られるような管理運営に努めてまいります。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	玉木 義規	作業療法士 畿央大学大学院 健康科学研究科 修士課程修了
主任	杉田 裕市	理学療法士 心臓リハビリテーション指導士
主任	滝島 勇太	理学療法士 認定理学療法士(呼吸) 呼吸療法認定士 滋賀県糖尿病療養指導士

### ◆ 他スタッフ

理学療法士 17名（6名は訪問リハビリテーション事業所と兼任）  
 作業療法士 7名（1名は訪問リハビリテーション事業所と兼任）  
 言語聴覚士 2名  
 事務職員 2名

### ◆ 他資格

がんのリハビリテーション研修会 修了者 8名  
 臨床実習指導者講習 修了者 8名  
 呼吸療法認定士 1名  
 滋賀県糖尿病療養指導士 2名  
 福祉住環境コーディネーター2級 3名

## 3.診療実績

リハビリテーション実施人数（合計実人数）

入院	2019年度	2020年度	2021年度
運動器	473人	506人	447人
脳血管	133人	141人	172人
廃用症候群	163人	181人	218人
心大血管	52人	41人	55人
がん	37人	30人	24人
計	858人	899人	916人

外来	2019年度	2020年度	2021年度
運動器	435人	361人	383人
脳血管	27人	18人	19人
廃用症候群	2人	4人	4人
心大血管	20人	12人	18人
計	484人	395人	424人

#### 4.実習生受入状況

期間	学校名	人数
4月5日～5月14日	京都橘大学 理学療法学科	1名
4月5日～5月28日	佛教大学 作業療法学科	1名
5月17日～7月9日	京都医健専門学校 理学療法学科	1名
5月17日～7月10日	京都医健専門学校 作業療法学科	1名
6月7日～7月31日	藍野大学 理学療法学科	1名
10月6日～10月30日	藍野大学 理学療法学科	1名
11月8日～12月4日	藍野大学 理学療法学科	1名
1月17日～2月11日	京都橘大学 理学療法学科	1名
1月31日～2月25日	京都医健専門学校 理学療法学科	1名
2月7日～2月26日	京都橘大学 作業療法学科	1名
3月7日～3月11日	京都医健専門学校 作業療法学科	1名
3月7日～3月11日	びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法学科	1名

#### 4.学術・研修活動

##### 1) 学術発表

開催日	研修会	開催地	発表者
10月24日	第21回認知神経リハビリテーション学会学術集会 題名) 職業歴を活かした運動イメージを活用して得られた効果について～重度の筋出力低下を呈した頰椎症性筋萎縮症症例の一考察～	Web 開催	足達

##### 2) 研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月29日～30日	第55回 日本理学療法学会学術研修大会2020inおおいた	Web 開催	1名
6月27日	第36回 滋賀県理学療法学会学術集会	Web 開催	1名
9月12日	令和3年度 教育研修事業 高次脳障害コース STEP1	Web 開催	1名
9月26日	令和3年度 教育研修事業 高次脳障害コース STEP3	Web 開催	1名
9月26日	第7回 日本呼吸理学療法学会学術集会	Web 開催	1名
9月30日	心不全診療連携講習会	Web 開催	1名
10月8日	第5回 福井心不全治療研究会	Web 開催	1名
10月12日	福岡心・血管リハビリ研究会	Web 開催	1名
10月16日	CDE 滋賀研修	Web 開催	1名
10月24日	第21回認知神経リハビリテーション学会学術集会	Web 開催	2名
10月27日	南加賀心臓リハビリテーションセミナー	Web 開催	1名
11月2日	甲賀圏域高次脳機能障害 連絡調整会議研修会	甲賀保健所 Web 開催	1名
11月14日	訪問リハビリテーション実務者研修会	Web 開催	1名
11月18日	認知症対応力向上研修	滋賀県看護 研修センター	3名
11月28日	令和3年度 滋賀内部障害研究会 第1回定例研修会	滋賀医科大学	1名

12月15日	POS 甲賀ブロック人材育成研修会	Web 開催	4名
12月19日	令和3年年度 滋賀県神経心理学療法研修会 第4回定例研修会	Web 開催	1名
12月25日	認定理学療法士試験	米原市役所 市民交流 センター	1名
1月14日	滋賀県 POS 連絡協議会 東近江・甲賀ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	1名
1月16日	第61回 近畿理学療法学会	Web 開催	1名
1月26日	農作業活用実践の"いま"と"これから"セミナー①	Web 開催	1名
2月4日	農作業活用実践の"いま"と"これから"セミナー②	Web 開催	2名
2月9日	地域マネジメント力向上研修会	Web 開催	9名
2月12日	第16回新潟心臓リハビリテーション研究会	Web 開催	1名
2月20日	令和3年度 滋賀教育管理系理学療法研究会研修会	Web 開催	1名
2月25日	心不全療養指導士カンファレンス	Web 開催	1名
2月25日	肥満症治療セミナー	Web 開催	2名
3月1日	3学会合同呼吸療法士 更新研修	Web 開催	1名
3月16日	甲賀 HD カンファレンス	Web 開催	2名

# 臨床工学部

## 1.概要

2021年度の臨床工学部は、新入職員1名を迎えスタートしました。10月にも1名増員となり、10名体制で各業務を遂行しております。カテ室業務と手術室業務については新たに各1名の養成を開始し、対応できるスタッフの増員を図っております。また、手術室業務では、1名が清潔野での器械出し業務を開始しております。透析センターでは5台のコンソールをonlineHDF対応機種に更新し、適応患者さんへの使用を開始しております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長（医療機器安全管理責任者）	伊澤 正志	呼吸療法認定士
主任	速水 左知恵	ACLSプロバイダー

- ◆ 他スタッフ  
臨床工学技士 8名

## 3.診療実績

血液透析（総数）	12,121件	カテーテル検査・治療	160件
血液透析（外来）	9,998件	ペースメーカー植込み・交換	9件
血液透析（入院）	2,123件	ペースメーカー検査	51件
自己血回収装置	7件	終夜睡眠ポリグラフィ検査	23件
In-Body測定	368件	管理台数	522台

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
4月18日	ポール・ウェビナー「ポール呼吸システムフィルター」	Web開催	2名
5月7日	令和の透析医療を考える Web講演会	Web開催	2名
5月15日	透析合併症対策 Webセミナー ～透析施設におけるCOVID-19対策を考える～	Web開催	2名
5月29日	心臓カテーテル検査講習会	Web開催	1名
6月15日	ECMOスモールセミナー in 関西	Web開催	4名
7月5日	射水・高岡病院連携の会 Webセミナー	Web開催	1名
7月13日	高齢透析患者を対象としたHDF療法を考える	Web開催	1名
7月21日	CARTセミナー CARTを考える!	Web開催	1名
8月26日	第3回血液浄化Webセミナー ～Basic～（3日間）	Web開催	1名
9月19日	シャントエコーセミナー VALUE west 2nd	Web開催	2名
10月7日	ウパシタ静注透析用シリンジWeb製品説明会	Web開催	8名
10月29日	急性血液浄化療法Webセミナー	Web開催	1名
11月4日	Should we join the anemia treatment?	Web開催	1名
11月6日	東海院内感染対策フォーラムWeb版（第2回）	Web開催	1名
11月11日	敗血症Webセミナー「敗血症の診断と治療の進歩 2021」	Web開催	1名
11月26日	第4回 地域医療支援講演会 「COVID-19の感染対策」	Web開催	1名
12月23日	医療安全セミナーin甲賀	Web開催	1名
1月13日	Forxiga Online Symposium 「腎不全を防ぐために知っておきたいCKD診療のエッセンス」	Web開催	1名
1月21日	Vascular Access Online Seminar	Web開催	1名
1月28日	テルモECMOセミナー	Web開催	1名
2月25日	透析領域における2022年度診療報酬改定のポイント	Web開催	2名
3月10日	S型PMMA膜ダイアライザーとHDFフィルターへの展開	Web開催	7名

# 栄養管理部

## 1.概要

栄養管理部では、栄養療法を用いて、地域の皆様の栄養状態の改善および、疾病の予防と治癒促進を図れるように日々努力しています。入院・外来栄養指導を積極的に行うことで研修で習得した知識を活用しました。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	巽 紀之	管理栄養士

- ◆ 他スタッフ  
管理栄養士 2名  
委託側（日清医療食品㈱）管理栄養士 2名、栄養士 1名、調理師 4名、調理補助 7名
- ◆ 他資格  
日本糖尿病療養指導士  
滋賀県糖尿病療養指導士  
特定保健指導担当者研修修了  
調理師免許

## 3.診療実績

### 1) 指導件数

指導件数		2019年度	2020年度	2021年度
栄養指導件数		1,532件	1,561件	1634件
内訳	外来栄養指導	1,013件	1,067件	1296件
	入院栄養指導	519件	494件	338件
	糖尿病透析予防	31件	15件	5件
	訪問栄養指導	12件	13件	7件

### 2) 1日延べ食数および特別食の割合

内容	2019年度	2020年度	2021年度
提供食数	157,935食	157,188食	132,308件
食事療養 I-1（経口）	137,672食	138,116食	113,174件
特別食数	94,611食	92,079食	79,346件
加算	91,130食	85,562食	84,261件
非加算	3,481食	6,517食	4,915件
食事療養 I-2（流動食）	20,263食	19,072食	19,134件
特別食比率	66.2%	62.0%	70.1%

## 4.実習生受入状況

期間	学校名	人数
11月 8日 ～ 11月 12日	滋賀県立大学人間文化学部管理栄養士課程	2名
11月 15日 ～ 11月 19日		
12月 16日 ～ 12月 10日		

## 5.学術・研修活動

### 1) 研修会発表・講師

開催日時	研修会	開催地	講師
3月 25日	第2回 京滋エリア テルモ栄養 Web セミナー 『当院の栄養食品の使い分けについて』	Web 開催	巽

## 2) 糖尿病教室

	開催日	テーマ	講師
前期	第1回 5月10日	糖尿病の食事療法とは	巽
	第3回 7月12日	脱水・熱中症予防について	増田
	第4回 8月23日	お菓子・ジュースについて	古川
	第5回 9月13日	食欲の秋！食べ過ぎには注意 →中止	巽
後期	第1回 11月15日	外食の選び方	古川
	第2回 12月20日	年末年始の食事について	古川
	第3回 1月17日	体調が悪い時の食事(シックデイ)	巽
	第5回 3月14日	糖尿病の食事療法のまとめ →中止	増田

## 3) 研修活動

開催日時	研修会	開催地	参加人数
5月20日	第64回日本糖尿病学会年次学術集会	Web開催	1名
7月21日	第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会	Web開催	1名
7月29日 8月18日 9月14日	特定健診・特定保健指導実践者研修	滋賀県 Web開催	2名
6月1日	第1回NST専門療法士受験必須セミナー	Web開催	1名
9月18日	第13回日本臨床栄養代謝学会近畿支部学術集会	Web開催	1名
10月30日	第57・58回日本糖尿病学会近畿地方会	Web開催	1名
11月18日 11月25日 12月2日 12月9日 12月16日	NST専門療法士研修	滋賀県	1名
1月29日	第24・25回日本病態栄養学会年次	Web開催	1名
3月26日 3月27日	第39回日本肥満治療学会学術集会	Web開催	1名

# 臨床心理士室

## 1.概要

臨床心理士とは、患者さんが自分らしく生活できるよう心理的援助・予防を行う専門家です。臨床心理士資格のほか、2018年度に国家資格として誕生した公認心理師資格を2名とも取得しています。今年度は1名が年度途中より長期休暇から復帰し、2名での業務体制に戻りました。

当院では主に心理検査・カウンセリング・認知症検査を行っています。カウンセリングでは心理士による丁寧な問診や包括的なアセスメントを心掛け、必要に応じて他機関・他職種との連携を行いました。また、新型コロナウイルスの影響により地域への啓発活動が困難な状況ではありましたが、広報誌きらめき内に『心理士便り』として継続的に情報発信を行いました。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
主任	谷村 梨紗	公認心理師 臨床心理士

### ◆ 他スタッフ

公認心理師・臨床心理士 1名

## 3.診療実績

検査項目	2019年度	2020年度	2021年度
外来カウンセリング	346件	384件	505件
病棟カウンセリング	682件	301件	268件
心理検査	85件	50件	92件
認知症検査	348件	287件	273件

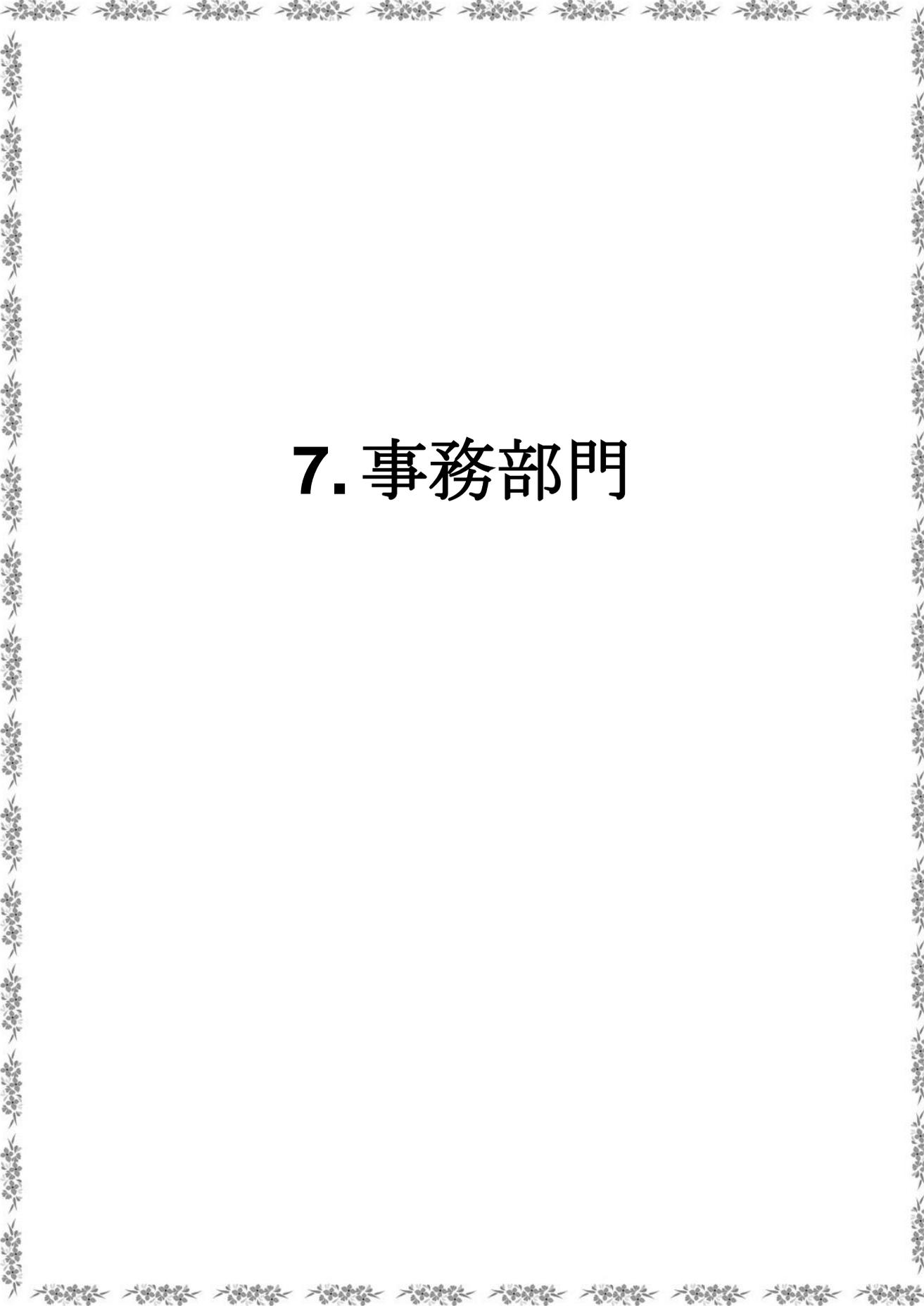
## 4.研修活動

### 1) 学会・研修会発表・講師

開催日時	研修会	開催地
6月27日	第21回抗加齢医学会総会 『オンライン面会が入院患者やその家族に与える心理的効果 についての検討』	京都市
6月29日	保育園研修『ADHDを知ろう』	甲南病院
9月9日	糖尿病合併症予防のための医療連携 『糖尿病と生きる：「生活を共に見つめる」ことを目指して』	滋賀県
10月19日	保育園研修『子どもの力を探してみよう』	甲南病院

## 2) 院外研修

開催日時	研修会	開催地	参加人数
6月13日	三重県臨床心理士会 公開研修会 『人はなぜ依存症になるのか』	Web 開催	1名
9月30日	第45回日本神経心理学会学術集会	Web 開催	1名
10月7日	第4回 BRIDGE Forums in 甲南	Web 開催	1名
10月16日	第12回近畿肥満外科治療研究会 大学病院と市中病院：それぞれにおける減量・代謝改善手術』、開設後3年が経過した、当院の肥満外科の現状と肥満手術』、肥満2型糖尿病治療と向き合う』	Web 開催	2名
10月～2月	厚生労働省委託事業 不妊症・不育症ピアサポーター養成研修 医療従事者プログラム	Web 開催	1名
11月7日	第3回臨床神経心理士講習会	Web 開催	1名
12月12日	2021年度花園大学心理カウンセリングセンター公開講演会 『こころの問題の最新治験』	Web 開催	1名
12月18日	滋賀県立保健福祉センター主催 『令和3年第2回思春期事例検討会』	Web 開催	1名
1月16日	第13回松木那裕セミナー 『精神分析は憎しみ (Hate) をどう考え、向き合うのか?』	Web 開催	1名
1月23日	滋賀県臨床心理士会 令和3年度第2回1日研修会	Web 開催	1名
2月20日	2021年度京都文教大学大学院事例検討会	Web 開催	1名

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the central text.

## 7. 事務部門

# 事務部

## 1.概要

事務部は、①病院経営および経営改善のための調査・分析②経営会議の運営③事務系部署の管理・効率化の推進を軸に病院経営の立案、遂行を行なっています。

診療データの収集、管理を行い経営会議にて報告するとともに日本医療機能評価機構の病院機能評価を通じ病院の質向上に貢献しています。また、保健所の立入検査・厚生局の適時調査等の対応、診療報酬の算定ルールが厳守出来ているかの確認を常時行い、健全な病院運営を管理しています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
事務長	岡崎 哲也	診療放射線技師 初級システムアドミニストレータ
事務次長	高阪 裕貴	

## 3.活動実績

- ◆ 行動計画の管理、進捗確認
- ◆ 経営会議のとりまとめ
- ◆ 補助金申請
- ◆ 施設基準の管理
- ◆ 意見箱（職員用）及び心の声ポスト（患者さん用）の運用
- ◆ 事務系部署の管理、教育
- ◆ 機能評価のとりまとめ 12月 機能評価機構 4回目受審

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
9月 3日	日本医療事務会 経営改善ポイントセミナー	Web 開催	1名
10月 7日	第4回 BRIDGE Forums in 甲南	Web 開催	1名
10月 12日	甲賀湖南骨粗鬆症病診連携セミナー	Web 開催	1名
12月 23日	医療安全セミナー IN 甲南	Web 開催	1名
1月 13日	腎不全を防ぐために 知っておきたいCKD診療のエッセンス	Web 開催	1名
2月 11日	全日本病院会 DPC セミナー	Web 開催	1名
2月 22日	日本病院会 診療報酬改定への中小出来高病院の対応研修	Web 開催	1名
3月 10日	日本病院会 診療報酬改定説明会	Web 開催	2名
3月 22日	医事研究会（診療報酬改定説明会）	Web 開催	2名

# 総務人事課

## 1.概要

総務人事課は、職員の入職から退職に関わる各種手続きをはじめとした総務業務、経理業務、求人活動から採用、人事考課などの人事業務を主に3つの業務内容からなる部署です。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	上山 真美子	

### ◆ 他スタッフ

常勤 3名

### ◆ 他資格

SOC (シニアコンプライアンスオフィサー)

正会員証券外務員・内部管理責任者資格

生命保険販売員資格 (専門・変額・一般)

損害保険販売員資格 (傷害・火災)

金融商品取引資格 1級

## 3.主要な活動実績

期間	活動名	参加・対象人数
4月 1日 ～ 4月 2日	新入職員オリエンテーション研修	20名
8月 2日	永年勤続表彰式	15名
7月 19日 ～ 7月 21日	人権研修 (DVD 研修)「知りたいあなたのこと」 ～外見ではわからない障がい・病気を抱える人について～	341名
11月 8日～12日	滋賀県立甲南高等学校職業体験	3名

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
6月 8日	採用選考研修会	滋賀県	1名
7月 5日	コロナ禍でも増収する病院事例	Web 開催	1名
7月 6日	健康保険に関わる申請書の書き方	Web 開催	1名
7月 13日	収益改善のポイント	Web 開催	1名
9月 14日	医療機関における働き方改革の最新動向	Web 開催	1名
9月 8日	人権研修	Web 開催	1名
10月 5日	人事制度構築セミナー	Web 開催	1名
11月 17日	医師の働き方改革	Web 開催	2名
1月 20日	税制改正のポイント	Web 開催	2名
1月 25日	育児・介護の両立支援実践セミナー	Web 開催	1名

# 医事課

## 1.概要

医事課の主な仕事は、窓口で患者さんの負担割合に応じて負担金を徴収することです。また、診療内容に基づいて診療報酬明細書（レセプト）を作成し、社会保険診療報酬支払基金や国民健康保険団体連合会へ請求しています。

医事課は病院の中でも患者さんに接する機会が多い部署の一つです。患者さんに気持ち良く受診していただけるよう常に意識し、業務に励んでおります。業務の一環として患者さんが安心して入院していただけるよう高額医療費や福祉医療、指定難病の申請方法なども併せて説明しています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	安西 健	診療報酬請求事務能力認定試験 救急救命士 ホスピタルコンシェルジュ 3級
係長	中村 尚子	
主任	大角 恭子	診療報酬請求事務能力認定試験

- ◆ 他スタッフ  
常勤 12名 ・ 非常勤 5名
- ◆ 他資格  
診療報酬請求事務能力認定試験 2名

## 3.活動実績

1. コンサルタント会社による減点・返戻削減のための勉強会を月に1回開催
2. 各部署と協議・連携しながら以下の施設基準を届出して算定を開始
  - 2021年 4月 後発医薬品使用体制加算 2
  - 2021年 6月 外来化学療法加算 2
  - 2021年 7月 診療録管理体制加算 1
  - 2021年 10月 DPC 準備病院

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
10月27日	令和3年度第1回医事研修会 「今の時代の接遇マナーとコミュニケーション ～現場力を高める～」	Web 開催	4名
11月18日	令和3年度 滋賀県病院医療従事者認知症対応力向上研修	滋賀県	1名
1月14日	令和3年度第2回医事研修会 「レセプト請求の実務～指導・監査等で指摘される、 保険診療のルール～」	Web 開催	1名
3月10日	日本病院会 診療報酬改定説明会	Web 開催	3名
3月14日	全日本病院協会 診療報酬改定説明会	Web 開催	3名
3月22日	令和3年度第3回医事研修会 「2022年診療報酬改定について」	Web 開催	3名
3月27日	滋賀県保険医協会 診療報酬改定説明会	滋賀県	1名

# 秘書課

## 1.概要

秘書課は、勤務医の負担軽減をめざし、医療の質の向上や患者サービスの改善に繋げられるように日々業務を行っています。配属後1年間は外来または入院業務に慣れ、翌年から医師事務作業補助の研修に参加します。

患者さんが当院で安心して受診していただけるよう、接遇・コミュニケーション力・医療現場に求められる医学的知識と医事関連の事務的知識を習得し、医師や各部署間での連携・調整をする役割を担っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長	村中 香織	診療情報管理士 医療事務技能審査2級（医科）
係長	池田 裕子	医科医療事務管理士
主任	福井 陽子	

### ◆ 他スタッフ

常勤 12名

### ◆ 他資格

メディカル秘書士 1名

情報処理士 1名

医科医療事務管理士 2名

秘書技能検定2級 4名

医療事務技能審査試験 1名

医療秘書実務能力検定試験1級 2名

医療請求事務能力検定試験1級 2名

調剤薬局事務検定試験 2名

## 3.活動実績

2012年7月より医師事務作業補助者として病棟クラーク1名、外来クラーク1名の配置で代行入力、文書作成補助業務がスタートしました。現在は10名体制で業務を行っています。

主な業務は、①外来診療支援及び病棟カルテ代行入力 ②主治医意見書・診断書・診療情報提供書（紹介元への返事）などの医療文書の代行作成 ③一部医師のスケジュール管理 ④医師の退院サマリー作成補助 ⑤NCD症例登録 などです。

今後は、教育体制や配置の見直し、業務の標準化、スタッフ全体での情報共有の場を設け、専門性や質を高めていくことが課題です。

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
7月20日 ～7月21日	医師事務作業補助者研修	Web開催	2名
1月18日	近畿病歴管理セミナー 「間違いだらけの死亡診断書」	Web開催	1名
2月11日	全日本病院協会DPCセミナー 「DPC分析事業MEDI-TARGET活用事例報告会」	Web開催	1名
2月26日	心臓カテーテル用語研修	甲南病院	9名

# 健診センター（事務）

## 1.概要

当健診センターは癌の早期発見と生活習慣病の予防、改善を目標にしています。病院併設という強みを生かし、オプションで最新鋭の機器を使用した検査を受けることができます。婦人科系検診を他の健診と同時に受診することができるため、多くの女性にご利用いただきました。

また病院の増改築に伴い健診センターの部屋を移動し、Wi-Fi環境も整備し、装いを新たに広い空間で健診を受けていただく環境を整えました。

予約をいただく際は、個々の希望をお伺いしながら様々なプランをご提案しております。健診当日はスムーズにご案内できるよう最善を尽くし、快適にお過ごしいただけるよう努めております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
課長 (臨床検査部主任兼任)	重田 美千代	臨床検査技師 抗酸菌エキスパート
課長（事務）	川岸 智恵子	医療事務技能審査2級（医科）
係長（事務）	小崎 麗菜	診療報酬請求事務能力認定試験 2級医療秘書実務能力認定試験 医師事務作業補助者実務能力認定試験 電子カルテオペレーション実務能力認定試験 医療事務 OA 実務能力認定試験
主任（事務）	中尾 つぐみ	2級メディカルクラーク

- ◆ 他スタッフ  
事務員 3名

## 3.活動実績

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りつつ、人間ドック、各種健診を実施しました。各種市町村検診では今年度、胃カメラの胃がん検診や基本健診も受託し、また健診項目により年齢制限を解除し、幅広く様々な健診(検診)を受診できる体制を強化しました。

近隣企業からのご要望に応じ、新たな健康保険組合の健診をお請けしました。また、様々な個人健診のご要望にもお応えできるように努めました。

## 4.学術・研修活動

開催日	内容	講師
3月 8日	2021年度 健診事業推進セミナー	Web 研修

# 診療情報管理室

## 1.概要

診療情報管理室は、診療録へ正確かつ適切に記載されているかを検証・評価し、医療の質と安全性の向上に繋げるため、診療録の基本的な保管・管理、質的監査、量的点検を行っています。また、DPC導入の影響評価にかかる調査（様式1の作成）、退院時サマリーに関するコーディング業務、全国がん登録業務、入院に関する同意書などのスキャン、各種統計の作成を行っています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
係長	林田 薫	診療情報管理士 がん登録初級認定者 DPC コース認定 医科医療事務管理士

- ◆ 他スタッフ  
常勤 1名
- ◆ 他資格  
診療情報管理士  
初級医療事務技能者  
医科医療事務検定 3級  
DPC コース認定

## 3.活動実績

- ・ DPC 導入の影響評価に関わる調査（様式1作成） 2,566 件
- ・ 退院時病歴登録 1,859 名
- ・ 全国がん登録 101 件

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
8月26日	近畿病歴管理セミナー 「個人情報・プライバシー保護と SNS リテラシー」	Web 開催	2名
12月4日	近畿病歴管理セミナー 「がん登録勉強会」	Web 開催	2名
1月13日	腎不全を防ぐために知っておきたい CKD 診療エッセンス」	Web 開催	1名
1月18日	近畿病歴管理セミナー 「間違いだらけの死亡診断書～あなたの知らないノウハウとアレコレ～」	Web 開催	2名
2月11日	全日本病院協会 DPC セミナー 「DPC 分析事業 MEDI-TARGET 活用事例報告会」	Web 開催	1名

# 管理情報課

## 1.概要

管理情報課は施設管理、送迎等の運行管理、医療材料の管理、電子カルテを中心とした情報管理を主業務として組織されております。医療材料の部門では2016年度よりSPDを導入して、2017年度より外部委託にて仕入れ・払出しの管理を行っております。専門知識を有する委託業者による運営により医療材料から備品、消耗品、文具に至るまでをカバーして日常の診療や手術、検査をはじめ診療体制の維持に寄与できるように切れ目のない管理体制で業務を進めました。また、その他の業務として設備面での管理業務を担い療養環境の維持に努めております。情報管理部門は電子カルテの導入を機に組織されました。以後、電子カルテの利便性を向上させるために各部署からの意見を細かなところまで聞き取り、メーカーとの調整を図り改善を進めてまいりました。また、日常業務ではPC関連の不具合への対応などを行い、診療への支障が出ないように管理体制を構築しております。2017年度には電子カルテの更新を実施し、より良いシステムの運用に向け調整を行いました。切り替え時においてもトラブルなく移行することができました。

## 2.スタッフ構成

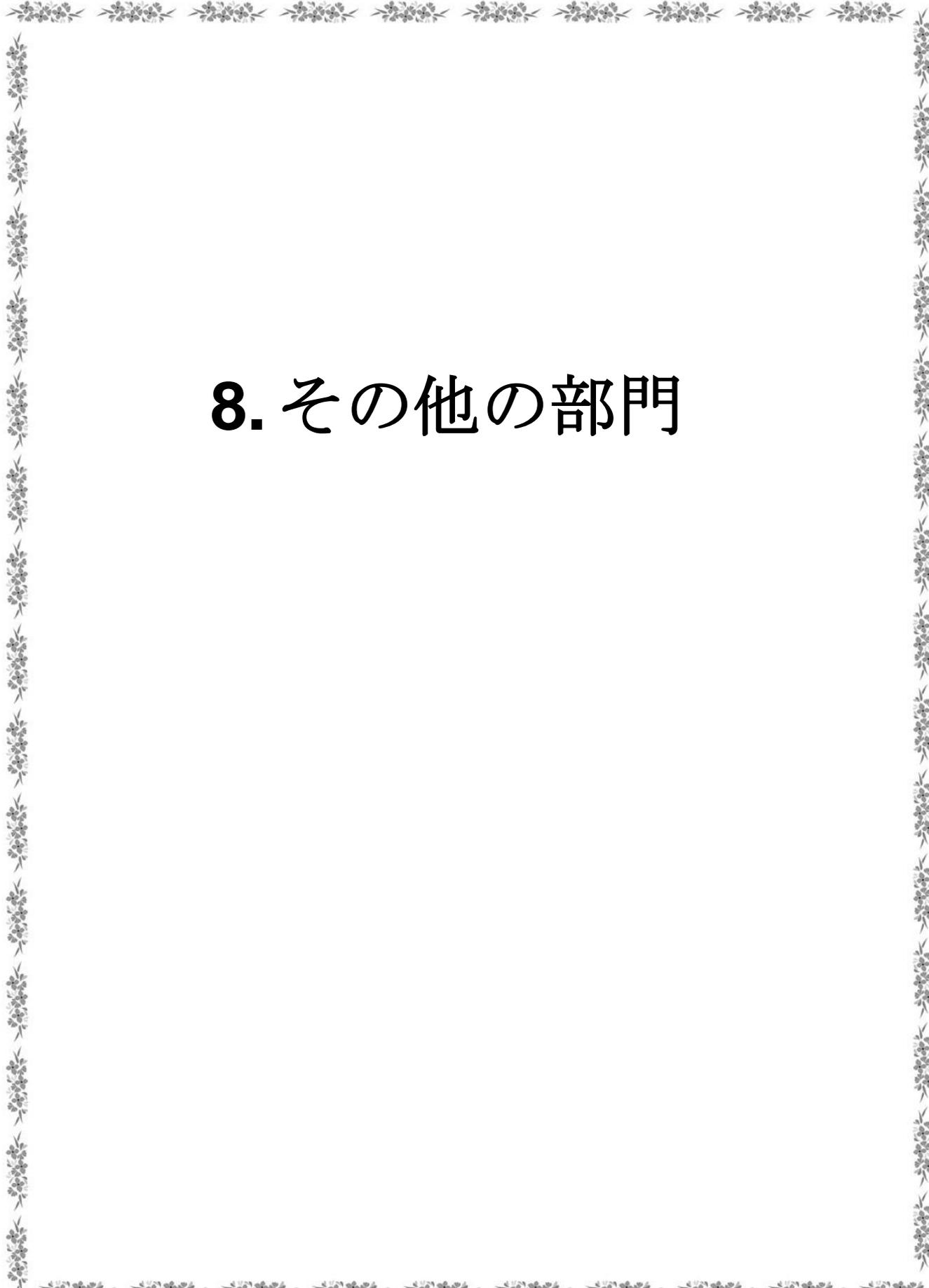
役職	名前	資格
係長	隠岐 正治	
主任	川口 光典	

### ◆ 他スタッフ

- 施設管理担当 2名
- 車両運転業務 5名（透析患者さん送迎4名・訪問診療ドライバー1名）
- SPD業務委託会社 1社
- 施設管理委託会社 1社

## 3.活動実績

- 施設管理：設備管理、備品管理、清掃業務を委託業者と連携し担当。
- 車両運行：透析患者さんの送迎（週6日）、救急車搬送（26件）、一般患者さんの送迎。  
放射線部結果フィルム配達（各医院・クリニックへ）。
- 情報管理担当：電子カルテの更新後の体制構築。  
医療情報システム委員会と協同し、電子カルテ運用対応、改善対応、保守対応。  
電子媒体全般のセキュリティ管理および保守管理業務。
- 医療材料担当：医療材料・機器・備品・消耗品等の計画立案、選定、購入。配備後の管理。  
日常の運営管理は委託業者にて担当。

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs in a light gray color, framing the central text.

## 8. その他の部門

# 医療安全管理部

## 1.概要

医療安全管理部では、患者さんやご家族、職員の安全を確保し、職員一人一人が安全な環境で医療を提供できるよう、組織横断的に院内の安全管理に取り組んでいます。多角的な視野で病院全体に関わる医療安全対策を検討し再発防止に向けて活動しています。医療の安全と質の向上を目指し、職員の教育ならびに安全で良質な医療システムの確立を目指しています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
室長	藪下 初代	看護師 医療安全管理者

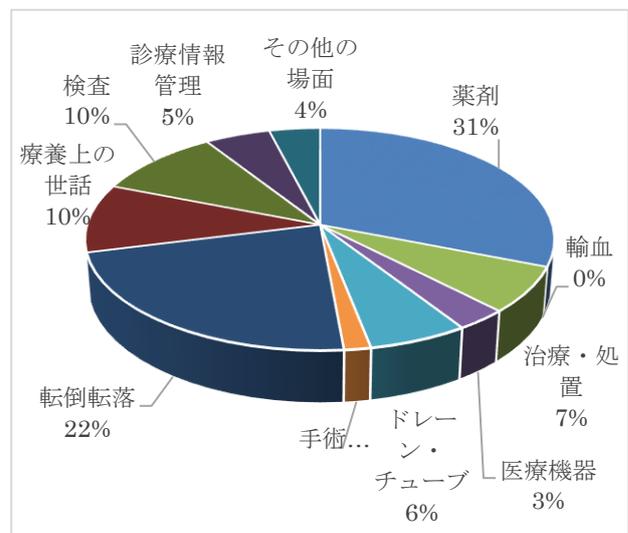
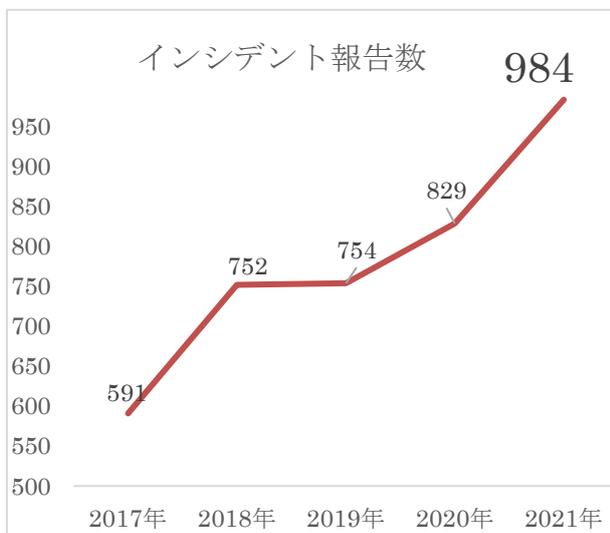
- ◆ 他スタッフ（兼）
  - 米村 岳尚（医師）
  - 安西 健（医事課 課長）
  - 大原 久詞（薬剤部 主任）

## 3.活動実績

### 【インシデント報告数】

2019年度 2020年度 2021年度  
755件 829件 984件

- ・医療安全管理者委員会（15回/年（臨時3回含む））
- ・医療安全委員会（12回/年）
- ・転倒転落ワーキング（11回/年、書面会議含む）
- ・薬剤ワーキング（12回/年、書面会議含む）
- ・医療機器ワーキング（3回/年）
- ・院内ラウンド（8回/年）
- ・医療安全ニュースの発行（12回/年）
- ・インシデント報告の集計、分析
- ・医療安全カンファレンス（1回/週）  
予期せぬ死亡の確認、RCA分析、ワクチン接種スケジュールの再構築
- ・衛生委員会（12回/年）
- ・患者サポートカンファレンス（1回/週、書面会議）
- ・インシデント報告書より、情報収集、分析、再発防止策の検討、評価、職員への発信
- ・医療安全対策相互チェック（3回/年）



#### 4.学術・研修活動

##### 1) 院外研修・勉強会

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月29日	医療事故情報センター総会記念シンポジウム 「これからの医療事故調査制度を考えるー制度施行後5年を経てー」	Web開催	1名
7月3日	医療安全セミナー2021 セコム医療システム 「医療安全とせん妄ケア～予防的介入がインシデントを減らす～」	Web開催	1名
8月31日	テルモ看護マネジメント WEB セミナー 「With コロナ、after コロナになぜ ICT は必要なのか、どのように活用するか」	Web開催	1名
9月6日	ePower/CLIP「ユーザー会」 「医療リスク低減と作業効率向上の考え方」	Web開催	1名
10月9日	感染管理・感染防止対策研修会 WEB研修会 「COVID-19」	Web開催	1名
11月30日	医療安全対策研修会 「医療事故調査制度に係る研修会」	Web開催	1名
12月8日	医療安全に関するシンポジウム オンライン形式 「新型コロナウイルス感染症禍における医療安全」	Web開催	1名
12月10日	医療安全管理研修会・交流会 「医療事故に関わった看護師に対するサポート」	滋賀県	1名
12月23日	医療安全セミナー 「科学的な視点で考える睡眠薬の適正使用」	Web開催	1名
2月8日	医療安全 WEB セミナー 「当院における医療安全への取り組み」 「転倒転落リスクに配慮した論理的睡眠マネジメント」	Web開催	1名
3月15日	医療事故と医療紛争 「事故防止とトラブル対応に繋がる日常からの備え」	Web開催	1名
3月29日	医療安全ウェビナー 「インシデントレポートから患者安全文化の醸成へ」	Web開催	1名

# 地域医療連携部

## 1.概要

地域医療連携部では、前方連携と入退院支援、総合相談の3大業務に加え、在宅医療支援センターこうなんや近隣施設・企業と協働開催している『出前健康講座』の窓口を担っています。地域の皆様の健康増進や疾病予防に繋がる情報を常に発信しています。

前方連携業務では、地域医療機関からの診察や検査予約、入院のスムーズな受け入れに努めています。また、レスパイトや医療療養病棟への入院、通院・入院透析の相談・受け入れ窓口にもなっています。

今年度は昨年同様に新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、面会を制限させていただいており入院患者さん、ご家族には大変な不自由をおかけしております。患者さんの安心安全な療養生活のためにオンライン面会を推奨し、ご家族に療養生活の様子やリハビリの進捗を動画で伝えるなど、細やかな入退院支援に努めました。

また、地域のケアマネジャーや施設に呼びかけカンファレンスのリモート開催も積極的に行いました。今後も入院前・入院早期からの介入を増やし、在宅療養・介護に関することや、医療費、生活費における各種制度、心理的・社会的問題に対して、院内外多職種と連携を図りながら患者さんに寄り添ったサポートを実践して参ります。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
部長	前田 輝子	看護師 主任介護支援専門員
主任	入江 龍介	社会福祉士 精神保健福祉士

### ◆ 他スタッフ

看護師 1名  
社会福祉士 1名  
事務員 2名

### ◆ 他資格

看護師  
保健師  
介護支援専門員  
社会福祉士  
精神保健福祉士  
介護福祉士  
福祉住環境コーディネーター2級  
テクノエイド協会福祉用具プランナー  
滋賀県糖尿病療養指導士  
内視鏡技師

## 3.活動実績

### ◆前方連携

単位：件

	2020年度	2021年度
外来紹介（受診）	895	1,070
入院紹介（一般）	393	339
入院紹介（療養）	122	135
紹介総数	1,410	1,544

## ◆退院調整

単位：件

		2020年度	2021年度
カンファレンス件数合計		1,332	1,581
内訳	初期	874	1,375
	中間	58	57
	退院前	168	149
退院支援相談・面談件数合計		6,668	6,632
入退院支援加算 1		770	1,099

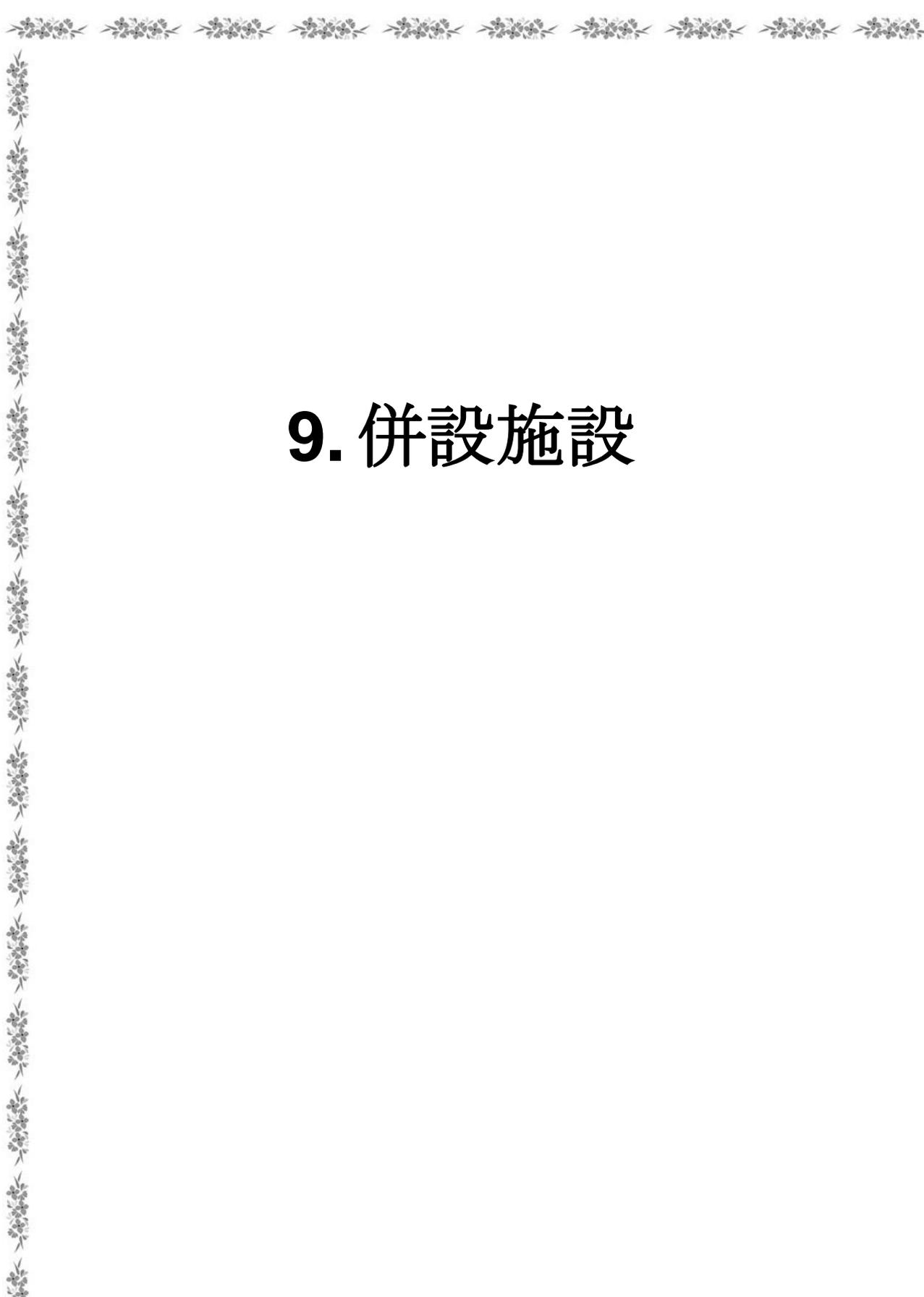
## ◆総合相談

単位：件

	2020年度	2021年度
総合相談件数	686	761

## 4.学術・研修活動

参加日・回数	研修会	開催地	参加人数
5月15日	コロナ禍における精神保健福祉の動向とソーシャルワーカーに期待すること	Web開催	1名
5月29日	切らずに治す癌治療	Web開催	1名
6月12日	第36回甲賀湖南糖尿病研究会	Web開催	1名
6月26日	CDE 滋賀 コロナ禍における糖尿病療養指導の実際	Web開催	1名
7月3日	虐待におけるアセスメントの視点	Web開催	1名
9月3日	第1回知的障害者等支援にかかわる研修会 「知的障害のある人への理解を深める」	Web開催	1名
10月7日	第4回BRIGDE Forum in 甲南	Web開催	1名
10月12日	甲賀湖南骨粗鬆症病診連携セミナー 地域を照らす「骨折ゼロ」を目指して	Web開催	1名
10月16日	第12回近畿肥満外科治療研究会	Web開催	1名
10月16日	CDE 滋賀 糖尿病患者さんを幸せにする食事・運動療法	Web開催	1名
11月5日	第2回知的障害者等支援にかかわる研修会 「障害者雇用制度と知的障害者への就労支援」	Web開催	1名
11月18日	第92回甲賀病院 NST 勉強会	Web開催	1名
11月28日	滋賀の医療福祉を守り育てる県民フォーラム	Web開催	1名
12月12日	令和3年度 本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会	Web開催	1名
12月18日	CDE 滋賀 実臨床にCDEを活かすやりがいと具体的とりくみ	Web開催	1名
12月23日	医療安全セミナーin 甲賀	Web開催	1名
2月3日	第1回 在宅死亡に関する研修会	Web開催	1名
2月10日	こうか在宅医療ネット、在宅医療水口ネット合同研修会	Web開催	1名
2月11日	パンデミックにおける緩和ケアの病院・地域連携・家族関係の変化と見直し	Web開催	1名
2月25日	令和3年度 退院支援機能強化事業全体研修会	Web開催	1名
2月25日	心不全療養指導士カンファレンス in 甲賀・東近江	Web開催	1名
3月3日	第2回 在宅死亡に関する研修会	Web開催	1名
3月12日	CDE 滋賀 Diabetes care step up seminar	Web開催	1名
3月26日	第42回日本肥満学会・第39回日本肥満症治療学会学術集会	Web開催	1名

A decorative border consisting of repeating floral and leaf motifs surrounds the page content.

## 9. 併設施設

# 在宅医療支援センターこうなん

## 1.概要

在宅医療支援センターこうなんは、医療法人社団仁生会の『地域貢献』を目的とした「在宅療養を支援する施設」です。医療や介護の相談窓口として、住民の方々への直接的支援を行うほか、甲南病院や近隣施設、企業と協働し、市民講座や出前健康講座・研修会を開催しています。地域に向けて常に情報を発信しています。訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を併設し、同法人の訪問診療や訪問リハビリテーション事業所も集い、在宅部門として地域に開かれた事業所を目指しています。

2021年度は昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策として感染予防対策の徹底、熱発患者さんのトリアージや訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の利用者、ご家族の不安への対応、体調管理などに力を尽くしました。ご利用者の安心・安全に少しでも貢献できるように、各事業所が質の向上に向けて取り組みました。

出前健康講座は貸出しDVDの作成、あいコムこうかの健康講座(6回)、参加人数限定での研修会のみ実施いたしました。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
センター長	古倉 みのり	医師
副センター長	前田 輝子	看護師 主任介護支援専門員

## 3.活動実績

	2019年度	2020年度	2021年度
医療・介護相談件数	20件	53件	60件
福祉用具・自助具相談	5件	12件	5件
出前健康講座	26回(763人)	2回	2回
事業所向け研修	7回(167人)	0回	0回

## 4.学術・研修活動

### ◆ 出前健康講座実績

開催月	テーマ	講師
12月23日	食事介助の仕方、形態、管理栄養士との連携	増田管理栄養士
2月25日	看とり期の食事介助	岸上言語聴覚士
8月～	あいコムこうか6回シリーズ放映 コロナ禍が心身に及ぼす影響とその対策	松永臨床心理士
	自宅のできる運動	安井作業療法士 子安理学療法士
	自分の望む人生を最期まで自分らしく歩むために	前田看護師
	コロナ禍の栄養について	増田管理栄養士
	フレイル-運動と栄養、口腔	依田理学療法士 岸上言語聴覚士
	コグニサイズ-脳トレ、認知症予防	中井理学療法士 足達作業療法士

# 居宅介護支援事業所

## 1.概要

事業所の理念：地域の皆様の安心・信頼・満足を得られるよう努力します。

利用者の『自分らしい暮らし』の実現のために、ご本人の意向に基づき居宅サービス計画を作成し、適切なサービス提供が確保されるよう支援しています。常にご本人の『生活への不安』やご家族の『介護への揺れる思い』に寄り添い、安心していただける関わりを心掛けています。地域の医療機関や地域包括支援センター等と連携しながら介護支援を提供すると共に、継続的に研修に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めています。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	林 巳恵子	主任介護支援専門員 看護師
副所長	森 由紀雄	主任介護支援専門員 社会福祉士・視能訓練士

- ◆ 他スタッフ  
介護支援専門員 2名  
事務員 1名（兼務）

### 【2021年度を振り返って】

コロナ禍でも関係各所との連携に努め、また研修（Web）に積極的に参加し、利用者さんが安心してサービスを利用できるよう質の向上・利用者満足に努めました。

## 3.活動実績

月別利用者数

2021年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	112	110	110	115	120	119	122	122	126	124	119	124	1423
要介護 1-2	52	55	53	54	60	60	62	62	67	66	59	63	713
要介護 3-5	37	32	32	36	35	33	35	34	36	34	37	37	418
介護予防	23	23	25	25	25	26	25	26	23	24	23	24	292

2020年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	98	98	92	92	97	102	104	107	109	106	104	109	1218
要介護 1-2	52	51	48	49	51	52	52	51	54	56	51	51	618
要介護 3-5	31	30	28	27	29	31	33	32	30	28	32	35	366
介護予防	15	17	16	16	17	19	19	24	25	22	21	23	234

## 4.実習生受入状況

2021年度はなし

## 5.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
5月29日	令和3年度第1回 滋賀県ケアマネ研修総会記念講演会	草津市	1名
6月14日	医療安全研修会 「多職種で取り組む転倒・転落・ヒヤリハット防止」	甲賀市	4名
6月15日	高齢者の栄養管理	Web 開催	2名
6月29日	住宅改修の基礎を学ぶ	草津市	1名
7月2日	令和3年度管理者セミナー 「BCP・事業継続計画」	Web 開催	2名
7月8日	甲賀湖南ブロック介護支援専門員連絡協議会研修	Web 開催	1名
9月2日	感染対策研修会 「感染経路別予防策」	甲賀市	4名
9月24日	滋賀県難病医療従事者研修会	Web 開催	1名
10月21日	甲南地域民生委員・児童委員合同研修	甲賀市	1名
10月28日	災害の備えと災害時に事業所ができること	Web 開催	2名
11月2日	令和3年度 甲賀圏域高次脳機能障害 連絡調整会議	Web 開催	1名
11月22日	令和3年度 要介護度改善研修会	草津市	1名
11月24日	担当者会議の開催の仕方研修会	甲賀市	4名
11月25日	口腔ケアが必要な理由	Web 開催	1名
12月2日	甲賀湖南 うつ病・認知症・在宅医療懇話会	甲賀市	4名
12月13日～17日	医療安全研修会 「チームトレーニング」	甲賀市	4名
1月21日～27日	感染対策研修会 「スタンダードプリコーション」	甲賀市	4名
1月26日	令和3年度 甲賀市居宅介護支援事業所 主任ケアマネ講習会	甲賀市	1名
2月1日	令和3年度 滋賀県難病医療ネットワーク研修会	Web 開催	1名
3月14日	2024年介護報酬改定予測 今から備えるべきこと	Web 開催	2名
3月28日	令和3年度 集団指導	Web 開催	1名

# 訪問看護ステーションこうなん

## 1.概要

『ときどき入院、ほぼ在宅』をモットーに、ご自宅へ訪問しケアを提供しています。様々な疾患や症状、認知症、要介護状態を抱えた方でも、住み慣れた自宅で安心して過ごすことができるように、主治医をはじめ、ケアマネジャーなど他事業所と細やかに連携を図るよう努めています。

入院されると、面会制限もあり寂しい思いをされる方も多く、なるべく入院しないように、入院しても短期間で済むように、症状悪化の早期発見に努めています。また、疾病の増悪や機能低下予防のためにも生活指導に力を入れています。

また、利用者さん・ご家族の「住み慣れた自宅で最期を迎えたい、迎えさせてあげたい」という希望を叶え、後悔のないような在宅看取りを実現できるよう取り組んでいます。適切な時期に人生会議をスタートできるように取り組んでいます。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	真田 多恵	看護師 訪問看護ステップ1修了

- ◆ 他スタッフ  
看護師 9名  
事務員 1名  
理学療法士 2名（病院と兼務）
- ◆ 他資格  
訪問看護ステップ1修了 2名

## 3.活動実績

訪問回数（介護）	平均 320 件／月	利用者数	平均 92 名／月
訪問回数（医療）	平均 93 件／月	在宅看取り件数	22 件

### 【『厚生労働大臣が定める疾病等』にあたる訪問】

- \*末期の悪性腫瘍
- \*パーキンソン病
- \*重症筋無力症
- \*筋萎縮性側索硬化症（ALS）
- \*人工呼吸器を使用している状態

### 【特別管理加算にあたる訪問】

- \*尿道留置カテーテル
- \*胃ろう
- \*腎ろう
- \*腸ろう
- \*人工肛門
- \*人工膀胱
- \*在宅酸素
- \*真皮を超える褥瘡の状態
- \*点滴 3 日以上

### 【2021 年度を振り返って】

新入職員を迎え、新体制で臨んだ一年でした。コロナ禍で面会のできない入院患者さんの急な退院にも、皆で力を合わせて、細やかな対応が出来たのではないかと思います。在宅で最期を迎えられた方が昨年より 7 名も増えました。

## 4.実習生受入状況

期間	事業所名	人数
2021 年度	今年度なし	

## 5.学術・研修活動

### ◆ 出前健康講座

開催日	テーマ	開催地	講師
2021 年度	今年度なし		

◆ 参加研修会

開催日	研修会	開催地	参加人数
6月26日	訪問看護ステーションの管理者に求められる経営の基礎知識	Web開催	1名
7月8日	甲賀湖南心不全連携を考える会	Web開催	1名
8月4日	在宅で栄養療法を継続する療養者と家族のケアを学ぶ基本研修	県看護協会	1名
9月4日	ターミナルステージにある利用者の意思決定支援や医師との連携について考える！！	Web開催	1名
9月25日	在宅現場における暴力・ハラスメント対策研修会	Web開催	1名
9月26日	心不全患者への効果的なケアを継続する	Web開催	2名
10月26日	「心不全の理解」「包括的心臓リハビリ」	Web開催	2名
11月2日	日常生活における高次脳機能障害の影響	甲賀圏域高次脳機能障害連絡調整会議	1名
11月6日	糖尿病医療学研究会 in しが	Web開催	1名
11月11日	湖南緩和ケアセミナー	Web開催	5名
12月2日	甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇話会 「コロナ禍における在宅看取りの状況」	甲賀合同庁舎	2名
12月11日	ケースで学ぶ在宅現場での暴力・ハラスメント対応	Web開催	1名
1月21日	精神訪問看護 みんなが楽になるコツ	Web開催	1名
1月22日	知っておきたい褥瘡治療のコツ	Web開催	2名
2月3日	在宅死亡に関する研修会	Web開催	2名
2月5日	みんなで作ろう BCP	Web開催	2名
2月12日	認知症の理解と関わりについて	Web開催	2名
2月25日	心不全療養指導士カンファレンス	Web開催	1名
3月5日	看護管理者研修「看護と法律」	Web開催	1名
3月17日	訪問看護のエンゼルケアセミナー	Web開催	1名

他、年間通して院内の研修に参加しています。

# 訪問リハビリテーション事業所

## 1.概要

退院後で在宅生活に不安がある方・寝たきり等になり自宅での動作練習が必要な方に対して、自宅に訪問しリハビリテーションを提供させて頂いております。

主治医の指示の下、心身機能の維持・回復や日常生活での動作能力向上の為に、利用者さんに適した訓練プログラムやご家族への助言・指導等を行っております。また、必要に応じて福祉用具や住宅改修の検討やアドバイスなどを行い、利用者さんに合わせた動作方法の確認や動作指導を実施しております。

利用者さん・ご家族の『地域での暮らし』が永続的に送れるよう、入院担当のリハビリテーションスタッフと連携を図り、退院後も継続したリハビリテーションを提供できるよう努めています。利用者さんの個性を尊重し、『暮らし』がより良い生活となるように「支援」しております。

また地域におけるリハビリの一翼を担うと共に、ケアマネジャーや他職種の方と積極的に連携を図り、利用者さんやご家族に満足して頂けるようスタッフ一同努力しております。

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
所長	古倉 みのり	医師
副所長	村地 健太	理学療法士

### ◆ 他スタッフ

理学療法士 6名

作業療法士 1名

## 3.診療実績

### 訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	525	452	544	522	583	564	565	560	563	526	469	569	6,442
予防	166	133	160	153	166	157	145	148	142	125	127	154	1,776
医療	27	15	17	21	24	24	24	20	21	36	29	38	296

総合計 8,514件 (2020年度 7,802件)

総利用者数 194名 (2020年度 175名)

## 4.学術・研修活動

開催日	研修会	開催地	参加人数
11月21日	近畿作業療法士会連盟協議会 自動車運転支援ネットワーク事業 Web 研修会	Web 開催	1名
12月4日～5日	日本地域理学療法学会合同学術大会 2021	Web 開催	1名
12月15日	甲賀ブロック人材育成研修会	Web 開催	1名
1月14日	滋賀県 POS 連絡協議会 東近江・甲賀ブロック共同人材育成事業事例検討会	Web 開催	1名
3月5日	滋賀県訪問リハ特別公演 これからを担うセラピストたちへ	Web 開催	1名

# ひまわり保育園

## 1.概要

職場の勤務時間・勤務日に合わせて夜間や日曜・祝日も開園し、保護者が安心して働けるように保育士と保護者が連携しながら毎日を送っています。保育士は子どもたち一人ひとりの発育・発達を援助し、楽しい園生活が送れるようにサポートしています。

### ◆ 保育目標

- ・ 心もからだも健やかな子
- ・ 自分で考え、行動できる子
- ・ 友だちとのびのび遊べる子

### ◆ 保育方針

- ・ 安全で安心して遊べ、信頼できる保育園を目指す
- ・ 自然と触れ合いながら、のびのびと充実した生活を送る

## 2.スタッフ構成

役職	名前	資格
園長	柗木 由紀美	保育士

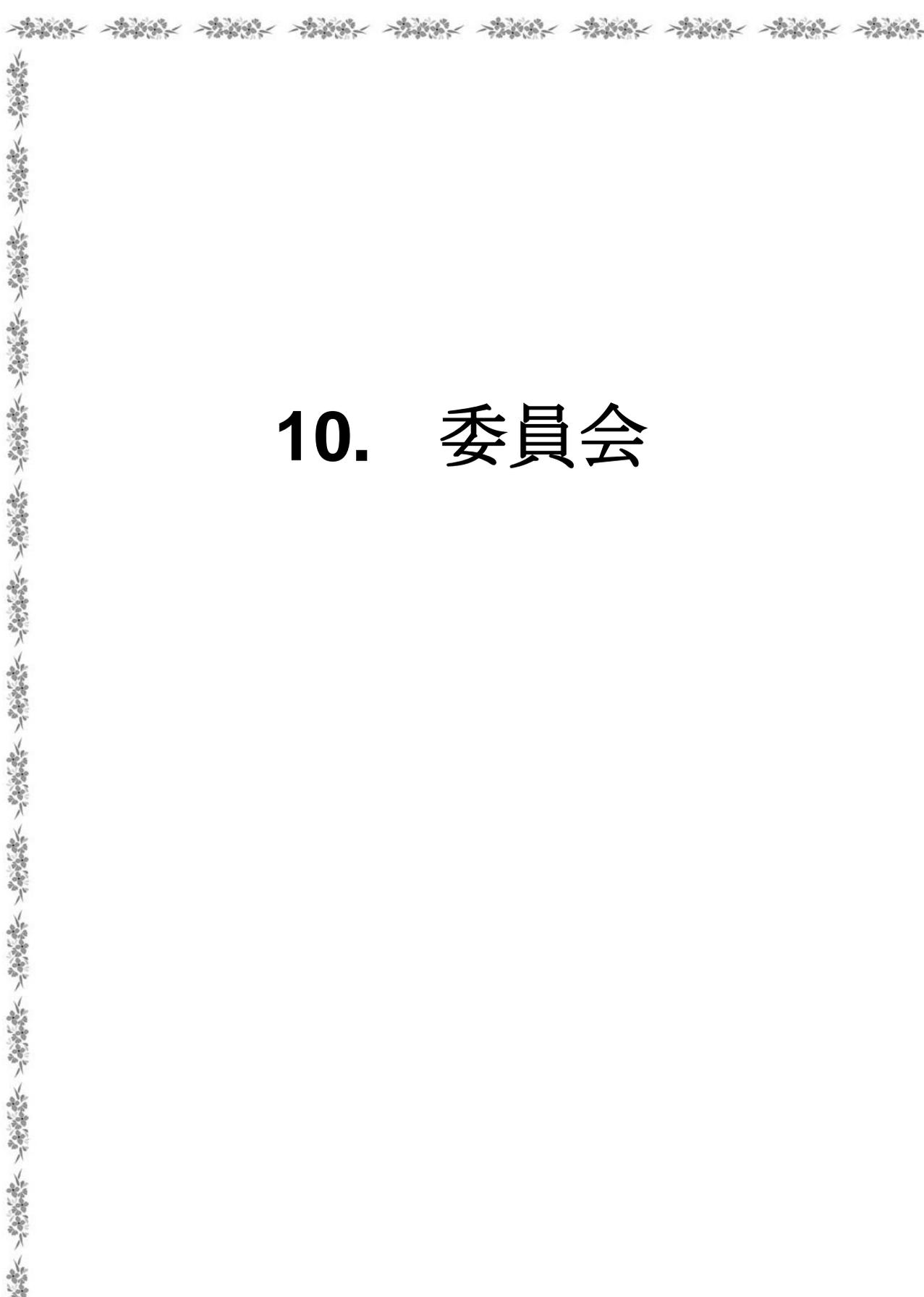
### ◆ 他スタッフ

- 保育士 常勤 5名
- 非常勤保育士（夜勤専属含む） 3名

## 3.活動実績

異なる年齢の子どもたちと一緒に生活する中で、年上の子どもにあこがれを持ったり、年下の子どもには優しくいたわったりしながら、自然に相手のことを思いやる気持ちが育ってきています。

基本的な生活習慣面では、年齢に応じて排泄、衣類の着脱、歯ブラシ、お箸の使用などにも取り組んでいます。身体計測、お誕生日会、避難訓練、四季折々の行事も行っています。エプロンシアターやパネルシアター、ペープサートなど子どもが興味のある教材を使用する事で、集中して話を聞ける子どもが増えました。子どもたちの園生活が楽しくなるような環境づくりを職員一同心がけています。

A decorative border consisting of repeating floral motifs, including small flowers and leaves, arranged in a rectangular frame around the page content.

# 10. 委員会

# 医療安全委員会

委員長名	田中 豊彦
目的	<p>安全かつ適切な医療の提供を行うため、医療事故を未然に防止し、医療の質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント報告提出の推進（995 件以上/年）</li> <li>・インシデント報告から、原因究明と再発防止対策、評価を行い医療事故の防止に努める</li> <li>・マニュアルの見直し（医療安全管理指針、規定、事故発生時の手順など）</li> <li>・医療安全に関する情報の発信、周知活動</li> </ul>
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全管理者委員会（1 回/月、臨時 3 回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直し、改訂</li> <li>・アクシデントの分析、再発防止策の検討</li> <li>・分析手法について検討、RCA 分析の活用開始</li> <li>・誤薬時の対応マニュアル作成</li> <li>・「緊急やむを得ない身体抑制に関する説明書」の改訂</li> <li>・院外で起こった曝露事故（針刺し）のフローチャートの作成</li> <li>・「安全な入院生活のためのお願い」リーフレットの作成</li> <li>・雇用時健診の色覚検査の廃止、カラーユニバーサルデザインの活用</li> <li>・各ワクチン接種のスケジュールについて一覧表の改訂</li> </ul> </li> <li>2. 医療安全委員会（1 回/月、回覧会議 1 回含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント、アクシデントレポート集計報告（毎月）</li> <li>・各部署の報告（インシデント・アクシデント）の原因分析・再発防止対策の検討</li> <li>・職員研修の企画・実施と出席率 UP のための工夫と対策</li> <li>・標語の募集、復唱</li> <li>・麻薬・向精神薬の紛失・破棄時の用紙変更（インシデント報告の提出必須）</li> <li>・針刺し事故の原因分析・再発防止策の検討、職員への周知</li> <li>・アレルギー情報の共有のため、掲示板への記載を徹底（院内掲示板ルールに追加）</li> </ul> </li> <li>3. 転倒転落ワーキング（8 回/年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・離床センサー、コールマットの研修会（1 回/年）</li> <li>・転倒転落患者のラウンド実施、再発防止策の確認</li> <li>・センサー類の OFF 防止のためてんとうむしカード活用を周知</li> <li>・中途採用者のオリエンテーションにセンサー類を追加</li> <li>・車椅子自動ブレーキの活用</li> </ul> </li> <li>4. 薬剤ワーキング（1 回/月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮光袋が必要な薬剤の一覧表の見直し</li> <li>・術前の抗凝固剤服用確認の流れについて再構築</li> <li>・インスリン開封後の使用期限のルール化</li> <li>・麻薬返却防止のシール作成</li> </ul> </li> <li>5. 医療機器ワーキング（3 回/年） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ喉頭鏡の運用、勉強会</li> <li>・術後 PCA のクランプ未開放防止のためポンプチェックリストの活用</li> <li>・輸液ポンプ、シリンジのチェックリスト表の改訂</li> <li>・車いす用離席センサーの運用開始</li> <li>・浮遊球のない酸素流量計のエア確認方法の周知</li> </ul> </li> <li>6. 医療安全ラウンド（リスクマネージャー：8 回/年）</li> <li>7. 医療安全研修会の開催（2 回/年、新入職者対象 1 回）</li> <li>8. 医療安全ニュースの発行（12 回/年）</li> <li>9. 医療安全推進週間ポスター掲示（11 月）</li> <li>10. 医療安全情報の周知活動と情報共有（毎月）</li> <li>11. 医療安全対策地域連携相互チェック（3 施設：薬剤に関する内容について）</li> </ol>

	<p>&lt;研修会などの実績&gt;</p> <p>1. 新入職員研修  院内研修 4月5日  内容 「医療安全の基本的な考え方」  講師 堤 栄子、藪下 初代（医療安全管理者）  参加 21名</p> <p>2. 第1回医療安全研修会  院内研修 6月14日、6月15日、6月16日、6月18日  内容 「多職種で取り組む転倒・転落、ヒヤリハット防止」  学研ナーシングサポート  参加 354名  参加率 97.3%</p> <p>3. 第2回医療安全研修会  院内研修 11月11日、11月12日、11月20日  内容 「チーム医療とは何ですか？何ができるとよいですか？」  学研ナーシングサポート  参加 354名  参加率 99.7%</p>
--	---

# 医療ガス安全管理委員会

委員長名	岡崎 哲也
目 的	医療ガスの安全使用と適切な運用を図り、患者さんの安全を確保し良質な医療提供を目的に組織されています。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療ガス安全管理委員会の開催</li><li>2. 院内での高圧ガス安全講習会の開催 7月10日<ol style="list-style-type: none"><li>1) ハインリッヒの法則</li><li>2) 医療ガスの性質</li><li>3) 医療ガス容器と流量計の取扱い上の注意等</li><li>4) 医療ガス事故の分析と対策外部にて開催される高圧ガス安全講習会への参加</li></ol></li><li>3. 適正利用のための保管管理</li><li>4. 使用量の管理</li><li>5. 医療ガス設備の保守・管理</li></ol>

# 医療情報システム委員会

委員長名	神谷 純広
目 的	当院における医療情報システムを適切に運営するため分析・処理・運用・管理を行い、職員に対する指示・教育・啓発などを行う。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 電子カルテシステムのブラッシュアップ</li><li>2. 検査部超音波診断装置リモート保守導入</li><li>3. 透析システムリモート保守導入</li><li>4. 行動計画の策定</li></ol>

# 医療の質業務改善委員会

委員長名	山本 寛
目 的	仁生会 甲南病院における環境が患者さんにとって安心・安全・安楽な環境であるよう検討し改善を提言することを目的とする。また院内に関する諸問題を適宜協議し、各部門と連携を取りそれを周知徹底することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外来患者満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月23日～8月28日（午前診・午後診）に外来患者さんを対象にアンケート調査実施</li> <li>・ 結果集計後、グラフ化を行い外来フロアへ掲示</li> <li>・ 改善点を確認し、業務改善を行った</li> </ul> </li> <li>2. 入院患者満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月10日～30日入院患者さんを対象にアンケート調査を実施</li> <li>・ 結果集計後、グラフ化を行い病棟へ掲示</li> <li>・ 改善点を確認し、業務改善を行った</li> </ul> </li> <li>3. 職員アンケート <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月23日～9月23日職員全員にアンケート調査実施 やりがいのある業務、職員が受診したくなる病院を目指すため、全職員にアンケートを実施した</li> <li>・ 結果集計後、グラフ化を行い食堂へ掲示</li> <li>・ 改善点を確認し、業務改善を行った</li> </ul> </li> <li>4. 業務改善検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部署の問題を持ち寄り検討し、改善へつなげた</li> </ul> </li> <li>5. 臨床評価指標 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能評価にてクリニカルインディケータを作成し、委員会や担当部署へ改善の投げかけを行った</li> </ul> </li> </ol>

# 衛生委員会

委員長名	岡崎 哲也
目 的	<p>本委員会は甲南病院で働く職員の労働環境に関して、労働安全衛生法をもとに労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。</p> <p>委員会は次の各号に掲げる事項を所掌する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場における職員の安全と健康の確保</li> <li>・ 快適な作業環境の形成</li> <li>・ 健康管理事業の適正運営の確保</li> <li>・ 危険防止の為の基本的対策</li> <li>・ 労働災害の原因、再発防止対策</li> <li>・ 上記活動を行う為に、院内調査及び指導を行う</li> </ul>
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各部署の衛生管理、定期巡回</li> <li>2. 職員 B 型肝炎ワクチン接種啓発</li> <li>3. 職員健診、特定保健指導対象者への受診通知</li> <li>4. 交通安全に関する DVD 研修受講推進</li> <li>5. 職場づくりアンケートの実施、分析</li> <li>6. 業務事故、通勤事故における原因と再発防止対策</li> <li>7. 事故報告書様式変更</li> <li>8. 腰痛防止対策配信</li> <li>9. 院内研修会「医療職のメンタルヘルスをケアするストレスマネジメント術」 11月9日～11月13日 参加者数：281名</li> </ol>

# 感染対策委員会

委員長名	西 崇男
目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを随時改訂し、変化に対応した感染防止対策の実施</li> <li>2. 感染管理認定看護師の育成と各種感染環境改善の検討・実施</li> </ol>
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定例会議の開催（12回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症及び耐性菌の発生状況、抗菌薬使用状況と適正使用評価、医療関連感染の発生状況の症例報告と分析検討、ICT活動を報告、新型コロナウイルス対策本部会議の報告と取り決め内容の報告と周知事項の発信を行った</li> <li>・ 以下のマニュアル等を策定・改訂した <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ メンバー表と連絡網等の更新（4月）</li> <li>➢ HIV感染の検査判定手順追加（4月）</li> <li>➢ 透析センター2021 コロナ陽性者対応マニュアル Ver1.0 策定（4月）</li> <li>➢ 曝露（針刺し）事故対応フローチャート改訂</li> <li>➢ 他院曝露（針刺し等）対応フローチャート作成</li> <li>➢ 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル改訂（11月）</li> <li>➢ 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)規程 策定（3月）</li> <li>➢ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021年度感染性廃棄物処理計画書 承認</li> <li>・ アウトブレイク監視と分析・対策の指導周知</li> <li>・ 厚労省令和3年度院内感染対策講習会受講（長野・渡邊・中村）</li> <li>・ 菌株の遺伝子検査「パルスフィールド(MRSA)」について</li> <li>・ 第1回感染対策研修会開催（9/2.3.7.8.9） 参加353名 参加率94.9% 追加で資料回覧研修を実施し、出席率100%を達成</li> <li>・ インフルエンザ予防接種について</li> <li>・ 滋賀県感染制御ネットワーク事業「抗菌薬使用量調査」参加・報告</li> <li>・ 滋賀県感染制御ネットワーク事業「アンチバイオグラム調査」参加・報告</li> <li>・ 抗菌薬使用前の培養検査と培養実施率について</li> <li>・ 第2回感染対策研修会開催（1/21.22.26.27） 参加率94.5% 追加研修にて98.6%</li> <li>・ 医療関連感染の評価指標の見直し</li> <li>・ 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の設置について</li> <li>・ ワクチン接種と手術時期について</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. ICT活動 <p>ICT共同カンファレンスに3回参加、感染管理認定看護師が誕生し、メンバーと共に啓蒙活動により手指消毒順守率向上、各種感染環境改善の検討・実施、医療器具関連感染の管理を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手指衛生の遵守、エプロンの適切なタイミングでの脱衣の徹底を周知</li> <li>・ ウィルステラの個人持ちを統一化周知</li> <li>・ 尿道留置カテーテルの適切な管理の推進（UTI防止ラウンド開始）</li> <li>・ 閉鎖型尿道留置カテーテル導入後の評価報告</li> <li>・ 尿道留置カテーテル抜去に関する取り組みの経過報告</li> </ul> </li> <li>3. 新型コロナウイルス対策本部会議開催（21回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワクチンによるアナフィラキシーショック対応マニュアルを承認</li> <li>・ 透析センターコロナ対応マニュアルを承認</li> <li>・ 発熱外来、後方支援病院、コロナ自費検査について</li> <li>・ コロナワクチン接種（職員・住民・職域）について</li> <li>・ コロナ抗原定量検査の時期・方法・判定等について</li> <li>・ 緊急事態宣言・まん延防止宣言・解除に伴う当院の規制・対応について</li> </ul> </li> </ol>

- ・コロナ陽性者の後遺症の診察について
- ・新型コロナウイルス感染症を疑う患者等に関する入院について
- ・抗体カクテル療法について
- ・入院患者の面会・外出・外泊、その他規制について
- ・ラゲブリオ（コロナ経口治療薬）について
- ・肺機能・CPX・トレッドミル検査の中止と再開について
- ・コロナ療養期間終了後の入院依頼の取り決め
- ・外来コロナ罹患患者（再燃等）の呼吸器症状があった場合の対応
- ・同居家族等の濃厚接触者について
- ・入院時検査等（発熱外来以外）予期せぬ陽性時の検査対応

#### 4. 研修実績

##### 院内研修 2021 年度新人研修

日時：4 月 2 日  
 講師：長野建太郎  
 内容：「感染対策の基礎」  
 参加：21 名

##### 院内研修 2021 年度新人研修

日時：4 月 5 日  
 講師：長野建太郎  
 内容：「看護実践における感染対策のポイント」  
 参加：21 名

##### 院内研修

日時：9 月 2・3・7・8・9 日 各日 6 回開催  
 場所：当院会議室  
 内容：感染経路別予防策【DVD】  
 ～院内全体で取り組む感染対策に基礎～  
 講師：東京医療保健大学/大学院 吉田理香 氏  
 参加：計 357 名（全職員数 357 名）参加率 100%

##### 院外研修 令和 3 年度 Web セミナー看護職員感染対策研修会

日時：9 月 10～16 日  
 内容：「COVID-19 の動向」「COVID-19 の感染対策」  
 「個人防護服の着脱」「クラスター発生防止と発生時対応」  
 主催：滋賀県病院協会  
 参加：5 名（看護師）

##### 院内研修

日時：1 月 21・22・26・27 日 各日 6 回開催  
 場所：当院会議室  
 内容：スタンダードプリコーション（標準予防策）  
 ～スタッフみんなでもう一度見直そう～【DVD】  
 講師：東京医療保健大学/大学院 吉田理香 氏  
 合計：343 人（全職員数 348 名）参加率 98.6%

##### 院外研修

日時：11 月 1 日～2 月 28 日  
 内容：令和 3 年度院内感染対策講習会（WEB 研修）  
 主催：日本環境感染学会（厚生労働省委託事業）  
 参加：長野建太郎、渡邊優輔、中村文

院外研修

日時：12月13日

内容：令和3年度院内感染防止対策研修会（WEB研修）

第1部「滋賀県におけるCOVID-19検証と今後の対策について

滋賀県健康医療福祉部医療政策課課長：切手俊弘 課長

第2部「アフターワクチンの新型コロナウイルス感染対策」

浜松市感染症対策調整監 浜松医療センター感染症管理特別顧問

矢野邦夫 先生

参加：岡崎哲也、中井典子、重田美千代

# 研修委員会

委員長名	田中 豊彦
目的	良質な医療・看護を提供するために、全職員を対象とした教育・研修を実施することで職員の資質向上をはかり、地域医療に貢献することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 定例委員会を2ヶ月に1回開催 合計6回開催<ul style="list-style-type: none"><li>・研修会の振り返り</li><li>・参加者の集計</li><li>・研修会のアンケート集計と意見の検討</li><li>・予定研修会の内容確認</li></ul></li><li>2. 申請された研修会の補助<ul style="list-style-type: none"><li>・研修会の案内</li><li>・会場準備</li><li>・参加者アンケート集計</li></ul></li><li>3. 院内研修 「認知症サポーター養成講座」 日時：12月14日（火）、12月22日（水）15:30～17:00 講師：甲南町認知症サポーター キャラバンメイト 7名 参加：73名</li></ol>

# 広報委員会

委員長名	小崎 一雄
目的	地域の皆様に役立つ情報を発信し、甲南病院の魅力を広報する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 広報誌「きらめき」発行 ※地域住民向け 4月、7月、10月、1月発行 A4サイズ 8ページ 病院行事の案内、報告、職員や医師の紹介、特殊外来や検査の紹介、季節ごとのひとくちメモ、リハビリ体操、レシピ等をシリーズ化して掲載</li><li>2. 「甲南病院だより」発行 ※関連医療機関、施設向け A4サイズ 1ページ 裏面に外来担当医表を掲載 5月、6月、8月、11月、2月発行 病院の行事、休診情報、外来担当医表、部署紹介等を掲載</li><li>3. 毎月1回委員会を開催 4月、7月、10月、1月 広報誌「きらめき」発送作業と次回記事の検討 5月、6月、8月、11月、2月 「甲南病院だより」発送作業と記事チェック</li></ol>

# 褥瘡対策委員会

委員長名	神谷 純広
目 的	・ 患者さんの入院中の環境を整え褥瘡発生の予防や再発防止に努める。 ・ 院内の褥瘡対策方法を検討・立案し、褥瘡治療に関する知識・技術の向上に努める。
活動実績	1. 褥瘡回診の実施 毎月第2・4の木曜日（各病棟1回/月） 2. 褥瘡対策委員会の開催 毎月最終週の金曜日 3. 院内研修会 開催日：2月25日、2月26日 テーマ：「症例で学べる DESIGN-R に基づく創傷マネジメント」 4. 褥瘡に関するデータ（院内発生率、治癒率）集約 5. 創傷管理に関連した衛生材料、創傷被覆材、栄養補助食品など褥瘡対策備品の検討

## 診療記録管理委員会

委員長名	川浪 二郎
目的	適切な診療録を管理・活用するため、診療録の質と量の点検・監査を行う。
活動実績	委員会開催日 ・毎月最終月曜日 16 時～ 1. 達成率報告 (Dr サマリー・Ns サマリー) 2. 収入報告 (診療録管理体制加算・データ提出加算) 3. 量的点検・質的点検について 4. 新規文書書類の承認 5. 年 2 回診療録の監査 6. 年 2 回コーディング委員会開催 (疾病名・薬剤について/薬剤部参加)

# パートナーシップ倫理委員会

委員長名	馬場 真奈美
目 的	患者さんの権利と安全確保について検討し改善を提言することを目的とする。また院内に関する倫理問題を適宜協議し、各部門の連携を取りそれを周知徹底することを目的とする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人生の最終段階における医療の意思（延命治療）確認書について 3 択から 2 択へ変更し 2021 年 5 月 17 日から施行した</li> <li>2. ACP に関する書類の見直しを行った 平成→令和へ変更、ACP の取り決めにおいて、1.医療ケアチーム 3 人以上→3 職種、3 人以上へ変更することで承認を得た</li> <li>3. 意思疎通ができない、未成年の患者の判断能力についての手順マニュアル「医療に係る意思決定が困難な場合の支援マニュアル」を作成し、9 月 29 日全職員に電子メールで案内した</li> <li>4. 血液浄化センターより「延命治療に関する説明書、維持透析療法に対する事前指示書、通院透析時における医療の意思確認書について」当委員会にて内容を確認し 7 月 12 日承認した</li> <li>5. 12 月セカンドオピニオンのポスターの張り出しを見直した</li> <li>6. 倫理問題検討会 PICC 自拔歴 2 回ある CV 挿入中の患者の抑制について 2B 病棟 ターミナル期の看取り方、看護について倫理的問題 2C 病棟</li> <li>7. 臨床倫理コンサルテーション会議 0 件</li> <li>8. 研究・演題投稿時の倫理審査 2 件</li> <li>9. 臨床研究倫理審査委員会 3 件</li> <li>10. 会議（月 1 回）</li> </ol>

# 防災委員会

委員長名	岡崎 哲也
目 的	病院の防災対策を検討、周知する目的で組織。主に防火対策や大規模災害を想定しての準備及びマニュアルの整備を進める。また、患者さんの医療確保、医療の継続を中心に体制整備を構築する。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緊急連絡網の整備と訓練</li> <li>2. 危機管理委員会マニュアル、防災マニュアル、夜間休日の緊急時対応マニュアル、停電マニュアル、大規模災害マニュアル、火災時手順、自衛消防隊等の整備 これらの共通マニュアル保存の管理</li> <li>3. 火災総合訓練の実施</li> <li>4. 消防設備の点検と改修管理</li> <li>5. 非常時対応の備蓄品管理</li> <li>6. 非常時電源（自家発電装置、蓄電池）の管理</li> <li>7. 火災訓練・消防設備の点検 <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲南病院・ひまわり保育園にて実施</li> <li>・在宅医療支援センターこうなんでは、消火器などの備品の確認及び消火活動、避難行動の基本を指導</li> </ul> </li> <li>8. 防災委員会開催</li> <li>9. 大規模災害訓練開催</li> <li>10. 水害土砂災害避難確保計画作成および訓練</li> </ol>

# 薬事委員会

委員長名	川浪 二郎
目 的	医薬品の適正な管理運用を図るため、医薬品の新規院内採用や採用中止、有効性や安全性について審議、評価する。また後発医薬品の使用を促進することで、患者の医療費負担や医療保険財政の軽減を図る。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開催日（原則、月に1度開催する） 4月17日、5月22日、6月19日、7月17日、8月28日、9月25日、10月23日、11月20日、12月25日、1月8日、2月26日、3月26日</li> <li>2. 採用・中止医薬品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規・臨時院内採用医薬品 53品目</li> <li>・ 院内採用中止医薬品 39品目</li> </ul> </li> <li>3. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の添付文書改訂に伴う注意喚起等の情報発信</li> <li>・ 供給困難医薬品について</li> <li>・ 使用期限の近い医薬品の案内と処方提案</li> <li>・ 同成分・同効薬医薬品の院内採用の見直し</li> <li>・ 後発医薬品使用量報告、院内採用と使用の促進・啓発</li> <li>・ 医薬品の自主回収連絡の周知と回収</li> <li>・ 院内・院外処方箋発行率の報告</li> </ul> </li> </ol>

# 輸血療法委員会

委員長名	瀬川 秀和
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血療法が適正に行われるように管理し、供給体制を整える。</li> <li>・輸血、血液製剤に関する情報を職員に提供し周知する。</li> </ul>
活動実績	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 定例委員会 2 ヶ月に 1 回（年 6 回）開催し、下記内容について、報告・検討・協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液製剤、特定生物由来製品の使用数報告（2021 年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 赤血球製剤 702 単位 整形外科 100 単位、外科 202 単位、循環器科 84 単位、透析科 146 単位、内科 170 単位</li> <li>➢ FFP 製剤 86 単位 整形外科 6 単位、外科 46 単位、循環器科 12 単位、透析科 22 単位、内科 0 単位</li> <li>➢ 血小板製剤 330 単位 整形外科 20 単位、外科 150 単位、循環器科 60 単位、内科 100 単位</li> <li>➢ アルブミン製剤 1441.7 単位 整形外科 83.4 単位、外科 879.1 単位、循環器科 312.5 単位、心臓血管外科 54.2 単位、透析科 108.3 単位、内科 4.2 単位 FFP/RBC 比=0.12 ALB/RBC 比=2.05</li> <li>➢ 製剤廃棄率 RBC 0.3%、FFP 0.0% <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液製剤、特定生物由来製品の適正使用の評価</li> <li>・副作用報告 0 件</li> <li>・在庫情報</li> <li>・輸血関連業務</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. 毎月赤血球製剤・アルブミン製剤使用数報告及びアルブミン製剤適正使用の推進</li> <li>3. 輸血在庫情報の掲示</li> <li>4. 院内インフォメーションにて輸血情報を発信</li> <li>5. 9 月 滋賀県輸血療法委員会 2020 年度血液製剤使用量等アンケート調査回答</li> <li>6. 11 月 厚労省委託事業 令和 3 年度血液製剤使用実態調査回答</li> <li>7. 研修会実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>3 月 滋賀県輸血療法委員会 血液製剤適正使用研修会参加</li> <li>5 月 院内新人研修会 対象：看護部、検査部 内容：輸血検査について 輸血副作用について、輸血セット取り扱い実技 講師：血液センター学術担当、臨床検査部、看護部</li> </ul> </li> </ol>

# 臨床検査適正化委員会

委員長名	神谷 純広
目 的	臨床検査が適正に行われ、また、臨床検査部の運営が健全に行われるよう、以下の内容について協議する。 1. 臨床検査の適正化に関する事 2. 精度管理調査に関する事 3. 調査研究に関する事 4. 臨床検査項目の導入及び廃止に関する事 5. 臨床検査部の運営に関する事
活動実績	1. 隔月第3木曜日に委員会を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月 4月1日よりALP、LDH グローバル試薬へ切替え</li> <li>・ 6月 病棟用POCT 血糖測定器（データ自動入力）を導入</li> <li>・ 6月 針刺しフローチャート一部変更</li> <li>・ 7月 7月19日よりCVR-R 検査方法を臨床検査法提要に従い変更</li> <li>・ 9月 9月19日より免疫検査装置 HISCL を導入 BNP から NT-proBNP へ変更、免疫標準作業書更新</li> <li>・ 10月 中性緩衝ホルマリン液、15%から10%のものに変更</li> <li>・ 11月 腹部エコー検査前の水分摂取について説明用紙を変更</li> <li>・ 12月 12月1日より検体検査の基準値を共用基準範囲に変更</li> <li>・ 2月 凝固検体について、標準化コンセンサスに基づき遠心条件変更</li> </ul> 2. 装置保守は毎日・週1回・月1回・3ヶ月毎にそれぞれ実施し、内部精度管理は毎日2種類の管理血清で実施 3. 外部精度管理は、6月に日本臨床検査技師会サーベイ、8月に滋賀県精度管理調査に参加し、どちらも高評価を得た

## NST（栄養サポート）委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	すべての患者さんが健全な栄養状態を保てるように適正な栄養摂取をサポートする。
活動実績	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 病棟栄養カンファレンス（隔週）</li><li>2. NST 会議（月 1 回）</li><li>3. 嚥下造影検査年間検査数 42 件（うち院外より紹介 1 件）</li><li>4. 病棟 NST 回診 月 1 回</li><li>5. マニュアル（電子カルテ）富士通カルテに対応したマニュアルを作成し、差し替え 今後も各部署のファイルの中身を統一していく（8 月）</li><li>6. 嚥下造影検査の中止基準を見直した（11 月）</li></ol>

# 認知症サポート委員会

委員長名	馬場 真奈美
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症患者さんの認知機能や生活能力に合わせた援助を行い、認知症患者さんがその人らしく施設や地域で生涯を全うできるように QOL を支援する。</li><li>・地域から入院、入院から地域への情報収集の方法・記録の見直しを行い情報共有の流れを一元化する。</li><li>・事例を通して個別的な支援方法を検討し情報の共有と協働をすすめる。</li></ul>
活動実績	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 認知症サポート委員会 規定を見直した</li><li>2. ライフレビュー・ライフヒストリーの活用方法の検討</li><li>3. 会議（月 1 回） 会議にて病棟患者さんの症例検討会を毎回行った</li></ol>